

平成30年度事業報告書

令和元年6月

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

目 次

項 目	頁
第 1 基本方針	1
第 2 主要事業	10
第 3 実施事項	21
基本目標 1 地域福祉を支える人づくり	21
実施目標 1 住民の意識と主体的な行動力を高めます	21
実施目標 2 地域福祉活動の核となる人材を育成します	28
実施目標 3 福祉サービスの担い手を確保・育成します	32
基本目標 2 地域福祉を支える仕組みづくり	44
実施目標 1 住民主体による地域福祉活動・生活支援を推進します	44
実施目標 2 支援を必要とする住民の地域生活を支えます	48
基本目標 3 地域福祉を支える基盤づくり	64
実施目標 1 市町社協を支援します	64
実施目標 2 社会福祉事業者を支援します	67
実施目標 3 県社協の基盤強化を図ります	69
重点プロジェクト事業	80

本計画書は別途作成した「第四次活動推進計画」の理念・体系に基づいて作成しています。

第四次活動推進計画の基本理念

基 本 理 念

**「 “共生・支え合い” による地域社会の実現 」
をめざし、福祉サービスの質の向上と住民主体の
福祉のまちづくりを推進します**

「“共生・支え合い” による地域社会の実現」をめざし、個人の尊厳の保持を旨とした福祉サービスの質の向上を図るとともに、住民一人ひとりの自己実現に向けた自助努力と、「他人を思いやり、お互いを助け合おうとする精神」を基礎とする「住民主体」を原則に、行政や多彩な主体と協力して、福祉のまちづくりを推進します。

第四次活動推進計画の基本目標

基本目標 1

地域福祉を支える人づくり

地域福祉の基礎となるのは、他人を思いやり、お互いを支え、助け合おうとする心です。本会は、住民の意識と主体的な行動力を高めていくとともに、人と人をつなぎ・支える「地域福祉を支える人づくり」を推進します。

基本目標 2

地域福祉を支える仕組みづくり

地域福祉は、住民を主体に行政や多彩な主体が役割分担し、協働していくことが重要です。本会は、自助、共助、公助があいまって、地域に根ざして協働する「地域福祉を支える仕組みづくり」を推進します。

基本目標 3

地域福祉を支える基盤づくり

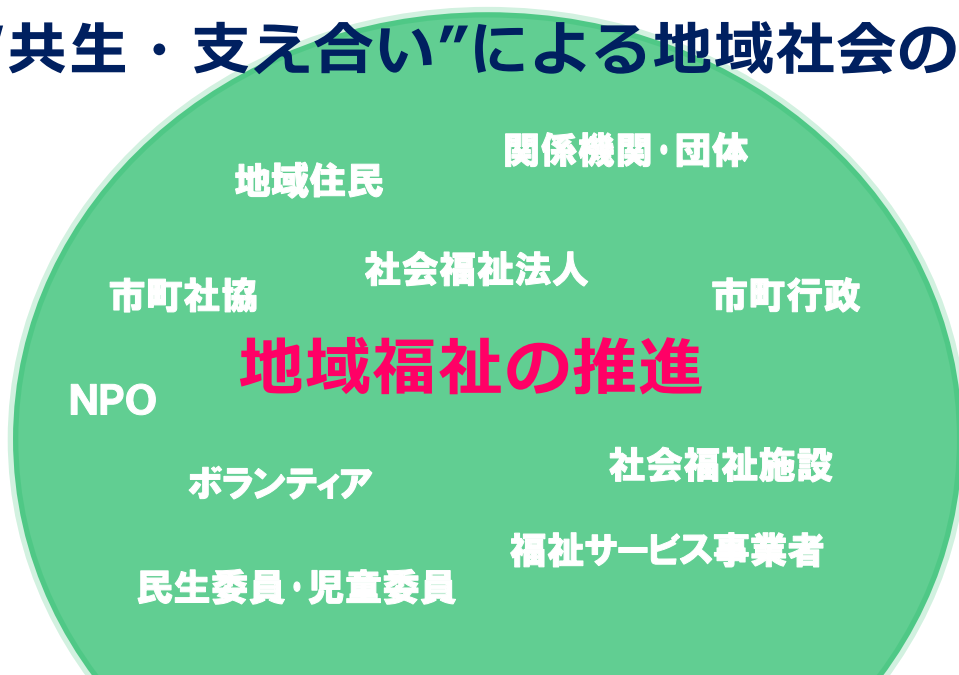
地域福祉は、住民を主体に行政や多彩な主体がつながり、その力を結集していくことが重要です。本会は、県域の地域福祉推進の中核として、「地域福祉を支える基盤づくり」を推進します。

第四次活動推進計画の推進期間

平成27年4月～令和2年3月

【推進体系】

めざすべき福祉社会 「共生・支え合い”による地域社会の実現」



静岡県社会福祉協議会

福祉サービスの質の向上と住民主体の福祉のまちづくりの推進

県社協の機能

- 広域機能
- 行政等の補完機能
- 専門機能
- 政策提言・連絡調整機能
- 情報提供機能

基本目標 1

地域福祉を支える 人づくり

- 1 住民の意識と主体的な行動力を高めます
- 2 地域福祉活動の核となる人材を育成します
- 3 福祉サービスの担い手を確保・育成します

基本目標 2

地域福祉を支える 仕組みづくり

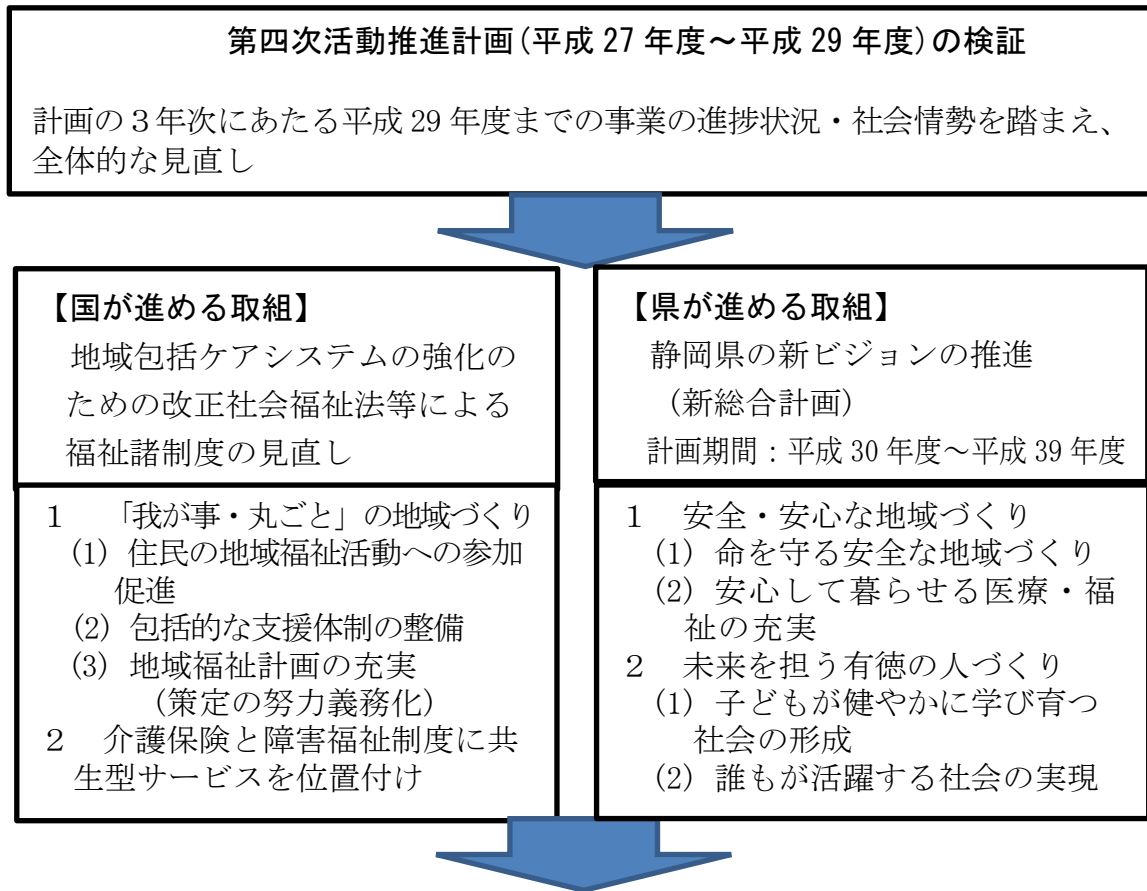
- 1 住民主体による地域福祉活動・生活支援を推進します
- 2 支援を必要とする住民の地域生活を支援します

基本目標 3

地域福祉を支える 基盤づくり

- 1 市町社協を支援します
- 2 社会福祉事業者を支援します
- 3 県社協の基盤強化を図ります

第四次活動推進計画の見直しと後期計画の策定



後期計画の取組視点

- 1 「地域共生社会」の実現に向けた“我が事・丸ごと”の地域づくり
(全世代型の地域包括ケアシステム)
 - (1) 地域の支え合いの再生、包括的な相談支援の推進
 - (2) 福祉以外の分野との協働促進
(医療、教育、環境、農林水産、観光、多文化共生など)
 - (3) 社会福祉法人の地域公益事業及びネットワーク化の推進
- 2 介護・保育人材の確保
 - (1) 福祉現場のイメージアップ及び無料職業紹介事業によるきめ細やかなマッチング
 - (2) 静岡県・静岡市 保育士・保育所支援センター事業による潜在保育士の掘り起しと就業支援

後期計画の推進期間 平成 30 年 4 月～令和 2 年 3 月

第四次活動推進計画（後期）

後期計画の推進期間 平成30年4月～令和2年3月

※ゴシック体表記の実施事項は重点

基本目標1 地域福祉を支える人づくり

実施目標1 住民の意識と主体的な行動力を高めます

市町社協等関係機関・団体と連携協働のもと、全県的な福祉啓発活動を実施するとともに、社会的排除、孤立に向き合い、社会的包摂に向けた福祉教育を推進し、住民の主体的な行動力の向上（ボランティア活動等の促進）を図ります。

1 全県的な啓発活動の推進

ふじのくに健康福祉キャンペーン推進協議会と協働した地域づくりの推進（福祉以外の分野との協働）

2 地域福祉教育の推進

地域福祉教育に係る手引書の作成及び活用促進

3 ボランティア活動の推進

- (1) 市町ボランティアセンターの運営支援
- (2) 多様な分野とのネットワークの構築
- (3) 市民活動への支援（活動助成）
- (4) 県災害ボランティア・情報センターの機能強化

4 企業の社会的貢献活動の推進

実施目標2 地域福祉活動の核となる人材を育成します

「住民主体の支え合い活動」の活性化を図るため、地域の多彩な主体のやる気を引き出し紡ぐ「情熱」のある人材を、市町社協等と協働して育成するとともに、活動しやすい環境づくりを進めます。

1 小地域福祉活動リーダー及び寄り添い型の生活支援サポーターの育成支援

2 民生委員・児童委員活動への支援

- (1) 先進事例の収集・提供
- (2) 市町民児協研修への講師派遣、リーダー層への研修

3 地域福祉に係るコーディネート機能の強化

- (1) コミュニティソーシャルワーカーの育成
- (2) 生活支援コーディネーターの活動支援

4 コミュニティワーク研修の充実

実施目標3 福祉サービスの担い手を確保・育成します

福祉・介護職場の魅力ややりがいの発信と、きめ細やかな就労支援により、より多くの人材を確保するとともに、人材の育成と職場定着率向上を支援します。

- 1 福祉サービスの担い手確保（無料職業紹介事業、就職&進学フェア、職場体験、静岡県・静岡市保育士・保育所支援センター）
⇒就職人数：年間1,000人、全国3位以内
- 2 福祉の仕事の正しい理解の拡大
- 3 質の高い人材の育成支援（研修実施、職場内研修の支援）
⇒平均研修満足度95%以上
- 4 職場環境の改善支援

基本目標2 地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標1 住民主体による地域福祉活動・生活支援を推進します

地域の生活課題に対し、市町社協をはじめ、地域住民や民生委員・児童委員、関係機関・団体など地域における幅広い協働・連携の場づくりや仕組みづくりに取り組みます。

- 1 居場所づくりの推進
 - (1) 居場所の立上げ支援(養成講座、ふじのくに型実践者派県事業、居場所立上助成事業、企業への協力の働き掛け)
 - (2) 居場所実践者の交流
 - (3) 学生の地域活動応援事業の実施
- 2 生活支援サービスの活性化(担い手養成、立上支援)
- 3 公営集合団地における支え合い活動の推進
 - (1) 国際交流協会と協働(外国籍住民の意識調査等)
 - (2) 地域連携会議の設置(全世代型)
 - ・事業所・関係団体へのアンケート調査
 - ・地元大学との連携
 - ・ニーズに応じた活動の開発
- 4 子どもの貧困対策の推進(重点プロジェクト)
- 5 多文化共生の推進(多文化ソーシャルワーカーの養成)
- 6 災害時要援護者支援体制の強化
 - ・災害における社会福祉協議会アクションプランの推進
 - ・静岡県災害福祉広域支援ネットワークの強化

実施目標2 支援を必要とする住民の地域生活を支えます

深刻な生活課題を抱えている人々に対し、市町社協・福祉事業者等と関係機関が連携・協働し、自らの力を引き出して課題解決に導き、社会的な孤立防止、経済的困窮状況からの脱却に取り組みます。
また、個別課題への支援を通し、新たな住民のつながりの再構築を支援する等の地域づくりに努めます。

- 1 生活困窮者の理解促進と自立支援の仕組みづくりへの支援
 - (1) 生活困窮者自立支援事業における支援者同士の連携促進
 - (2) 生活福祉資金貸付制度の活用
- 2 権利擁護体制の構築
 - (1) 市町社協連絡協議会相談部会の設置
 - (2) 「権利擁護における社協活動方針」の作成
 - (3) 市町社協経営基盤強化検討委員会と連携した「我が事・丸ごとの体制づくり」への取組
- 3 行政・各関係機関、団体種別協議会、職能団体との連携・協働の促進
 - (1) 地域包括ケア推進に向けた保健・医療・福祉・介護の専門職連携の強化(コミュニティソーシャルワーカーの育成等)
 - (2) 生活支援コーディネーターの活動支援
 - (3) 「福祉サービス運営適正化委員会」機能の強化
 - (4) 福祉サービス第三者評価事業の推進

基本目標3 地域福祉を支える基盤づくり

実施目標1 市町社協を支援します

市町社協連絡協議会と連携し、地域の最前線で地域福祉の推進をリーダーする市町社協の自律的な経営と役職員のスキルアップを支援します。

- 1 市町社協相互の連絡調整
 - (1) 市町社協連絡協議会の運営(市町社協会長会議等の開催)
 - (2) 市町社協連絡協議会介護保険部会の開催
- 2 調査研究・政策提言
 - (1) 市町社協経営基盤強化検討委員会の開催
 - (2) 社会福祉法人制度改革への対応(法人のネットワーク化)
- 3 市町社協への活動支援及び市町行政との連携強化
- 4 役職員のスキルアップ支援(階層別研修、分野別研修の実施)

実施目標 2 社会福祉事業者を支援します

地域住民の安全・安心を支える福祉の拠点として、住民から必要とされる良質なサービス提供主体を目指す社会福祉事業者の、自律的かつ安定的経営を支援します。

1 法人経営、施設運営に資する多角的な支援

- (1) 福祉施設経営指導事業による専門相談の実施
- (2) 経理、人事労務、施設運営管理に係る研修会の開催
- (3) 社会福祉法人による地域における公益的な取組の推進
- (4) 施設整備や設備の充実のための助成
- (5) 福利厚生事業のメニューの充実と加入促進

2 多様な事業体、関係団体の連携・協働の推進

- (1) 地域ニーズに対する公益的活動の普及・啓発
- (2) 静岡県災害福祉広域支援ネットワークの強化
 - ・認知度の向上
 - ・登録員養成研修の開催
 - ・計画的な資機材の整備と事務局組織の強化

実施目標 3 県社協の基盤強化を図ります

地域福祉の総合的な推進を継続的に実施するために、安定的な組織運営を可能とする多様な財源確保と組織構成の拡大を図り、職員が専門性を発揮できるための人材育成を行います。

- 1 会員の拡大（会員制度の見直し）
- 2 政策提言機能の発揮（調査研究、政策提言）
- 3 人材育成（職場内研修、人事交流）
- 4 コスト削減（事業の重点化、業務の効率化）
- 5 多様な財源確保（共同募金の有効活用）
- 6 危機管理体制（災害発生時の初動体制整備、コンプライアンスの徹底）
- 7 経営の透明性

重点プロジェクト事業

推進期間の5年間で2つの事業に、特に重点的に取り組んでいます。

重点プロジェクト事業は、複数の基本目標をまたぎ、かつ、組織をあげて横断的に取り組む事業として位置づけています。

1 「ストップ！子どもの貧困」ネットワークプロジェクト

貧困の連鎖によって、子どもたちの将来が閉ざされることのないよう、多様な機関・団体等がつながり、子どもの貧困対策に向けた仕組みづくりを推進します。

- 子どもの貧困に係るシンポジウムの開催や先進的な取組の情報収集・提供
- 子どもの居場所づくりの推進(立上支援、居場所実践者の交流等)
- 野外活動など様々な体験機会の提供や学習支援の充実
- 「施設入所児童等自立促進事業」の検証及び新たな身元保証制度の検討(身元保証等に係るニーズ把握、新たな仕組みの検討)

2 権利擁護を軸とした地域のつながりプロジェクト

地域で生きづらさを抱える人が安心して生活するために、権利擁護の充実を目指して、市町（地域）に向けた働きかけを行うとともに、あらゆる機関がつながりをもち、支え合う仕組みづくりを推進します。

- 障がい者の社会参加の促進
- 「権利擁護における社協活動指針」の作成

主要事業

基本目標 1 地域福祉を支える人づくり

実施目標 1 住民の意識と主体的な行動力を高めます

重点事項 福祉以外の分野との協働促進と“社会的包摂”に向けた地域福祉教育の推進

「地域共生社会」の実現を目指し、“我が事・丸ごと”の地域づくりを進めるため、医療、健康、商業、農業、まちおこしなど、福祉以外の分野との協働促進を図るとともに、“社会的包摂”に向けた地域福祉教育を推進した。

<決算額： 3,481 千円>

事業内容	
1	<p>ふじのくに「地域共生」大賞の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優秀賞 2 団体 ①NPO 法人サステナブルネット②NPO 法人静岡司法ネット明日の空 ・奨励賞 3 団体 ①裾野市東地区おやじの会②銀さら勉強会③みんなのえがお“おたまちゃん食堂”（一覧は 90 頁に記載） ・地域づくり推進委員会の開催 優秀賞及び奨励賞の選定（プレゼンテーション審査） 第 1 回委員会(8/27) 第 2 回委員会(1/24)
2	<p>「福祉教育副読本」及び「地域福祉教育に係る手引書」の活用促進</p> <p>(1) ワークショップ（模擬授業）の開催 7/31 プラサヴェルデ、8/2 静岡県男女共同参画センターあざれあ 計 110 人</p> <p>(2) 地域福祉教育推進委員会の開催（1/31）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル市町：磐田市、藤枝市（平成 29 年度から平成 30 年度）

【成果】

新たに「地域づくり推進委員会」を設置し、「地域共生社会」の実現に向けて、「縦割り」から“丸ごと”の地域づくりへの転換を図るためには、「多分野連携」が重要であることを共有・確認するとともに県内の先駆的な取り組みの地域共生大賞の審査を行った。

「福祉教育副読本」及び「地域福祉教育に係る手引書」を活用して、他県では例のない模擬授業（ワークショップ）を開催し、アンケート結果で 90%以上の「満足度」を得ることができ、今後、継続して開催していく必要性を確認した。



地域福祉教育推進ワークショップ
(8月2日)

実施目標 2 地域福祉活動の核となる人材を育成します

重点事項 住民主体の活動を進める人材養成

複合的な課題を抱える人や家族に対して総合的な支援を行う地域福祉コーディネーターや、地域住民が主体となる活動を促し継続的な支援や調整を行う人材を育成した。

<決算額：2,500千円>

事業内容	
1	<p>地域福祉コーディネーター（コミュニティソーシャルワーカー）養成研修会の開催 対象者：市町社協、地域包括支援センター、相談支援事業所、生活困窮者自立相談支援機関、社会福祉法人等の職員 講師：日本地域福祉研究所 菱沼幹男氏、青山登志夫氏、大島隆代氏、高橋信幸氏</p> <p>Step1（7/12,13）38人 コミュニティソーシャルワークの機能、個別課題アセスメント、地域アセスメント、実践プランニングなど Step2（2/15,16）36人 コミュニティソーシャルワークの実践分析、グループコンサルテーション、チームアプローチなど</p> <p>※平成27～30年度の4年間で138人養成</p>
2	<p>コミュニティワーク研修会の開催 社会福祉法改正を踏まえた市町地域福祉（活動）計画の策定方法編（7/17,7/20,7/26） 地域アセスメント編 in 吉川団地（9/28）</p>

【成果】

地域福祉コーディネーターの養成数は平成27～30年度の4年間で138人養成となっており、第4次活動推進計画の数値目標（5年間で150人）に向けて、計画どおり進捗している。



地域福祉コーディネーター養成研修
 Step 1
 平成30年7月12、13日



コミュニティワーク研修会
 地域アセスメント編 in 吉川団地
 平成30年9月28日

実施目標3 福祉サービスの担い手を確保・育成します

重点事項 保育士・保育所支援センター設置による保育士確保の促進

今後見込まれる保育士需要の増加に向け、保育士・保育所支援センターを設置し、潜在保育士等の就職を支援した。

<決算額：11,610千円>

	事業内容
1	保育士・保育所支援センターの運営 就職支援コーディネーター2人の配置
2	保育士就職説明会の開催 中部第1回9/9(54人)、中部第2回1/12(33人) 東部1/19(19人)、西部1/26(29人)
3	潜在保育士現場復帰研修の開催 中部第1回9/9(48人)、中部第2回1/12(27人) 東部1/19(14人)、西部1/26(22人)
4	出張相談会の開催(開催回数：計9回) ○県委託分 6回 ○静岡市委託分 3回
5	保育現場体験事業の開催 潜在保育士又は資格取得見込み者を対象に、就活を円滑に行う支援として、県内私立保育所271園・静岡市こども園62園(計333園)にて現場体験を行った。希望者にはコーディネーターが同行し支援した。
6	保育所見学ツアーの実施(新規) 保育士として働きたい方を対象に、実際の保育現場を見学し、保育士等との交流などを行い、働く意欲を高め、早期就職を支援した。 西部(浜松市)11/7(5人)、東部(富士市)11/12(8人)、中部(静岡市)11/22(7人)
7	離職保育士届出制度の促進 保育人材確保につなげるため、潜在保育士や離職予定の保育士に対し、離職保育士届出制度の周知などを実施した。 「保育士・保育所支援センター」のホームページ上から離職保育士届出システムに移行できるようサイトをリニューアルした。



『保育のお仕事フェア』<中部第2回>
(平成31年1月12日 グランシップ)



『保育所見学ツアー』(西部 浜松市)
(平成30年11月7日 ひくまこども園)

【成果】

県、静岡市の委託を受けて県保育連合会や県保育士会等と連携しつつ、潜在保育士等の掘起しに向けた就職説明会、潜在保育士現場復帰研修や現場体験事業などに取り組み、3月末までに潜在保育士等111人の就職に結びついた。

重点事項 福祉サービスの担い手の確保の推進

福祉分野における人材確保が一層厳しくなる中、よりきめ細かなマッチングに努めるとともに、福祉の仕事のイメージアップや未来を担う人材の参入促進を図る事業に積極的に取り組んだ。

<決算額：56,927千円>

事業内容	
1	福祉人材無料職業紹介所の運営（本所・東部支所） 新規求人登録数 15,713人 新規求職登録数 3,600人 就職者数 638人（浜松バンク175人）計813人 ※全国1位
2	福祉人材マッチング機能強化事業の推進 ・求職者のニーズに適した職場開拓や働きやすい職場環境づくりのための事業者支援などを行うキャリア支援専門員を、本所に4名、東部支所に1名配置し、マッチングの強化を図った。 ・新規にマッチング育成事業として、求職登録者を対象とした小規模単位の「施設見学ツアー」を企画・実施し、事業所が主体的に求人活動を行うことを支援した。 （実施回数 10回／見学事業所数 31事業所／参加者数 44人／採用者数 9人）
3	福祉の就職&進学フェアの開催（開催回数：計9回） <Ⅰ期>東部6/24、中部7/15、西部7/2（土日開催） <Ⅱ期>東部10/31、中部11/8、西部10/24（平日開催） <Ⅲ期>東部3/3、中部3/10、西部3/17（土日開催）
4	福祉のお仕事魅力発見セミナーの実施 ・小学校65回、中学校76回、高校25回、計166回 福祉のしごと学び体験ツアーの実施（7月～8月） ・東部、中部、西部の社会福祉法人の協力を得て、夏休み期間中に各1回体験ツアーを実施。 参加者計114名
5	保護者向け啓発資料の作成（12月、10,000部作成）

【成果】

全国的に福祉分野の求職者数が減少している中であって、平成31年3月末時点で、全県で813人の就職者を確保し、全国1位の実績となった。



福祉の就職&進学フェア
（平成31年3月16日）
《東部会場 プラサ ヴェルデ》



福祉のしごと学び体験ツアー
（平成30年7月23日）
《西部地区 天竜厚生会》

基本目標 2 地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標 1 住民主体による地域福祉活動・生活支援を推進します

重点事項 生活支援サービス活性化事業の実施

高齢になっても、障がいがあっても、互いに支え合い、安心して身近な地域で暮らし続けるため、住民主体による生活支援サービスの普及促進を図り、市町社協や行政と協働し、生活支援サービスの立上げを支援した。

<決算額：2,100千円>

事業内容	
1	<p>住民参加型生活支援サービス立ち上げ講座（赤い羽根共同募金助成事業）</p> <p>① 御殿場市における取組 「あったかサポート サポーター養成講座」11/14、11/21 参加者：各回 約 50 人</p> <p>② 三島市(平田・新谷・玉川地区)における取組 「いつまでも“平田・新谷・玉川地区”で安心して暮らしていくための勉強会」 2/2、3/9 参加者：各回 約 20 人</p> <p>③ 菊川市における取組 「地域福祉活動における新たな財源確保を考える勉強会」2/18 参加者：20 人 「菊川市担い手(ヘルプマン)養成講座(高校生・大学生編)」3/21 参加者：15 人</p> <p>④ 湖西市における取組 「湖西市地域支え合い講座」10/20、11/4、11/25 参加者：各回 約 30 人</p>
2	<p>① 生活支援コーディネーター養成研修 ※県受託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改正介護保険制度に係る市町が配置する生活支援コーディネーターを養成(役割：生活支援の担い手の養成、サービスの開発、関係者のネットワーク化) 【中西部】8/8～9 レイアアップ御幸ビル 6-D 参加者 33 人 【東 部】9/18～19 プラサヴェルデ 407 会議室 参加者 27 人 <p>② 生活支援コーディネーターのための助け合い活動見学ツアー ※新規事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助け合い活動の現場体験を通じ、地域に応じたサービス創出を支援する 【中 部】11/7 静岡市・藤枝市 参加者 18 人 【西 部】12/7 磐田市・浜松市 参加者 19 人 【東 部】12/12 三島市・函南町・裾野市 参加者 25 人 【賀 茂】1/10 下田市・松崎町・西伊豆町 参加者 20 人

【成果】

生活支援コーディネーター養成研修では、これまでに 339 人の人材を養成した。また、住民参加型生活支援サービス立ち上げ講座については、本事業は現場を持たない県社協にとって、関係者のみならず住民と協働する機会となり、協働実施した御殿場市では、平成 31 年 4 月から生活支援サービス「あったかサポート」を立ち上げた。



生活支援コーディネーター養成研修
平成 30 年 8 月 8 日～9 日
(中西部会場：レイアアップ御幸ビル)

実施目標2 支援を必要とする住民の地域生活を支えます

重点事項 福祉サービス利用者の権利擁護

日常生活自立支援事業の専門員及び生活支援員に対する研修等を通じて、きめ細かな相談支援体制の充実強化を図った。

また、静岡県から法人後見実施機関職員研修事業を受託し、成年後見制度業務の推進及び市民後見人の育成・支援組織の体制整備を図った。

<決算額：82,548千円>

	事業内容
1	日常生活自立支援事業の執行体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> 日常生活自立支援事業推進委員会の開催（5/24、10/12、1/25、2/13、3/8） 生活支援員研修（新任：7/19、2/20 現任：2/5、2/6） 専門員研修（新任：6/13 担当者会議：8/27） 実施状況訪問調査（政令市除く33市町社協） 金銭管理サービスガイドラインの作成 業務システムの改修
2	成年後見利用促進連携・相談体制整備事業の受託 <ul style="list-style-type: none"> 静岡県成年後見制度利用促進協議会の開催（県内5地区）（9/3、9/5、9/7、9/11、9/14） 成年後見実施機関設置・運営等に係る相談事業（計27回）
3	成年後見実施機関運営等支援事業の受託 <ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度市町長申立に係る実務研修の開催（6/29、7/3） 地域連携ネットワーク構築及び中核機関設置に向けた市町・市町社協連絡協議会の開催（12/21） 成年後見実施機関広域設置研修（6月～1月：6回）
4	成年後見制度利用促進のための人材育成事業の受託 <ul style="list-style-type: none"> 普及啓発用パンフレット及び研修テキストの作成 成年後見制度理解促進研修会の開催（県内5か所）（2/7、2/12、2/22、2/27、3/1）
5	日常生活自立支援事業事例検討会の実施 <ul style="list-style-type: none"> 市町社会福祉協議会の専門員（担当者）を対象に資質向上を図るために実施した。（2/28）

【成果】

平成31年から始める市町を含め、市民後見人養成に取り組む市町は32市町。法人後見の体制が整った市町社協は23社協。

平成31年3月末時点で

- ・活動中の市民後見人：7人（富士2・沼津5）
 - ・養成講座修了者：279人、名簿登録者：100人
- 地域における権利擁護推進での社会福祉協議会への期待が高まってきている。

また、利用者の身近にいる福祉事業所職員向けの研修会を行ったことにより、制度利用を必要としている人を制度につなげやすくなった。



地域連携ネットワーク構築及び中核機関設置に向けた市町・市町社協連絡協議会

基本目標 3 地域福祉を支える基盤づくり

実施目標 1 市町社協を支援します

重点事項 市町社協経営基盤の強化

市町社協の経営基盤強化を図るため、昨年度に引き続き 市町社協会長研修会を開催するとともに、研修等を通じて、経理事務の適正化や役職員のスキルアップを支援した。

<決算額：13,889千円>

	事業内容
1	<p>社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業説明会（菊川市 4/24、三島市 5/2） ・市町社協担当者会議（11/6） ・地域における公益的な取組に関するアンケートの実施（対象：423 社会福祉法人） ・社会福祉法人の地域における公益的な取組の啓発映像の作成（動画セミナー・6 事例紹介）
2	<p>市町社協役職員会議等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町社協事務局長会議（5/16） ・市町社協連絡協議会幹事会（6/19） ・介護保険部会幹事会（7/19） ・相談事業部会幹事会（11/12, 1/17, 3/14） ・市町社協地域福祉相談担当者合同会議(7/25) ・市町社協総務担当者会議の開催(8/10) ・市町社協経営基盤強化検討委員会の開催(9/3、12/19) ・まちづくり協議会等「地域運営組織」の動向に係る調査報告書の作成 ・「自治会・町内会の地域組織等との連携・協働のあり方」を提言 ・市町社会福祉協議会会長会議（9/14）
3	<p>市町社協役職員研修の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町社協監事研修会(4/16) ・市町社協新任職員研修会(5/23、23) ・市町社協会計実務研修会(7/17) ・市町社協トップセミナー(2/12) ・市町決算実務研修会(2/13)



市町社会福祉協議会会長会議



市町社会福祉協議会トップセミナー



公益的な取組解説動画セミナー

【成果】

地域共生社会の実現に向けた市町段階の地域福祉推進の基盤強化を図るため、「自治会・町内会の地域組織等との連携・協働のあり方」を提言するとともに、関係会議を通じて、社協として対応すべき事項を共有した。特に市町社会福祉協議会会長会議においては、『社協・生活支援活動強化方針（第2次アクションプラン）』のチェックリストに基づく取組状況と課題の共有を行った。



実施目標 2 社会福祉事業者を支援します

重点事項 地域特性に合わせた事業者への支援

社会福祉法人が、地域の住民が安心して利用できる福祉サービスを、地域の特性に合わせて提供できるように、経営基盤強化や組織ガバナンスの強化に向けた側面的支援を行った。

また、県内福祉関係 15 団体によって設置された「静岡県災害福祉広域支援ネットワーク」において、福祉専門職で編成される災害派遣福祉チーム（静岡DCAT）を災害発生後の避難所や福祉避難所に派遣し、要配慮者の福祉的課題の解決に向けた支援を行うための事業を実施した。

<決算額：35,800 千円>

	事業内容
1	民間社会福祉施設運営基金助成事業の実施 助成実績 81 件（実績一覧は 94 頁に記載）
2	福祉施設経営指導事業の実施 相談件数 798 件
3	経営に関する研修会・セミナー等の開催 研修実績 12 研修 参加人数：計 3,108 人
4	静岡県災害福祉広域支援ネットワークの活動 ア 静岡 DCAT の派遣支援活動 ・岡山県倉敷市真備町の指定避難所へ 3 チーム 12 名を派遣（7/23～8/6）  静岡 DCAT 派遣支援活動（於：倉敷市立蘭小学校） イ 静岡県災害福祉広域支援ネットワーク支援協力申出書の受理 ・県内 48 法人から 130 人分の申出を受理し、96 人の登録員を養成 ウ 県地域福祉課との災害時福祉人材派遣情報伝達訓練の実施（8/30, 1/17） エ 静岡 DCAT 登録員養成研修の開催 47 人受講（第 1 回：8/16, 17） 49 人受講（第 2 回：9/6, 7）計 96 人 

- オ 静岡 DCAT 登録員フォローアップセミナーの開催 (2/13)
- カ 静岡県災害福祉広域支援ネットワーク会議の開催(3/12)
- キ 静岡 DCAT の広報周知活動、平時の支援活動、出張講座、県外視察
- ①静岡市福祉避難所研修会 (7/31)
 - ②静岡市社会福祉協議会主催夏休みボランティア福祉体験 (8/12)
 - ③静岡市葵区一番町地区防災研修会 (8/26)
 - ④藤枝市総合防災訓練青南町自主防災訓練 (8/26)
 - ⑤静岡県災害対策士業連絡会 (8/31)
 - ⑥長泉町六施設介護勉強会 (9/13)
 - ⑦障がいをもつ子と家族のための「ハハルキャンプ」 & 防災ワークショップ (9/15, 16)
 - ⑧特別養護老人ホーム愛華の郷施設防災訓練見学 (10/11)
 - ⑨御前崎市地域医療を育む会勉強会 (10/14)
 - ⑩福祉避難所設置・運営訓練(賀茂モデル) (10/16)
 - ⑪函南町福祉避難所設置・運営訓練 (10/28)
 - ⑫福田地区民生委員児童委員協議会研修会 (11/9)
 - ⑬西豊田学区地域支え合い宿泊型防災訓練 (11/23, 24)
 - ⑭災害リハ研修会における DCAT の活動報告 (12/1)
 - ⑮「地域防災の日」御前崎市避難訓練 (12/2)
 - ⑯岡山 DWAT 研修&活動報告会視察 (12/4)
 - ⑰全国経営協南関東・甲静ブロック協議会セミナー活動報告 (1/10)
 - ⑱静岡サレジオ高等学校出張講座 (1/17)
 - ⑲第3回京都府災害派遣福祉チーム養成研修視察 (2/5 京都府)
 - ⑳経営協東海北陸ブロック研修 (2/12 石川県)
 - ㉑災害ネットワークセミナー (2/25 長野県)
 - ㉒神奈川県社会福祉士会災害支援活動者ステップアップ研修 (2/23)



【成果】

静岡DCATを被災地に派遣し避難所における避難者支援活動を実施したことで、二次被害防止に貢献した。

地域の防災訓練や関係団体の研修に出向いたことで、静岡DCATが広く周知され、関係団体とのネットワークができた。

※静岡DCAT…静岡 Disaster Care Assistance Team

重点プロジェクト事業

1 「ストップ!子どもの貧困」ネットワークプロジェクト

貧困の連鎖によって、子どもたちの将来が閉ざされることのないよう、多様な機関・団体等がつながり、子どもの貧困対策に向けた仕組みづくりに取り組んだ。

<決算額：3,742千円>

事業内容	
1	子どもの居場所づくり推進事業（県委託事業）のコーディネーターによる支援 ・県内10の個人・団体に対し、立上げ支援に係る相談支援を行った。
2	子どもの居場所（こども食堂含む）の立上支援 ・居場所立上助成事業（ふれあい基金） ・「子どもの居場所づくりセミナー開催」（県委託事業） 東部：平成30年7月30日（月）参加者57人 中部：平成30年7月12日（木）参加者55人 西部：平成30年7月11日（水）参加者57人
3	「身元保証」「死後事務」等相談対応に関する調査の実施 県内の高齢・障害・生活困窮等の相談対応をされている団体に身元保証や死後事務の問題についての実態調査を実施した。 対象者：静岡県内の市町社会福祉協議会、生活困窮者自立相談事業所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、障害者計画相談事業所 対象数：1,587団体 調査方法：郵送配布・郵送回収 調査期間：平成31年1月22日～平成31年2月18日

【成果】

子どもの貧困問題への理解と取り組みが広がる中、「こども食堂」をはじめ、子どもが1人でも立ち寄れる居場所の必要性が高まっていることから、さらなる広がり支援していく必要がある。そのため、実践者から立ち上げや運営に必要なノウハウを学ぶとともに、参加者の情報交換と地域の担い手の方々がつながるためのセミナー（交流会）を開催し、子どもの居場所づくりに取り組むきっかけを提供し、居場所立上の促進に努めた。



【子どもの居場所づくりセミナーの開催】

2 権利擁護を軸とした地域のつながりプロジェクト

地域で生きづらさを抱える人が安心して生活するために、権利擁護の充実を目指して、市町（地域）に向けた働きかけを行うとともに、あらゆる機関がつながりを持ち、支え合う仕組みづくりを推進した。

<決算額：1,998千円>

事業内容	
1	障がい児者関係団体等の協議の場づくり ・静岡県障害者社会参加推進協議会への参加（年2回）
2	静岡県成年後見制度利用促進協議会の開催（県内5地区） 参加者：市町行政職員、市町社協職員、静岡家裁、弁護士会、リーガルサポート、社会福祉士会、県地域福祉課、健康福祉センター 9/3 東部①地区 三島市民文化会館 参加者 25人 9/5 西部地区 浜松市福祉交流センター 参加者 30人 9/7 賀茂地区 下田市民文化会館 参加者 27人 9/11 東部②地区 プラサヴェルデ 参加者 38人 9/14 中部地区 男女共同参画センターあざれあ 参加者 29人
3	地域連携ネットワーク構築及び中核機関設置に向けた市町・市町社協連絡協議会の開催 12/21 静岡音楽館 AOI 講堂 参加者 88人 基調講演、基調説明、グループ協議、全体共有など 講師：厚生労働省大臣官房参事官（成年後見制度利用促進等担当） 梶野友樹氏 オブザーバー：静岡家庭裁判所

【成果】

成年後見制度に係る現状や課題を各市町行政・社会福祉協議会・専門職団体・家庭裁判所で共有するとともに、市民後見人等の育成・活用のための体制づくりや、地域連携ネットワーク及び中核機関の構築に向けた関係機関の連携の必要性を共有することができた。

また、成年後見実施機関から中核機関へと発展させていくための具体的な取り組み等について、イメージ化することができた。



【地域連携ネットワーク構築及び中核機関設置に向けた市町・市町社協連絡協議会（12/21）】

基本目標 1 地域福祉を支える人づくり

実施目標 1 住民の意識と主体的な行動力を高めます

推進事項 1 “暮らし・安心・支え合い” 福祉のまちづくり県民運動の実施

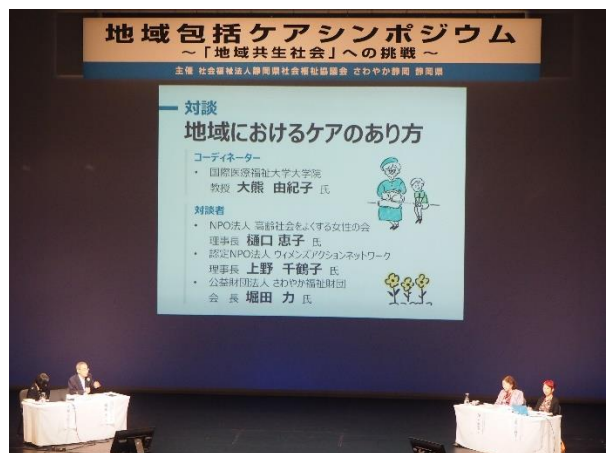
「ふじのくに健康福祉キャンペーン推進協議会」に参画し、広域的な見地から、県民福祉の日(10月20日)を中心とした県民運動において、地域における深刻な生活課題の解決や社会的孤立の防止に関する啓発活動を展開した。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) “暮らし・安心・支え合い” 福祉のまちづくり県民運動の実施(主に10～11月)</p> <p>ア 県民福祉の日に関する広報啓発事業</p> <p>①他団体が実施する行事等への協賛 広報紙等への「県民福祉の日」PR広告の掲載 イベントへの参画 (8/20 フェスタシズウエル)</p> <p>②「県民福祉の日」PR広告のチラシの作成、配布、広報依頼(10,000枚、県内の社会福祉法人、行政、賛助会員団体・企業等に配布、広報依頼)</p> <p>③ポスター(A2版)の作成・配布 (3,400枚、県内の社会福祉法人、行政、賛助会員団体・企業、コンビニ等に配布)</p> <p>④のぼり旗の設置 (シズウエル、県庁、県健康福祉センター等に設置)</p> <p>⑤県庁前立て看板の設置(9/22～10/20)</p> <p>⑥シズウエルに横断幕の掲揚(9/20～10/31)</p> <p>⑦「社会福祉しずおか10月号(特別号)」の作成・配布</p> <p>⑧ マスコミを活用した広報・啓発活動の実施</p> <p>イ 福祉のまちづくり絵画コンクールの開催 県内小学校等の1年生～6年生の児童を対象に、「やさしさでつながる福祉のまち」をテーマとした絵画作品を募集。応募総数674作品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最優秀賞、優秀賞等16作品を選定し、その他入選を選定。 ・最優秀賞、優秀賞を健康福祉大会で表彰(10/25) ・入選以上の作品を県内3か所で展示 中部：県庁別館21階 11/6～11/22日 ※17日間 西部：磐田アミューズ豊田 12/3～18日 ※16日間 	<p>継続</p> <p>”</p>	<p>福祉の諸問題に対する社会的関心の喚起、理解の促進に寄与している。</p>  <p>横断幕 シズウエルに掲揚</p>

<p>東部：サンウエル沼津 1/7～1/24 ※18日間</p> <p>ウ 福祉カレンダーの作成・配布 上記コンクール入賞作品16作品を使用してカレンダーを作成、配布</p> <p>※カレンダーには福祉に関する日（県民福祉の日や介護の日等）を書き入れ、その周知と福祉教育等に活用</p> <p>(2) 静岡県健康福祉大会の開催 (10/25、グランシップ 参加者 1,500人) 講演：「ガッテン流！人生100年時代の健康づくり～ネットで見たけど、これってホント？～」 講師：北折 一 氏（元NHK「ためしてガッテン」専任ディレクター） 式典：表彰、大会宣言</p> <p>(3) 各福祉週間等啓発事業</p> <p>ア 児童福祉週間 児童養護施設の子どもたちによる鯉のぼり作成、掲揚(4/28～5/11)</p> <p>イ 老人週間 地域包括ケアシンポジウム開催(10/29 グランシップ 参加者 820名)</p> <p>ウ 児童虐待防止月間 児童虐待防止静岡の集い (11/10) オレンジリボンたすきリレー (11/10)</p>	<p>継続</p> <p>//</p> <p>//</p>	 <p>児童福祉週間 鯉のぼり掲揚 (シズウエル 4/28～5/11)</p>
---	-------------------------------	--



静岡県健康福祉大会
平成30年10月25日



地域包括ケアシンポジウム
平成30年10月29日

推進事項2 市町社協等と協働して住民の主体形成を図ります


1 ボランティア活動推進事業

市町社協ボランティアセンターの支援強化並びに地域活動団体及びNPO関係団体の活動を支援した。

また、東海地震等大規模災害発生時に、適切に対処するため、県内社協の体制整備、職員の資質向上に努めた。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) ボランティア活動推進事業</p> <p>ア 市町社協担当者会議の実施 ※地域福祉教育担当者会議と合同 8/23、29人参加 (静岡県男女共同参画センターあざれあ) 内 容 基調説明『社協に求められるボランティアセンター・地域福祉教育』 講師：静岡福祉大学 特任教授 増田 樹郎 氏 グループワーク 分科会Ⅰ 『社協ボランティアセンターに求められる役割』 分科会Ⅱ 『地域福祉教育を進めるための方法』 全体共有 進行：県社協 助言：静岡福祉大学 特任教授 増田 樹郎 氏</p>	継続	市町社協ボランティアセンターの機能強化及び担当職員や県内ボランティアコーディネーターの資質向上、災害発生時に向けた体制強化、ボランティア活動の活性化、地域課題の解決に向けた活動の活性化など、社会的排除のない地域づくり・人間関係づくりに寄与している。
<p>イ ボランティアコーディネーター養成研修の実施 「ボランティア活動・住民活動を地域でおこす協働の仕掛けづくり」 講師：九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行 氏 10/3 37人参加（静岡市産学交流センター）</p>	〃	
<p>ウ 災害支援活動あり方検討会の開催 第32回（12/13）</p>	〃	

<p>エ 市町社協災害対応研修会 3/1 31人参加 基調報告①「西日本豪雨等における社協ネットワークの動きについて」 報告者：全国社会福祉協議会 地域福祉部 副部長 小川 耕平 氏 基調報告②「呉市社会福祉協議会における災害対応の実際と今後の課題」 報告者：呉市社会福祉協議会 地域福祉課 主査 近藤 吉輝 氏 リレー報告「くれ災害VCへの災害派遣時の状況について」</p>	<p>継続</p>	<p>各団体の活動意欲の向上及び活動充実に寄与している。</p>	
<p>オ 呉市災害ボランティアセンター運営支援 7/11～13 先遣隊2名を派遣 活動資機材、飲料水 の輸送及び呉市災害ボランティアセンターの運営支援 7/13～15 第2次隊2名を派遣 活動資機材の輸送及び呉市災害ボランティアセンターの運営支援 7/17～9/29 呉市災害ボランティアセンター運営支援チームの派遣（県社協及び市町社協） 派遣人員 90名(15クール×4名、10クール×3名)</p>	<p>//</p>	<p>市町社協災害対応研修会 平成31年3月1日</p>	
<p>(2) 静岡県社会福祉協議会ふれあい基金事業の実施 ア 県ボランティア協会への助成 ①リフトバス運行事業 ②ボランティア研究集会事業 ③市民活動推進事業 ④「ケアする人のケア」事業</p>	<p>//</p>		<p>呉市災害ボランティアセンター 運営支援</p>
<p>イ 地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業、活動奨励、活動推進事業（先駆的含）、セルフヘルプ活動支援事業、しずおかの居場所立上助成事業、東日本大震災に係る避難者交流活動助成事業、広域的な防災活動推進助成事業 ウ ふじのくに「地域共生」大賞 ① 募集開始：市町社協、NPO、マスコミ等への周知（イ平成30年4月～、ウ平成30年11月～12月） 県内149団体（イ92団体、ウ57団体）から申込 ② 奨励・助成先の審議 第1回ふれあい基金運営委員会（5/31）</p>	<p>新規</p>		

<p>56 団体の奨励・助成先を決定 活動奨励賞（8 団体）、活動推進助成（31 団体： 先駆的助成 3 団体含）、セルフヘルプグループ 活動支援助成（4 団体）、しずおかの居場所立上 事業助成（11 団体）、東日本大震災に係る避難 者交流活動助成事業（1 団体）、広域的な防災活 動推進助成事業（1 団体）（一覧は 85～89 頁 に記載）</p> <p>第 2 回ふれあい基金運営委員会（3/14）</p> <p>③ 奨励・助成総額 13,200 千円 イ 奨励・助成総額 12,700 千円 ウ ふじのくに「地域共生」大賞 500 千円</p>	
<p>(3) ABC しあわせ基金車両贈呈事業の実施 申込のあった 68 団体について「ABC しあわせ基金 運営委員会」（3/19）で審議し、3 団体に決定、車両 贈呈式（9/25）を開催した。</p> <p>寄贈団体</p> <p>①障がい者就労継続支援 B 型事業所アルシオン 寄贈車両：マツダ スクラム</p> <p>②児童養護施設 春風寮 寄贈車両：ホンダ N-BOX</p> <p>③天使の部屋（三方原教室） 寄贈車両：スズキ スペーシア</p>	 <p>ABC しあわせ基金車両贈呈式 平成 30 年 9 月 25 日</p>

2 地域福祉教育推進事業

平成 23 年度に策定した「静岡県における地域福祉教育推進に係る基本指針」に基づき、住民主体の地域福祉を進める上での基盤である福祉教育を推進し、子どもからお年寄りまで全ての住民を対象に福祉に対する啓発・活性化を図ることにより、地域住民自らが主人公となった草の根的な「福祉のまちづくり」を進めた。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 地域福祉教育推進事業</p> <p>静岡県地域福祉教育推進計画の推進</p> <p>ア 静岡県地域福祉教育推進委員会の開催（再掲） 【第 1 回】1/31 参加者 9 人 （愛知教育大学名誉教授 増田 樹郎 氏 他） 内容：福祉教育副読本活用モデル事業 他</p> <p>イ 地域福祉教育推進ワークショップの開催（再掲） （7/31、8/2）参加者計 110 人 内 容 趣旨説明・講話『学校における福祉教育の取組』 講師 愛知教育大学名誉教授 増田 樹郎 氏</p> <p>模擬授業① 7/31 沼津特別支援学校 遠藤 麻衣子 教諭 8/2 浜名特別支援学校 與五沢 恭子 教諭</p> <p>模擬授業② 7/31 下田アイフレンズ代表 土屋 まさ代 氏 8/2 地域支援ネットゆう理事 杉本 和美 氏</p> <p>ウ 市町社協担当者会議の実施 ※ボランティア担当者会議と合同 8/23、29 人参加 （静岡県男女共同参画センターあざれあ） 内 容 基調説明『社協に求められるボランティアセンター・地域福祉教育』 講師：静岡福祉大学 特任教授 増田 樹郎 氏</p> <p>グループワーク 分科会 I 『社協ボランティアセンターに求められる役割』 分科会 II 『地域福祉教育を進めるための方法』 全体共有</p>	<p>継 続</p>	<p>地域福祉教育を通じて、「みんながしあわせ」と感じられる地域社会を実現するため、住民の地域福祉への関心及び地域活動への参加機運の醸成、住民の地域活動への参加拡大に寄与している。</p> <div data-bbox="979 943 1417 1229" data-label="Image"> </div> <p>地域福祉教育推進ワークショップ 8 月 2 日</p>

進行：県社協 助言：静岡福祉大学 特任教授 増田 樹郎 氏		
-------------------------------------	--	--

3 教員免許取得のための介護等体験事業

小学校及び中学校教諭の普通免許証取得希望者に義務付けられている社会福祉施設での介護等体験において、円滑に実習ができるように大学、施設との受入調整業務を行った。

事業の実績	区分	効果・評価
「社会福祉施設での介護等体験」の実施 体験申込：大学・短期大学部 39校 955人 辞退者 18人 (一覧は91頁に記載) ア 介護等体験事前指導の実施 ・静岡大学人文社会科学部・理学部 H30.8/7 45人 ・東海大学海洋学部 H30.12/25 18人	継続	学生の高齢者や障がい児者に対する介護等の体験をとおして、思いやりのある職業人の育成に寄与するとともに、施設側にとっては、学生の受入を通して、サービスの向上につながっている。

実施目標 2 地域福祉活動の核となる人材を育成します

推進事項 1 小地域福祉活動リーダーの育成を支援します

小地域福祉活動の推進・まとめ役、実際に活動を担う人(自治会役員や地域活動者等)を養成する指導者を育成した。

事業の実績	区分	効果・評価
小地域福祉活動リーダー指導者養成事業 ・小地域福祉活動リーダー養成プログラム作成委員会の設置(年1回) 【第1回】1/31、参加者8人(愛知教育大学 名誉教授 増田 樹郎 氏 他) 内容:小地域福祉活動のすすめ活用モデル地域について 各市町における小地域福祉活動の取組状況と課題について	継続	小地域福祉活動を推進する上で、核となる人材の育成研修と、住民自らが活動するためのツール(プログラム)の作成を通じて、地域福祉活動の活性化、継続化に寄与している。


推進事項 2 地域福祉コーディネーター、社協職員を育成します

複合的な課題を抱える人や家族に対して総合的な支援を行う地域福祉コーディネーターや、地域住民が主体となる活動を促し継続的な支援や調整を行う人材を育成した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1)担い手づくり研修事業 【みんなで支える地域福祉促進事業】 ア コミュニティソーシャルワーカー養成研修 Step1 (7/12、13) 38人 講師:日本地域福祉研究所理事(日本社会事業大学准教授)菱沼 幹男 氏 内容 ①講義Ⅰ「新たな社会福祉システムとコミュニティソーシャルワークの機能」 ②講義Ⅱ「コミュニティソーシャルワークのプロセスと技法」 ③ワークショップⅠ「コミュニティソーシャルワーク視点による個別課題アセスメント」 ④ワークショップⅡ「コミュニティソーシャルワーク視点による地域アセスメント」 ⑤ワークショップⅢ、Ⅳ「コミュニティソーシャルワークの実践プランニング」 Step2 (2/15、16) 36人 講師:日本地域福祉研究所 事務局長 高橋 信幸 氏 日本地域福祉研究所主任研究員(静岡福祉大学特任教授)青山 登志夫 氏	継続	地域の生活課題を解決するための住民主体の地域福祉活動の活性化や住民と様々な関係者とのネットワークの構築、地域福祉推進の中核的役割を果たすための社協の職員基礎スキル向上に寄与している。 地域の多様な生活課題を受け止めるための社協の総合相談機能の強化につながっている。



コミュニティソーシャルワーカー養成研修 Step1

<p>日本地域福祉研究所 研究員 (早稲田大学准教授)大島 隆代 氏</p> <p>①実践報告 報告者：遠藤 富美江 氏 (伊豆の国市葦山地域包括支援センター 主任介護支援専門員)</p> <p>②グループコンサルテーション「参加者の事例を基に」</p> <p>③講義「チームアプローチ」 講師：日本地域福祉研究所主任研究員 静岡福祉大学特任教授 青山 登志夫 氏</p> <p>イ コミュニティソーシャルワーカー養成研修受講者継続研修 (1/14) 20 人</p> <p>内容</p> <p>①講義 「コミュニティソーシャルワークの視点による地域生活支援と事例検討方法」 講師：日本地域福祉研究所理事 (日本社会事業大学准教授) 菱沼 幹男 氏</p> <p>②事例報告 報告者：社会福祉法人天心会 特別養護老人ホーム 竜爪園 地域福祉主任 コミュニティソーシャルワーカー 福貴 稔 氏</p> <p>③事例検討 事例を基にグループで支援方法等を検討</p> <p>④情報交換・質疑応答</p> <p>ウ コミュニティワーク研修会</p> <p>① 地域アセスメント編 in 吉川団地 9/28 吉川団地自治会館 講義：「地域アセスメントの理論と方法について」 講師：駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻 准教授 川上 富雄 氏 事例報告「静岡市社協における地域アセスメントの取組」 報告者：静岡市社会福祉協議会 清水区地域福祉推進センター 津野邊 豪 氏 演習「地域アセスメントの手法を学ぶ」</p> <p>② 社会福祉法改正を踏まえた市町地域福祉(活動)計画の策定方法編 7/17 中西部会場 32 人参加 (掛川グランドホテル) 7/20 東部会場 26 人参加 (三島市民文化会館) 7/26 賀茂会場 12 人参加 (開国下田みなと会議室)</p>	<p>継続</p> <p>//</p>	 <p>コミュニティワーク研修会 地域アセスメント編 in 吉川団地 (9月28日)</p>
---	---------------------	---

<p>講義：社会福祉法改正を踏まえた市町地域福祉（活動）計画の策定方法について</p> <p>講師：ローカリズム・ラボ 代表 井岡 仁志 氏</p> <p>協議・意見交換</p> <p>エ 多文化ソーシャルワーカー育成研修</p> <p>東部：（東部総合庁舎別棟会議室）7/24</p> <p>中部：（県庁別館会議室）7/30</p> <p>内容・県内外国人の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人相談に必要な基礎知識について ・外国人相談に際し注意すべき点、事例紹介等 	<p>継 続</p>	
--	------------	--

推進事項3 民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりとリーダー層の研修を実施します

民生委員・児童委員活動と社協活動の連携強化を図るため、活動の基盤である法定地区民児協の活動を支援するとともに、民生委員・児童委員が住民の身近な相談・支援者としての役割を担うための研修を開催した。

また、市町民児協事務局、県・市町行政、市町社協との合同会議を開催した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 民生委員・児童委員のための相談技法に関する研修会の開催 7/27 参加者 69 人（東部地区） 7/26 参加者 59 人（中部地区） 7/20 参加者 72 人（西部地区）	継続	相談援助にあたる際の基本的な知識・技術の習得、向上につながった。
(2) 法定地区民児協会長研修会の開催 (9/5～6 155 人)	〃	
(3) 主任児童委員研修会の開催 (1/8.9 東部 51 人、西部 43 人)	〃	
(4) 全国民生委員・児童委員大会等参加費助成事業の実施	〃	
(5) 市町法定地区民生委員児童委員協議会への講師派遣	〃	
① 裾野市民生委員児童委員協議会 (5/10) ② 御前崎市民生委員児童委員協議会 (5/10) ③ 島田市金谷南地区民児協 (7/6) ④ 袋井市第3地区民生委員児童委員協議会 (7/27) ⑤ 志太榛原四市二町民児協連絡会 (7/30) ⑥ 焼津市和田地区民生委員児童委員協議会 (8/8) ⑦ 東部地区役員研修会 (9/20) ⑧ 焼津市民児協生活支援部会 (10/31) ⑨ 磐田市福田地区民児協 (11/9) ⑩ 焼津市民児協地域福祉部会 (2/5) ⑪ 裾野市民生委員児童委員協議会 (2/7)	〃	
(6) 県民生委員児童委員協議会の事務受託	〃	社会福祉協議会との連携の重要性について、再確認の場につながっている。

実施目標3 福祉サービスの担い手を確保・育成します

推進事項1 福祉・介護現場の魅力ややりがいの発信と、きめ細やかな就労支援により、より多くの就労につなげます

1 福祉サービスの担い手の確保の推進



今後、益々拡大していく福祉・介護ニーズに対応していくためには、必要な福祉・介護サービスを提供する人材の安定的確保が重要である。

福祉人材センターでは、福祉・介護職場の魅力ややりがいを積極的に発信するとともに、福祉・介護人材確保のため、求人・求職のマッチングをきめ細やかに行うなど、求人事業所及び求職者を支援した。



福祉のお仕事魅力発信セミナーの様子
(5月31日伊豆の国市立長岡南小学校)

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 福祉人材無料職業紹介所の運営（本所・東部支所） 求人・求職登録・就職状況（3月末現在） 新規求人登録数 15,713人 新規求職登録数 3,600人 就職者数 638人（県全体813人）	継続	全国的に福祉・介護人材の確保が厳しくなっている中、昨年度より44人多い638人の就職者を確保できた。
(2) 社会福祉人材センター運営委員会の開催 第1回 日時 平成30年7月5日(木) 13:30～ 場所 静岡県総合社会福祉会館シズウエル 内容 ア 平成29年度事業報告について イ 平成30年度事業計画について	〃	
(3) 広報・啓発推進事業の実施 ア 広報（テレビCM放送）の実施 (5/7～6/29) 民放4局 計87本 (1/22～3/15) 民放4局 計83本 イ リーフレットの発行 5,000部発行 ウ 社会福祉アクセスガイドの発行 2,700部 エ 社会福祉人材センター利用の手引きの発行 2,000部 オ 求人の手引きの発行 900部	〃	マンガ冊子の作成やテレビCMの放送、インターネットによる情報提供等により、広く県民に広報・啓発を行い、福祉の仕事に対するイメージアップや人材センターの周知

<p>カ 人材センター年報の発行 150部</p> <p>キ 福祉・介護の仕事イメージアップ漫画「シアワセのレンサ」(Vol. 9)の発行5,000部</p> <p>ク「大切なあなたへ～メッセージフォー・ユー～(介護部門)」でのラジオCM、新聞広告</p> <p>ケ ホームページによる求人情報等の提供</p> <p>(4) 福祉の就職支援セミナーの開催 求職者を対象に福祉の仕事に対する理解促進と就職活動の支援を目的としたセミナーの開催 会場：静岡県総合社会福祉会館 10月19日(金) 10:20～12:00 「安心して暮らせる社会を目指して ～NHKアナウンサーから福祉の職場へ～」 講師：国立成育医療研究センターもみじの家 ハウスマネージャー 内多 勝康 氏 参加者：67人</p> <p>(5) 福祉の就職・進学フェアの開催 福祉職場への就労希望者のための就職フェアと、福祉系学科等への進学希望者を対象とした進学フェアの同時開催</p> <p>ア 第Ⅰ期 「平成30年度福祉の就職&進学フェア」開催(参加者数)</p> <p>① 西部 アクトシティ浜松(6/17 27人)</p> <p>② 中部 グランシップ(6/24 65人)</p> <p>③ 東部 プラサ ヴェルデ(6/30 52人)</p> <p>イ 第Ⅱ期 「平成30年度福祉の就職&進学フェア ～ふくしの就活カフェ～」</p> <p>① 東部 プラサ ヴェルデ(10/4 27人)</p> <p>② 西部 掛川グランドホテル(10/17 15人)</p> <p>③ 中部 グランシップ(10/24 47人)</p> <p>ウ 第Ⅲ期 「福祉の就職&進学フェア in 静岡2019」</p> <p>① 西部 アクトシティ浜松(2/24 49人)</p> <p>② 中部 グランシップ(3/2 78人)</p> <p>③ 東部 プラサ ヴェルデ(3/16 64人)</p> <p>(6) 就職フェア事前研修会の開催 就職フェアにおける効果的なブース運営の方法やその準備について学ぶ研修会の開催</p>	<p>につなげた。</p> <p>継 続</p>  <p>福祉の就職支援セミナー 講師 内多 勝康 氏</p> <p>〃</p>  <p>第Ⅲ期就職・進学フェア 事業所による1分間PRの様子</p> <p>継 続</p> <p>事前研修会に参加した事業所においては、1分間プレゼンテ</p>
---	---

<p>日 時：5月11日（金）10:00～16:00 会 場：グランシップ 6階 交流ホール 参加者：130人 説 明：「福祉のお仕事」事業所マイページの使い方 講 義：「福祉業界一丸となって採用力をUPする」 講 師：らしさ研究所代表 門野 友彦 氏</p>		<p>ーションの中で「らしさ」を伝える工夫がみられ、研修の成果が表れていた。</p>
<p>(7) 福祉・介護人材確保実践セミナーの開催 人材確保に向けた経営者の意識改革を目的としたセミナーの開催</p> <p>日 時：平成30年12月10日（月）13:00～16:30 会 場：グランシップ 10階 1001-2会議 参加者：66人</p> <p>第1部 講演会 「組織・業界を挙げて取り組む人材確保・育成戦略 ～藤花会における実際をとおして～」 講 師 社会福祉法人藤花会（岡山県） 特別養護老人ホームせとうち 業務執行理事兼施設長 大城 憲一郎 氏</p> <p>第2部 対談 「経営・管理者として福祉人材確保・育成を考える ～求められる職場・業界の魅力づくりとは～」 対談者 大城 憲一郎 氏 （社会福祉法人藤花会 業務執行理事兼施設長） 門野 友彦 氏（らしさ研究所 代表）</p> <p>第3部 総括講演 「経営者に求められる採用活動、人材育成の視点」 講 師 らしさ研究所 代表 門野 友彦 氏</p>	<p>//</p> <p>法人や事業所の代表者を対象とした人材確保・育成についての講演会や対談を通じ、「職員が生き生きと輝くための手段を考え、実行に移したい」「職員と施設長の距離が良い意味で近く、スタッフのモチベーションが違ふと感じた」などの声が聞かれ、経営者の意識改革に寄与した。</p>	
<p>(8) 福祉のお仕事魅力発見セミナーの開催 （4月～3月 県内小学校・中学校・高等学校） 県内の学校を訪問し、福祉・介護の仕事について興味・関心、理解を深める出前講座を実施した。</p>	<p>//</p>	<p>年間実施目標回数150回を上回る166回を実施し、将来を担う世代の福祉・介護への参入促進を図った。</p> <p>・アンケート結果 （小学生） セミナー受講後、福祉の仕事に興味を持った。…85% （中・高生） 福祉の仕事は、「やりがいがありそう」「楽しそう」と回答</p>

実施状況

種別	種別	申込数		実施数	
		校数	回数	校数	回数
小学校	公立	43	65	43	65
	私立	0	0	0	0
	計	43	65	43	65
中学校	公立	37	67	37	67
	私立	4	9	4	9
	計	41	76	41	76
高等学校	公立	10	20	10	20
	私立	4	5	4	5
	計	14	25	14	25
合計		98	166	98	166

(9) 福祉のしごと学び体験ツアーの開催

中・高生等を対象に介護分野を含む福祉現場の見学や体験のツアーを実施した。

<実績>

地区	日程	法人名	参加人数
東部	7月31日(火)	(福)誠信会	35人
中部	7月24日(火)	(福)東益津福祉会 医療法人志太会	40人
西部	7月23日(月)	(福)天童厚生会	39人
計			114人

(10) 保護者向け啓発資料の作成、配付

小学生・中学生・高校生の保護者に福祉の仕事に対する正しい情報を提供し、イメージアップを図った。

「学生・保護者に伝えたい ふくしの仕事」と題して10,000部作成し、福祉のお仕事魅力発見セミナーを行った小中高校の児童・生徒を通じて保護者に配布するとともに、イベント等で配布し啓発を図った。

(11) 福祉人材マッチング機能強化事業の実施

ア キャリア支援専門員の設置 5人

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

- ① ハローワークへの出張相談126回、施設・事業所訪問232か所、求職者・求人者への個別支援等を実施(3月末現在)
- ② 大学等での福祉の仕事ガイダンスの実施
大学3回(2校)、短大1回(1校)、専門学校1回(1校)
- ③ 介護職員養成機関でのガイダンスの実施

継 続

した生徒がセミナー前後で大幅に増加した。

中学生…45⇒56%

高校生…40⇒50%

申込者多数のため、今年度から先着順から抽選とした。高齢・障がい・就労支援施設・認定こども園等、様々な福祉分野への見聞を広め、福祉への関心を一層深める機会となった。

//



//

キャリア支援専門員による各種マッチング機能強化事業により、計268人の採用につながった。

<p>介護職員初任者研修実施機関 2回 介護職員実務者研修実施機関 1回</p> <p>④ 組織へのガイダンス 静岡労働局 12回</p> <p>⑤ その他求職者向けガイダンス 福祉の業界・企業研究セミナー 3回 日建学院（介護補助、介護事務講習） 4回</p> <p>イ アドバイザーの設置 （公認会計士、社会保険労務士に委嘱） 人事管理や労務管理及び経理事務等に関する専門的な相談会（電話・面接）を実施した。 <相談件数>（30年度実績）（単位：件）</p> <table border="1" data-bbox="284 719 1002 931"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>東部</th> <th>中部</th> <th>西部</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公認会計士</td> <td>事業所</td> <td>－(38)</td> <td>145(74)</td> <td>－(33)</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">社会保険 労務士(3名)</td> <td>事業所</td> <td>10(16)</td> <td>66(60)</td> <td>8(8)</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>従事者</td> <td>3(6)</td> <td>9(6)</td> <td>1(1)</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>13(60)</td> <td>220(140)</td> <td>9(42)</td> <td>242</td> </tr> </tbody> </table> <p>・公認会計士相談 月1回（中部地区のみ） ・社会保険労務士相談 東部・西部隔月1回、中部月1回 ・相談件数は、相談会場別件数、（事業所所在地別件数）の順で記載。</p> <p>ウ 中山間地域での情報発信 県内の中山間地域の各市町社協等の協力を得て、福祉まつり（ふれあい広場）会場内で人材センターのPRと就職相談を実施した。 ・福祉まつり会場、ショッピングセンター全6か所に参加</p> <p>エ ミニ就職相談会の開催 求人確保の要望に対応するため、毎月1回、本所・東部支所において開催。（30年度実績）</p> <table border="1" data-bbox="264 1514 968 1700"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>開催回数</th> <th>参加法人</th> <th>求職者数</th> <th>延相談数</th> <th>採用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中部</td> <td>12回</td> <td>144法人</td> <td>253人</td> <td>358件</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>東部</td> <td>11回</td> <td>100法人</td> <td>290人</td> <td>254件</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23回</td> <td>244法人</td> <td>543人</td> <td>612件</td> <td>58人</td> </tr> </tbody> </table> <p>オ 採用担当者研修会の開催 採用担当者の中には、異動により突然担当者となる方も少なくないことから、採用活動のノウハウなどを先進的な事業所から学ぶ機会を提供した。 テーマ：「藤花会における「らしさ」を活かした採用活動の視点と方法」 講師：社会福祉法人藤花会（岡山県）</p>	区分		東部	中部	西部	計	公認会計士	事業所	－(38)	145(74)	－(33)	145	社会保険 労務士(3名)	事業所	10(16)	66(60)	8(8)	84	従事者	3(6)	9(6)	1(1)	13	計		13(60)	220(140)	9(42)	242	場所	開催回数	参加法人	求職者数	延相談数	採用人数	中部	12回	144法人	253人	358件	31人	東部	11回	100法人	290人	254件	27人	計	23回	244法人	543人	612件	58人	<p>継 続</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>	<p>今年度は、働き方改革に伴う契約変更等の相談や問題職員への対応についての相談が多かった。</p> <p>就職相談会や就職フェアを開催していない地域に出向き、2,648名の方に人材センターのPRを行うことができた。</p> <p>新卒採用を軸とした採用・定着に関する先進的な取組事例を紹介した。参加者アンケートでは「改めて職員全員で採用活動に取り組まなければならない」「若い職員の方</p>
区分		東部	中部	西部	計																																																		
公認会計士	事業所	－(38)	145(74)	－(33)	145																																																		
社会保険 労務士(3名)	事業所	10(16)	66(60)	8(8)	84																																																		
	従事者	3(6)	9(6)	1(1)	13																																																		
計		13(60)	220(140)	9(42)	242																																																		
場所	開催回数	参加法人	求職者数	延相談数	採用人数																																																		
中部	12回	144法人	253人	358件	31人																																																		
東部	11回	100法人	290人	254件	27人																																																		
計	23回	244法人	543人	612件	58人																																																		

特別養護老人ホームせとうち
法人業務執行理事兼施設長
大城 憲一郎 氏

場所	期日	時間	会場	参加人数
西部	9/3	10:30	アクトシティ浜松 研修交流センター	28人
中部	9/4	～ 16:00	シズウエル	26人
東部	9/5		プラサ ヴェルデ	27人
合計				81人

カ マッチング力育成事業(福祉の職場見学ツアー)の実施

福祉の仕事に就職を希望する方や興味のある方を対象に、県内事業所等の協力のもと、複数の施設を見学する場を提供し、自身に合った就業先を検討する機会とすることを目的に少人数による見学ツアーを実施した。

実施回数	見学事業所数	参加者数	採用者数
10回	31事業所	44人	9人

(12) 福祉の職場体験事業の実施

福祉・介護の職場に就職を希望・検討する求職者や福祉系学校に進学希望・関心のある中学生以上の学生を対象にした職場体験(4月～2月末、県内の介護施設等で実施)

(30年度実績)

地区	東部	中部	西部	合計
延受入施設(箇所)	140	168	90	398
体験人数(実人数)	125	119	85	329
延体験日数(日)	302	409	251	962

(13) 保育士・保育所支援センターの運営

ア 就職支援コーディネーターの配置

- ① 事業所の保育士募集、求人に関する相談対応
- ② 潜在保育士の就労に関する相談対応
- ③ 求職者のニーズに合った就職先の紹介、斡旋
- ④ 保育士資格の取得等に関する相談対応

(3月末現在)

新規求人登録数	新規求職登録数	就職者数
738件	1,187人	111人

新規

を信じ、活気ある職場づくりを行わなければならない」など、前向きな回答が多く聞かれた。

少人数による施設見学ツアーを行うことで、就労に関する相談等もしやすく、きめ細かな就労支援につなげることができた。

継続

ハローワーク相談会やミニ就職相談会の際に、積極的に職場体験の周知を行ったことにより、体験日数が962日となり、前年度844日より118日増加した。

〃

保育士確保が難しくなっている中、111人の就職者を結びつけた。

イ 保育就職説明会の開催（年4回）

地区	会場	開催日	参加人数
中部第1回	グランシップ	9/9（日）	54人
中部第2回	グランシップ	1/12（土）	33人
東 部	プラサヴェルデ	1/19（土）	19人
西 部	浜松こども館	1/26（土）	29人
合 計			135人

ウ 出張相談会の開催（年9回）

就職支援コーディネーターが、ハローワークに赴き、相談会を開催し、保育現場の求人情報の提供や保育士資格取得のためのアドバイス等を行った。

また、保育所の先生等による講話（ミニセミナー）の時間を設け、保育の仕事に興味をもっていただくことで、保育人材の確保に結びつけた。

回数	地区	会場	開催日	相談件数	ミニセミナー講師
1	静岡市	HW 静岡①	5/14（月）	10件	静岡隣人会保育園園長
2	東部	HW 富士宮	9/7（金）	7件	野中こども園事務長
3	静岡市	HW 清水	10/19（金）	1件	Montessori ちやい るどはうす代表
4	中部	HW 掛川	11/5（月）	2件	桜木こどもの森 園長
5	中部	HW 焼津	12/3（月）	1件	なかよし保育園 園長
6	西部	HW 磐田	1/24（木）	5件	磐田市幼稚園・保 育園課幼児教育専 門官
7	西部	HW 浜松	2/2（土）	3件	ひくまこども園 園長
8	静岡市	HW 静岡②	2/4（月）	4件	城北保育園園長
9	東部	HW 沼津	2/7（木）	4件	白道保育園園長

※HW：ハローワーク

エ 保育所職場体験事業

（平成30年5月～平成31年2月）

対象：保育士資格または幼稚園教諭有資格者

保育士・幼稚園教諭免許資格取得見込者

体験先：県内保育所及び静岡市内公立こども園等



就職説明会「保育のお仕事フェア」（1/12）グランシップ

参加者の内、26人が就職に結びついた。



ミニセミナー（11/5）ハローワーク掛川

(3月末現在)

地 区	東部	中部	西部	合計
延受入施設(箇所)	19	30	23	72
体験人数(実人数)	11	18	14	43
延体験日数(日)	28	47	25	100

オ 潜在保育士職場復帰支援研修(年4回)

地 区	会 場	開催日	参加人数
中部第1回	グランシップ	9/9(日)	48人
中部第2回	グランシップ	1/12(土)	27人
東 部	プラサヴェルデ	1/19(土)	14人
西 部	浜松こども館	1/26(土)	22人
合 計			111人

地 区	講師・講義内容
中 部 第1回	講師：学校法人袋山学園 しらこぼと幼稚園 理事 長・園長 菊地 政隆 氏 内容：「やっぱり保育の仕事がしたい！保育のや りがいとすぐに活かせる手遊び・歌遊び」
中 部 第2回	講師：Umehana Relations 代表 松原 美里 氏 内容：笑顔で働ける職場を見つけよう！ ～先生も子どももみんな笑顔で～
東 部	講師：Umehana Relations 代表 松原 美里 氏 内容：子どもの育ちを支える保育コミュニケーション ～気づける、動ける保育士をめざして～
西 部	講師：スマイリーアイ代表 上野 里江 氏 内容：子どもを真ん中に保育をしよう！ ～先輩職員とのいい関係づくり～

カ 保育所見学バスツアーの実施

保育士として働きたい方を対象に、実際の保育現場を見学し、保育士等との交流などを行うことで働く意欲を高め、早期再就職を支援した。

地区	開催日	見 学 園	参加者
西部 浜松市	11/7 (水)	(福) 松寿会ひくま子育て支援の家 小規模保育事業ととけっこー (福) 松寿会ひくまこども園 浜松市立可美保育園	5人
東部 富士市	11/12 (月)	(福) 富士育英福祉会 小規模保育施設ドゥーラの森	7人



潜在保育士職場復帰支援研修 (1/12)松原氏

受講者からは「復職に役立つ内容でよかった」「この講座を受け、現場で活かしたい」など、現場復帰への熱心な声が聞かれた。

新 規



見学ツアー (11/7)
可美保育園(浜松市)

		(福) 富士育英福祉会すみれ認定こども園 富士市立なかじま保育園	
中部 静岡市	11/22 (木)	(福) あゆみ福祉会 小規模保育所竜南乳児園 (福) あゆみ福祉会竜南こども園 静岡市立長沼こども園	5人

キ 保育士・保育所支援センターホームページ及び離職保育士届出制度の運用

静岡県・静岡市 保育士・保育所支援センターホームページ (平成 29 年 3 月開設)	http://shizuoka-hoiku.jp (平成 30 年 11 月リニューアル)
離職保育士届出数	70 件 (平成 31 年 3 月末現在)

(14) 静岡県福祉職合同入職式の開催

ア 合同入職式

県内福祉施設に次年度 4 月採用の新規入職者を対象にした合同入職式の開催

地区	会 場	開催日	参加者数
東部	ホテル沼津キャッスル	3/5(火)	41 人
中部	グランディエールブケトーカイ	3/8(金)	64 人
西部	ホテルクラウンパレス浜松	3/11(月)	20 人

イ フォローアップセミナー

開催日:11 月 21 日(火) 会場:グランシップ

参加者数:76 人

合同入職式参加者を対象としたセミナーと交流会の開催

(15) 介護職員復職支援事業

(県介護保険課委託事業 平成 30 年 5 月 30 日～平成 31 年 3 月 15 日)

結婚、出産等で離職した介護経験者の掘り起こしを行い、復職希望者に対して復職前研修や職場体験を行うことで復職を支援し、介護人材の確保を図った。

ア 介護職経験者の掘り起こしのための広報

ポスター等掲出による制度周知を図った。

- ・ポスター (A2 4,100 枚) 及びチラシ (事業周知用 A4 42,000 枚、職場体験用 A4 42,000 枚、その他セミナー用) 等を作成・配布し、県内の介護保険事業所等に送付。
- ・介護の資格届出制度リーフレットの作成し、県介護福祉士会会員等に配布 5,000 枚
- ・CM 放送 (平成 30 年 7 月 20 日(金)～8 月 31 日(金))

継 続



合同入職式の様子

(平成 31 年 3 月 11 日
ホテルクラウンパレス
浜松)

〃

- ・リビング静岡への広告掲載（平成30年9月29日号）142,635部
- ・静岡新聞「介護の日特集」への広告掲載（平成30年11月3日発行）269,800部
- ・メディサポ静岡への広告掲載9月号・12月号 各40,000部
- ・「WOMO」2月号への広告掲載 85,000部
- ・「しごと情報アイデム(浜松地区)」への広告掲載(平成30年11月18日号、平成31年1月12日号)新聞折込各100,000部
- ・WEB広告（8月1日（木）～1月31日（木））

イ 新福祉人材情報システムへの登録促進の実施
 中央福祉人材センターの新クールシステム(全国共通)により届出のあった介護離職者の情報を管理し、情報提供等を実施した。(H31.3末有効届出数172人)
 その内、介護職経験者復職支援事業支援対象者の届出システムへの登録人数 15人

- ウ 復職前研修
 「介護のシゴト復職応援セミナー」の実施(30回)
 延べ参加者数 555人(内支援対象者数 81人)
- ・中部(11回)
 - 6/15(金)、6/24(日)、7/24(火)、8/24(金)、9/21(金)、10/24(水)、11/27(火)、12/18(火)、1/18(金)、2/19(火)、3/2(土)
 - ・東部(11回)
 - 6/20(水)、6/30(土)、7/18(水)、8/22(水)、9/19(水)、10/4(木)、10/17(水)、11/14(水)、12/19(水)、1/16(水)、2/20(水)
 - ・西部(8回)
 - 6/17(日)、10/17(水)、12/4(火)、12/4(火)、1/23(水)、1/23(水)、2/23(土)、2/24(日)

エ 介護事業所での職場実習体験の実施
 (体験者)1人 (事業所数)2施設 (延日数)6日間

オ 復職希望者の希望に沿った事業との個別マッチングの実施と復職後のサポート
 支援者数 173人
 採用数 74人

- (16) 介護福祉士修学資金等貸付事業
 ① 介護福祉士修学資金貸付事業 92人、71,490千円



介護職員復職支援事業
 ポスター・チラシ



介護のシゴト復職応援セミナー(12/4)特別養護老人ホーム南風

昨年度に比べ、セミナーの参加者数や採用数が増加した。採用数については、昨年度より23人多い74人となった。

<p>② 介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業 40人、6,779千円</p> <p>③ 離職介護人材の再就職準備金貸付事業 20人、10,000千円</p> <p>(17) 保育士修学資金等貸付事業</p> <p>① 保育士修学資金貸付事業 293人、210,632千円</p> <p>② 保育補助者雇上費貸付事業 6人、13,398千円</p> <p>③ 未就学児をもつ潜在保育士に対する保育所復帰支援事業 63人、9,073千円</p> <p>④ 潜在保育士の再就職支援事業 54人、21,600千円</p> <p>⑤ 未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付 4人、150千円</p>		<p>人材センターとの連携により介護人材の確保を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育人材の確保 ・ 保育士の雇用管理・労働環境の改善 ・ 潜在保育士の職場復帰促進を図った。
---	--	---

2 インターンシップ制度の実施

学生が自分の適性や適職を考える機会を提供するため、インターンシップの受入を行った。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>インターンシップの実施</p> <p>静岡大学1名</p> <p>Aコース 本会業務体験型(8月～通年)</p> <p>テーマ:生活困窮者自立支援</p> <p>常葉大学1名</p> <p>Aコース 本会業務体験型(8月～通年)</p> <p>テーマ:福祉人材参入促進事業</p> <p>Bコース 福祉施設体験型</p> <p>「福祉の職場体験」と前後のフォローアップ</p>	継続	<p>学生に成長の機会を提供するとともに、県社協及び福祉業界のPRを図ることができた。</p>

推進事項2 人材の育成と職場への定着のため、働きやすい職場環境をつくります

1 各種研修の実施

高い志を持って福祉・介護職場に就職しても、職場内の人材育成システムが十分でないことや、将来展望ができないことから離職する例が生じています。

そこで、福祉・介護職員を対象とした外部研修実施機関として階層別・テーマ別の研修会を開催するとともに、人材育成の基本である職場内研修を支援した。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 福祉・介護職員等を対象とした研修会の開催研修体系に基づき開催する64本(4,934人受講)の研修を実施した。</p> <p>(一覧は103～120頁に記載)</p>	継続	<p>福祉・介護職員に必要なとされる組織力・専門技術力・人間力の習得を通じてサービスの質向上や職員の職場定着に寄与</p>
<p>(2) 施設・事業所が行う職場内研修の支援</p> <p>事業所のニーズに応じた講師を紹介した。</p>	〃	<p>職場内研修の更なる充実</p>
<p>(3) 研修受講申込みのWEBサービス利用促進</p> <p>本会ホームページ上から研修受講申込みができ</p>	継続	<p>事業所及び本会の経費削減及び事務の効率化</p>

<p>るサービスを会員に提供した。</p> <p>(4) 積極的な研修広報の展開</p> <p>ア 行政の集団指導での研修計画の配布</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政の介護保険事業所の集団指導において研修案内を配布した。(9/3, 5, 11) <p>イ 新規事業所への研修計画の周知等</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度に新規指定のあった介護保険事業所に研修計画を送付した。(4/6、3/27) <p>(5) 県ホームヘルパー連絡協議会の事務受託</p> <p>全体研修会（1回開催）、地区別研修会（東部地区・西部地区各1回開催）、一般研修会及びサービス提供責任者研修会の開催（計8回開催）、全体会議（研修会）（1回開催）</p>	<p>〃</p> <p>継 続</p>	<p>受講者の確保</p> <p>訪問介護職員の資質向上を図り、質の高い福祉サービスの安定供給に資することができた。</p>
--	---------------------	--



県ホームヘルパー連絡協議会 第1回一般研修会
「訪問介護における緊急時の対応を習得する」
(平成30年9月12日) 静岡労政会館

2 社会福祉事業等における福利厚生への推進

「社会福祉法人福利厚生センター」の事務を受託し、福祉従事者の福利厚生の充実と「魅力ある職場」作りに寄与した。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(福) 福利厚生センター静岡県事務局の受託</p> <p>ア 業務推進委員会の開催</p> <p>イ 会員交流事業の実施(47事業)</p> <p>ウ 地域開発メニューの実施</p>	<p>継 続</p>	<p>会員数について、4,895人(平成29年10月1日現在)から4,946人(平成30年10月1日現在)に増加し、施設職員の職務に対する意欲向上、会員同士の交流、定着率の向上につながった。</p>


基本目標2 地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標1 住民主体による地域福祉活動・生活支援を推進します

推進事項1 小地域福祉活動の推進や基盤整備を市町社協と協働して取り組みます

1 生活支援サービス活性化事業

高齢になっても、障がいがあっても、互いに支え合い、安心して身近な地域で暮らし続けるため、住民同士の支え合い活動や生活支援サービスの立上げ支援を行い、住民主体の生活支援サービスの活性化を図った。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 地域包括ケアシンポジウム（再掲） （静岡県、さわやか静岡と三者共催） 10/29 グランシップ 参加者 820 名</p> <p>① 静岡県の地域包括ケアに関する概況説明 静岡県健康福祉部理事／県社協事務局長 高橋邦典</p> <p>② 基調講演 「最期まで地域で暮らすために」 堀田 力氏(公益財団法人さわやか福祉財団会長)</p> <p>③ 対 談「地域におけるケアのあり方」 コーディネーター:大熊 由紀子 氏(国際医療福祉大学 大学院教授)</p> <p>対 談 者: 樋口 恵子 氏 (NPO 法人高齢社会をよくする女性の会理事長) 上野 千鶴子 氏 (認定 NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク理事長) 堀田 力 氏 (公益財団法人さわやか福祉財団会長)</p>	継続	<p>支え合い活動の必要性について、住民意識の向上に寄与している。</p> <p>住民主体の支え合い活動の活性化に寄与している。(支え合い活動に取り組むグループの増加)</p>
<p>(2) 住民参加型生活支援サービス立ち上げ講座 (赤い羽根共同募金助成事業)</p> <p>① 御殿場市における取組 「あったかサポート サポーター養成講座」 11/14、11/21 参加者：各回 約 50 名</p> <p>② 三島市(平田・新谷・玉川地区)における取組 「いつまでも「平田・新谷・玉川地区」で 安心して暮らしていくための勉強会」 2/2、3/9 参加者：各回 約 20 人</p>	継続	 <p>「地域包括ケアシンポジウム」</p>

- ③ 菊川市における取組
 - 「地域福祉活動における新たな財源確保を
考える勉強会」 2/18 参加者：20人
 - 「菊川市担い手(ヘルプマン)養成講座
(高校生・大学生編)」 3/21 参加者：15人
- ④ 湖西市における取組
 - 「湖西市地域支え合い講座」
10/20、11/4、11/25 参加者：各回 約30人
- (3) 生活支援コーディネーター養成研修の開催
 - ※県受託事業
 - ・改正介護保険制度に係る市町が配置する
生活支援コーディネーターを養成
(役割：生活支援の担い手の養成、サービスの開発、
関係者のネットワーク化)
 - 【中西部】8/8～9 レイアップ御幸ビル 6-D
参加者 33人
 - 【東 部】9/18～19 プラサヴェルデ 4071 会議室
参加者 27人
- (4) 生活支援コーディネーターのための助け合い活動
見学ツアー ※県委託事業
 - ・助け合い活動の現場体験を通じ、地域に応じたサー
ビス創出を支援する
 - 【中 部】11/7 静岡市・藤枝市 参加者 18人
 - 【西 部】12/7 磐田市・浜松市 参加者 19人
 - 【東 部】12/12 三島市・函南町・裾野市 参加者 25人
 - 【賀 茂】1/10 下田市・松崎町・西伊豆町 参加者 20人



「湖西市地域支え合い講座」

継続

新規



助け合い活動見学ツアー(東部)
居場所「たまり場さくら」(函南町)

2 居場所づくり推進事業

多様な居場所づくりの取り組みを支援するとともに、実践者のネットワーク構築を図った。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 「子どもの居場所づくりセミナー開催」(県委託事業) 東部：平成30年7月30日(月)参加者57人 中部：平成30年7月12日(木)参加者55人 西部：平成30年7月11日(水)参加者57人	継続	先駆的な取組や実践状況を実践者間で共有できた。

3 みんなで支える地域福祉促進事業

市町社協から提案のあった事業を支援するとともに、小地域福祉活動を推進する担い手づくりの研修を実施した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 小地域リーダー指導者養成事業【再掲】 小地域福祉活動リーダー養成プログラム作成委員会【再掲】 【みんなで支える地域福祉促進事業】	継続	地域特性に応じた小地域福祉活動の活性化につながっている。
(2) 担い手づくり研修事業【再掲】 【みんなで支える地域福祉促進事業】 ア コミュニティソーシャルワーカー養成研修 イ コミュニティソーシャルワーカー養成研修受講者継続研修 ウ コミュニティワーカー養成研修(①地域アセスメント編、②社会福祉法改正を踏まえた市町地域福祉(活動)計画の策定方法編) (一覧は92頁に記載)	継続	先進的な事例収集及びノウハウの蓄積につながっている。

4 ふじのくに型福祉サービス推進事業

年齢や障がいの有無にかかわらず、また制度や窓口の垣根を超えて誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるような「ふじのくに型福祉サービス」(居場所、共生型福祉施設、ワンストップ相談)を推進した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) ふじのくに型実践者派遣事業の実施 実践者派遣24件	継続	ふじのくに型福祉サービスの普及、啓発により、
(2) 草の根セミナー(マッチング)事業の実施 草の根セミナー(3/15)	〃	新たな地域活動の創出及び活性化につながっている。

5 公営集合団地における支え合い推進事業

集合住宅団地において、居場所づくりを通じたつながりづくりや孤立する住民

の見守り、困りごとへの相談など、住民相互の支え合い活動について、住民意識の向上と仕組みづくりを図った。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 公営集合団地における住民相互の支え合い活動推進事業の実施 ①田尻団地における外国籍住民のアンケート実施 (ポルトガル語 配布：37世帯 回収：4世帯) (タガログ語 配布：34世帯 回収：5世帯) ②和田地区住民アンケート報告 和田地区民生委員児童委員協議会 4/12 和田地区地域づくり推進委員会 5/11	継続	<ul style="list-style-type: none"> 支え合い活動の必要性について、住民意識の向上 住民主体の支え合い活動の活性化 多様な事業所間の連携

6 学生の地域活動応援事業

学生が地域住民とともに、地域の課題解決や地域づくりに取り組むことを通じて、若者の地域に対する理解促進や地域で不足する若い人材力の活用を図り、地域活動の活性化を進めた。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 学生が参画した地域福祉活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 静岡大学地域創造学環フィールドワーク報告会への参加(5/31) 静岡大学地域創造学環「地域づくりの課題Ⅰ」講師派遣(7/3) 吉川団地における地域活動への参加(健康体操、花の会)(6/18、7/9、7/20) コミュニティワーク研修会～地域アセスメント編in吉川団地～の開催(9/28) 	新規	<ul style="list-style-type: none"> 学生が持つ知識や情報等の活用 若い世代の地域意識の向上 地域で不足する若い人材の活用

推進事項2 地域における災害時要援護者の支援体制づくりを関係機関・団体と連携・協働して取り組みます

県民の最大の関心事である「防災・防犯」をキーワードに、地域における「声掛け・見守り活動」を通じて、地域のつながりを再構築するとともに、福祉専門職による災害派遣福祉チームを避難所等に派遣することで、災害時における要配慮者の支援を実施した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 災害時要援護者支援に係る実践事例の収集・提供	継続	災害時における支援活動の円滑化につながっている。
(2) 災害時における「生活福祉資金の貸付けの特例措置に関する協定」実施要領に基づく連絡会開催【再掲】	〃	
(3) 静岡 DCAT 登録員養成研修の開催【再掲】	〃	

実施目標2 支援を必要とする住民の地域生活を支えます

推進事項1 生活困窮者の理解促進と自立支援の仕組みづくりへの支援

1 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施するとともに、地域における自立・就労支援等体制を構築することにより、生活困窮者の自立を支援した。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム 県社協、NPO 及び 12 町社協の 14 法人によるコンソーシアム方式での郡部の生活困窮者自立支援事業を受託</p> <div data-bbox="406 728 941 1041" data-label="Diagram"> </div> <p>①【支援実績（12 町合計）】</p> <p>ア. 自立相談支援事業 相談受付件数（新規）：206 件 プラン作成件数（新規）：64 件 一般就労件数（実就労者数）：20 人 支援調整会議開催回数：31 回</p> <p>イ. 家計再建支援事業 相談受付件数（新規）：59 件 プラン作成件数（新規）：11 件</p> <p>②コンソーシアム運営委員会・地区別ブロック会議</p> <p>ア. コンソーシアム運営委員会(2/27) ・参加者：構成団体長 13 名 ・内容：31 年度事業展開の方針の確認等</p> <p>イ. 構成団体における全体会議(10/9) ・参加者：構成団体担当者 17 名 ・内容：各町の支援状況の共有等</p> <p>ウ. 地区別(賀茂、東部、中部) ブロック会議 ・開催日：賀茂(4/23, 12/10) 東部(4/25, 12/7) 中部(4/25, 12/11) ・参加者：構成団体担当者 17 名 ・内容：支援検討、家計再建支援の実施方法等</p>	<p>継続</p>	<p>「生活困窮・社会的孤立防止」への対応を、身近な地域で実践できる地域基盤づくりに寄与した。</p> <div data-bbox="912 1559 1370 1839" data-label="Image"> </div>

<p>(2) 事業推進のための連絡会</p> <p>① 静岡県主任相談支援員養成研修修了者連絡会の開催 (6/4, 8/28, 12/18)</p> <ul style="list-style-type: none"> 趣 旨：国研修修了者が果たすべき役割、取り組むべき事項を協議 参加者：7市の自立相談支援機関主任相談支援員 内 容：スーパービジョンや人材育成の検討、社会資源開発の検討、伝達研修の企画検討、その他、生活困窮者自立支援の取組に必要な事項 <p>② 健康福祉センターとの連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：賀茂(6/26) 東部(6/25) 中部(6/21) 参加者：中部・東部・賀茂健康福祉センター、各町社会福祉協議会(担当者) 内 容：家計再建支援事業(被保護世帯)について 	”	
<p>(3) 生活困窮者自立支援事業業務従事者研修会の開催</p> <p>① 基礎編(7/17)</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマ：「生活困窮者自立支援事業における相談援助技術」他 講 師：静岡福祉大学教授 渡邊英勝氏、他 対 象：業務従事経験年数2年未満 参加者：38名 <p>② 事例検討・情報共有編(10/29)</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマ：「情報交換・支援方法の検討」他 講 師：主任相談支援員7名 他 対 象：業務従事者 参加者：43名 <p>③ 動機づけ編(3/7)</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマ：「心療・精神科医による相談援助技術」 講 師：エムオーエー奥熱海クリニック 院長 佐久間 哲也氏、他 対 象：業務従事者 参加者：41名 		
<p>(4) 生活困窮者自立支援ネットワーク事業の開催</p> <p>① 自立相談支援機関連絡会(12/18)</p> <ul style="list-style-type: none"> 趣 旨：「制度を通じた地域づくり」の協議・検討 講 師：厚生労働省社会・援護局 菊地英人氏、他 対 象：主任相談支援員 内 容：「地域共生社会を実現していくうえでの自立相談支援機関の位置づけ」他 参加者：18名(24市町中18市) <p>② 学習支援実施機関連絡会(3/12)</p> <ul style="list-style-type: none"> 趣 旨：子どもの貧困対策の全体を知り、関係団体との連携・協働を推進していく 講 師：厚生労働省社会・援護局 田口大明氏、他 対 象：学習支援事業実施者 内 容：「多様な団体と連携した取組み」他 参加者：22名(27市町中15市町参加) 		

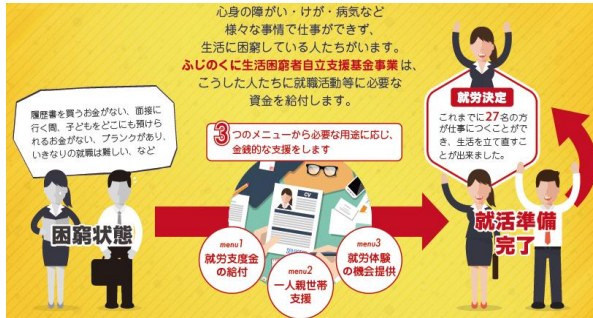
③社会福祉法人との連携

賀茂1市5町の社会福祉法人との連携に向けた意見交換
(5/31, 10/30, 12/10)

参加者：賀茂地域における社会福祉法人
(20 法人)



(5) 「ふじのくに生活困窮者自立支援基金」事業の実施



【事業内容】

- ①就労支度金給付事業 ②ひとり親世帯支援事業
- ③就労活動応援金付職場体験事業 ④認定就労訓練支援事業

【財源】

寄附金募集についての協働

- 本事業は共同基金の使途選択基金を使い、広く寄附金を集めて事業継続をしていきます。
- 各自立相談支援機関には寄附金募集のための広報に御協力をお願いします。

<寄附金募集イメージ>



静岡県社会福祉法人経営者協議会との連携

- 静岡県社会福祉法人経営者協議会の会員法人から社会貢献事業の一環として一定額をいただき、事業を継続していきます。
- 静岡県社会福祉法人経営者協議会の会員法人のうち、認定就労訓練事業を実施している法人は、自立相談支援機関と連携した上で、直接的に本基金に申請できます。



【実績】

- ①就労支度金給付事業 47 件、915,640 円
- ②ひとり親世帯支援事業 3 件、60,000 円
- ③就労活動応援金付職場体験事業 7 件、139,500 円
- ④認定就労訓練支援事業 2 件、40,000 円
- 合計 59 件、1,155,140 円

//

2 生活福祉資金貸付事業

生活困窮者自立支援施策の一つである生活福祉資金貸付事業を、市町社協をはじめ、民生委員・児童委員及び行政等関係機関と連携して推進した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 生活福祉資金貸付事業の実施 ア 総合支援資金 (生活支援費、住宅入居費、一時生活再建費) イ 福祉資金(福祉費、緊急小口資金) ウ 教育支援資金(教育支援費、就学支度費) エ 不動産担保型生活資金 (不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金)	継続	低所得世帯等の経済的自立及び生活意欲の助長促進、在宅福祉及び社会参加に寄与した。

事業の実績	区分	効果・評価
(2) 臨時特例つなぎ資金貸付事業の実施 (住居を失った離職者が公的給付又は公的貸付の交付を受けるまでの生活費の貸付)	継続	住居のない離職者等の一時的な生計を維持し、自立支援に寄与した。

事業の実績	区分	効果・評価
(3) 生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催 (10/3) (4) 市町社協新任担当職員研修会の開催 (5/17) (5) 生活福祉資金の実務的課題に関する検討(全社協「これからの生活福祉資金貸付事業のあり方に関する検討」への意見提出) (6) 市町社協担当職員研修会(会議)の開催 (3/11) (7) 利用促進のための広報の実施 (8) 債権管理・償還相談の実施 ア 滞納者に対する督促状の送付(9月、2月) イ 滞納者への訪問調査の実施 (11月～445世帯訪問) ウ 所在不明者の調査(住民票調査)の実施(772件) エ 滞納債権整理推進等事業 ・滞納者への償還・生活相談の実施(149世帯面談、32世帯51債権の償還) ・催告書の送付、民事訴訟・支払督促等の提起(民事訴訟3件、支払督促16件実施) (9) 災害時等の貸付の特例措置に関する協定に基づく協定機関連絡会での連絡調整と実施方法の検討	継続 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	貸付原資の有効活用とともに、事業の円滑化に寄与した。

貸付決定の実績（年度、資金種類別）

(1) 件数

(単位：件)

資金種別	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		
	計	月平均	計	月平均	計	月平均	計	月平均	計	月平均	
総合支援資金	総合支援資金計	37	3	61	5	30	3	17	1	8	1
	(生活支援費)	(26)	(2)	(41)	(0)	(19)	(2)	(11)	1	(7)	1
	(住宅入居費)	(7)	(1)	(9)	(1)	(5)	(0)	(2)	0	(0)	0
	(一時生活再建費)	(4)	(0)	(11)	(1)	(6)	(1)	(4)	0	(1)	0
福祉資金	福祉費	33	3	61	5	41	3	43	4	22	2
	緊急小口資金	336	28	386	32	343	29	210	18	165	14
	(緊急小口資金(特例))	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
教育支援資金	教育支援費	33	3	45	4	66	6	44	4	56	5
	就学支度費	31	3	36	3	47	4	40	3	45	4
不動産担保型生活資金	3	0	5	0	5	0	4	0	0	0	
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	2	0	2	0	3	0	4	0	3	0	
計	475	40	596	50	535	45	362	30	299	25	
臨時特例つなぎ資金	65	5	65	5	57	5	42	4	20	2	

(2) 金額

(単位：千円)

資金種別	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		
	計	月平均	計	月平均	計	月平均	計	月平均	計	月平均	
総合支援資金	総合支援資金計	7,807	1,561	12,581	1,048	5,489	457	5,053	421	1,936	161
	(生活支援費)	(6,673)	1,335	(9,977)	831	(4,225)	352	(3,955)	330	(1,889)	157
	(住宅入居費)	(989)	198	(1,452)	121	(867)	72	(566)	47	(0)	0
	(一時生活再建費)	(145)	29	(1,152)	96	(397)	33	(532)	44	(47)	4
福祉資金	福祉費	13,949	2,790	19,787	1,649	11,940	995	9,949	829	5,284	440
	緊急小口資金	17,960	3,592	23,940	1,995	21,357	1,780	13,399	1,117	10,151	846
	【再掲】緊急小口資金(特例)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
教育支援資金	教育支援費	8,901	1,780	11,905	992	34,849	2,904	23,154	1,930	20,171	1,681
	就学支度費	10,815	2,163	10,090	841	16,965	1,414	12,881	1,073	15,452	1,288
不動産担保型生活資金	47,388	9,478	69,258	5,772	64,661	5,388	87,934	7,328	7,750	646	
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	14,910	2,982	13,818	1,152	21,826	1,819	27,867	2,322	19,572	1,631	
計	121,730	24,346	161,379	13,448	177,087	14,757	180,237	15,020	80,316	6,693	
臨時特例つなぎ資金	1,980	396	1,950	163	1,726	144	1,272	106	564	47	

償還の実績（資金種類別）

平成31年3月末現在（単位：円）

区分		償還計画額	償還額	滞納額	償還率	
		(a)	(b)	(a-b)	(b/a)	
生活福祉資金	計	1,629,619,399	111,200,218	1,518,419,181	6.8%	
	償還期限内	650,013,384	85,069,699	564,943,685	13.1%	
	償還期限後	979,606,015	26,130,519	953,475,496	2.7%	
生活福祉資金特別会計	計	1,629,619,399	111,200,218	1,518,419,181	6.8%	
	償還期限内	650,013,384	85,069,699	564,943,685	13.1%	
	償還期限後	979,606,015	26,130,519	953,475,496	2.7%	
	総合支援資金	計	1,154,872,826	35,574,410	1,119,298,416	3.1%
		償還期限内	515,405,026	26,779,170	488,625,856	5.2%
		償還期限後	639,467,800	8,795,240	630,672,560	1.4%
	福祉資金	計	248,839,406	30,061,094	218,778,312	12.1%
		償還期限内	39,743,210	21,154,748	18,588,462	53.2%
		償還期限後	209,096,196	8,906,346	200,189,850	4.3%
	教育支援資金	計	180,135,406	44,462,854	135,672,552	24.7%
		償還期限内	94,865,148	37,135,781	57,729,367	39.1%
		償還期限後	85,270,258	7,327,073	77,943,185	8.6%
	不動産担保型生活資金	計	0	0	0	0.0%
		償還期限内	0	0	0	0.0%
		償還期限後	0	0	0	0.0%
	(旧) 離職者支援資金	計	45,771,761	1,101,860	44,669,901	2.4%
		償還期限内	0	0	0	0.0%
		償還期限後	45,771,761	1,101,860	44,669,901	2.4%
要保護世帯向け 不動産担保型生活資金	計	0	0	0	0.0%	
	償還期限内	0	0	0	0.0%	
	償還期限後	0	0	0	0.0%	
臨時特例つなぎ資金	計	24,629,735	729,800	23,899,935	3.0%	
	償還期限内	436,480	436,480	0	100.0%	
	償還期限後	24,193,255	293,320	23,899,935	1.2%	

推進事項2 権利擁護体制の構築の推進

1 日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの方々が、地域において自立した生活を安心して送ることができるよう、福祉サービスの利用支援を市町社協と協働して実施した。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 契約締結審査会の開催 毎月1回開催 (4/12、6/7、7/12、9/13、10/11、12/13、2/14) ※5・8・11・1・3月は、審査会に諮る案件無しの為、開催見送り。</p> <p>(2) 新任専門員研修(6/13) 23人 【内容】 ①基調報告「日常生活自立支援事業の概要と実施状況」 報告者：生活支援部権利擁護課 ②講義：事業説明1 「日常生活自立支援事業の業務～相談から契約まで～」 報告者：生活支援部権利擁護課 ③講義：事業説明2 「日常生活自立支援事業の業務～契約締結審査会～」 報告者：生活支援部権利擁護課 ④講義：事業説明3 「日常生活自立支援事業業務支援システムの使い方」 講師：(福)熱海市社会福祉協議会 主任 中村 直哉 氏</p> <p>(3) 日常生活自立支援事業事例検討会 (2/28) 9人 ①講義：「日常生活自立支援事業における利用者の理解と支援の方法」 講師：五味社会福祉士個人事務所 五味 保教 氏 ②事例検討 事例発表者：掛川市社会福祉協議会 藤田専門員 小山町社会福祉協議会 五十井専門員 アドバイザー：ふるい後見事務所 古井 慶治 氏 ：あさか社会福祉士事務所 浅賀 勢津子 氏</p> <p>(4) 市町社協日常生活自立支援事業担当者会議 (8/27) 26人 ①県社協報告「日常生活自立支援事業の現状と今後の課題」 報告者：生活支援部権利擁護課 ②講義「専門員の視点」</p>	<p>継続</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>	<p>判断能力の不十分な方の自立生活と潜在対象者の掘り起こし、権利侵害や財産侵害の未然防止など利用者の権利擁護に寄与した。</p>

<p>講師：山下 浩司 氏 (福) 大村市社会福祉協議会 事務局次長</p> <p>③講義・演習「福祉関係機関との連携」 講師：山下 浩司 氏 (福) 大村市社会福祉協議会 事務局次長</p> <p>④協議、意見交換</p> <p>(5) 新任生活支援員研修会の開催 第1回新任研修 7/19 8人 第2回新任研修 2/20 6人</p> <p>【内容】</p> <p>①説明 「日常生活自立支援事業の概要 利用者の理解と支援の方法」 説明者：生活支援部権利擁護課</p> <p>②報告 「先輩生活支援員の生きた声をきこう」 ～支援のコツとは?～</p> <p>報告者： (第1回) 掛川市社会福祉協議会 専門員 栗田 ますみ 氏 生活支援委員 戸塚 恵子 氏 (第2回) 富士宮市社会福祉協議会 専門員 旭 克貴 氏 生活支援員 兼岡 明美 氏</p> <p>(6) 現任生活支援員研修 <中・西部> (2/5) 50人 <東部> (2/6) 66人</p> <p>①報告：「日常生活自立支援事業の動向等について」 報告者：生活支援部権利擁護課</p> <p>②講義：「日常生活自立支援事業における精神障害をもつ方への生活支援」 講師：山口雅弘 氏 (静岡県精神保健福祉士協会事務局長)</p> <p>(7) 日常生活自立支援事業推進委員会 (委員6人) 第11回 (5/24)</p> <p>①説明：推進委員会の協議事項等について ②協議：市町社協巡回に係る確認項目について 生活支援員研修 (新任・現任) の内容について</p> <p>第12回 (10/12)</p> <p>①協議：市町社協巡回の結果報告 新規契約助成金等の検討 現任生活支援員研修、事例検討会の内容について</p>	<p>継続</p> <p>〃</p>	
---	--------------------	--

<p>第13回（1/25）</p> <p>①説明：委託費積算方法の変更について 新規契約助成金等の廃止について</p> <p>②協議：金銭管理サービスにおけるガイドラインの策定</p> <p>第14回（2/13）</p> <p>①協議：金銭管理サービスにおけるガイドラインの策定 マニュアルの改訂について</p> <p>第15回（3/8）</p> <p>①協議：金銭管理サービスにおけるガイドラインの策定 支援通帳限度額の取扱いについて</p>		
--	--	--

(実利用者数)

(単位:人)

年度 区分	平成30年 3月末	解約 件数	契約 件数	平成31年 3月末	増減
認知症高齢者	179	48	34	161	△18
知的障がい者	207	25	30	214	7
精神障がい者	202	31	33	204	2
その他	156	27	18	149	△7
合計	744	131	116	728	△16

2 成年後見実施機関設置・運営等支援事業【県委託事業】

市町の取組状況に応じて成年後見実施機関の設置・運営等の支援に取り組むとともに、実施機関としての機能や役割を確認するための研修会や会議を開催した。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 成年後見実施機関運営等研修</p> <p>①成年後見制度市町長申立に係る実務研修 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「県内の市町長申立状況等について」 講師：静岡家庭裁判所 服部康治 氏 ・「成年後見制度の概要」 講師：ふるい後見事務所 古井慶治 氏 ・「市町長申立の実務」 講師：成年後見センター・サポート 西川浩之 氏 <p>沼津会場：6/29 プラサヴェルデ 80 人 静岡会場：7/3 静岡音楽館 A01 102 人</p> <p>②地域連携ネットワーク構築及び中核機関設置に向けた市町・市町社協連絡会議（12/21）88 人 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「成年後見制度利用促進に向けた市町における体制構築について」 講師：厚生労働省大臣官房参事官（成年後見制度利用促進等担当）梶野友樹 氏 ・意見交換会 基調説明「静岡県における成年後見制度利用促進の現状と今後に向けた取り組みについて」 グループ協議・全体共有 講師：厚生労働省大臣官房参事官（成年後見制度利用促進等担当）梶野友樹 氏 厚生労働省社会・援護局地域福祉課 成年後見制度利用促進室自治体支援係 福野真美 氏 オブザーバー：静岡家庭裁判所 <p>(2) 成年後見実施機関広域設置研修（6月～1月） 広域設置にむけた関係市町による協議場を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼津市・御殿場市・裾野市・清水町・長泉町・小山町（8/29） ・沼津市・裾野市・清水町・長泉町（10/10、1/23） ・牧之原市・吉田町（6/22、11/15、1/30） 	<p>継 続</p>	<p>市町行政、地域包括支援センター、市町社協職員を対象に、必要性や実務について理解を深めた。</p> <p>成年後見実施機関を設置し、その運営体制や機能の充実化により地域連携ネットワークの中核となる機関への整備の具体的な取り組みについて、講義及びグループワークにより今後の方向性をイメージ化できた。</p> <p>平成 31 年度からは、沼津市・裾野市・清水町・長泉町が 2 市 2 町で、御殿場市・小山町は 1 市 1 町で広域連携による市民後見人養成講座を開始する予定。</p> <p>牧之原市・吉田町は令和 2 年度からの実施をめざし、協議を継続する。</p>

3 成年後見利用促進連携・相談体制整備事業【県委託事業】

市町における、市民後見人等の育成・活用のための体制づくりや、地域連携ネットワーク及び中核機関の構築に向けた相談支援を行うとともに、関係機関の連携を図るため、家庭裁判所の管轄単位ごとに広域的に関係機関が連携する協議会を開催した。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 成年後見実施機関設置・運営等に係る相談事業 事業実施：平成30年8月16日～ 相談対応件数27回 委員会委員として会議出席：10回 市民後見人養成講座講師：6回 市民後見人養成講座面接官：3回 行政・社協向け相談対応・打合せ：4回 社協向け相談対応：4回</p> <p>(2) 静岡県成年後見制度利用促進協議会の開催 (出席者) 市町行政、市町社会福祉協議会、静岡家庭裁判所、静岡県弁護士会、公益財団法人成年後見センター・リーガルサポート静岡支部、一般社団法人静岡県社会福祉士会弁護士会、静岡県社会福祉協議会、静岡県</p> <p>(内容) ①基調説明：地域における成年後見制度利用促進に向けた体制整備について ②静岡家庭裁判所からの報告 ③職能団体からの報告 ④協議：成年後見制度利用促進の取組</p> <p>賀茂地区：9/7 1市5町 参加者27人 東部地区①：9/3 4市 参加者25人 東部地区②：9/11 6市4町 参加者38人 中部地区：9/14 6市2町 参加者29人 西部地区：9/5 7市1町 参加者30人 計149人</p>	<p>継 続</p>	<p>成年後見実施機関の設置に伴う法人後見事業の準備に係る相談や、推進委員会等での県内の情報提供など、それぞれの地域のニーズに沿った支援ができた。</p> <p>成年後見制度利用促進に係る現状や課題を各市町行政・社協・専門職団体・家庭裁判所とで共有するとともに、成年後見実施機関を活用した利用促進体制整備に向けた関係機関の連携を図ることができた。</p>

4 成年後見制度利用促進のための人材育成事業【県委託事業】（新規）

成年後見制度を必要とする者等の身近にいる福祉関係者等が、それぞれの支援対象者に制度の周知を行い、利用につなげる仕組みを作るため、福祉関係者等を対象に成年後見制度の理解促進を図った。

事業の実績	区分	効果・評価						
<p>(1) 普及啓発用パンフレット及び研修テキストの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前ヒアリング 3か所 ・中間ヒアリング 2か所 ・テキスト等検討委員会 3回 ・テキスト等作成ワーキング 8回 ・その他打合せ等 4回 <p>【作成部数】</p> <table> <tr> <td>分かりやすい成年後見制度テキスト</td> <td>10,000部</td> </tr> <tr> <td>成年後見制度パンフレット</td> <td>50,000部</td> </tr> <tr> <td>成年後見制度相談窓口一覧</td> <td>10,000部</td> </tr> </table> <p>【送付先】 県内老人系・知的及び精神障害系事業所 計 3,463 か所</p>	分かりやすい成年後見制度テキスト	10,000部	成年後見制度パンフレット	50,000部	成年後見制度相談窓口一覧	10,000部	新規	<p>有識者や専門職団体、当事者団体等から広く意見を聞くことにより、見やすく初心者にも分かりやすいテキスト及びパンフレットが完成した。</p>
分かりやすい成年後見制度テキスト	10,000部							
成年後見制度パンフレット	50,000部							
成年後見制度相談窓口一覧	10,000部							
<p>(2) 福祉職員のための成年後見制度理解促進研修会の開催（県内5か所）</p> <p>静岡会場：2/7 参加者 159人 沼津会場：2/12 参加者 141人 磐田会場：2/22 参加者 80人 掛川会場：2/27 参加者 120人 下田会場：3/1 参加者 43人</p>		<p>福祉関係者が、上記テキストとパンフレットを使用して制度を理解することにより、多くの支援対象者へ制度が周知され、利用につなげる仕組みができた。</p>						



分かりやすい成年後見制度テキスト



分かりやすい成年後見制度パンフレット

推進事項3 行政・各関係機関、団体種別協議会、職能団体との連携・協働の促進

1 福祉サービス運営適正化委員会事業

福祉サービス利用援助事業の適切な運営と福祉サービス利用者からの苦情解決及び事業者段階における適切な苦情解決の仕組みづくりに取り組んだ。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 運営適正化委員会（全体会）の開催（12/27） 正副委員長選任、合議体委員指名ほか	継続	福祉サービス利用援助事業の適正な運営の確保とともに、福祉サービスに関する利用者の苦情解決に努め、利用者の福祉サービスの適切な利用に寄与した。 また、研修会及び啓発活動等を実施し、事業者の苦情解決体制づくりを支援することで、福祉サービスの質の向上に寄与した。
(2) 運営監視合議体の開催 第1回(6/11)、第2回(8/27) 第3回(12/27)、第4回(3/18)	〃	
(3) 苦情解決合議体の開催 第1回(6/11)、第2回(8/27)、第3回(12/27) 第4回(2/25)、第5回(3/18)	〃	
(4) 巡回支援活動の実施（4事業所）	〃	
(5) 苦情解決研修会の開催 8/7 中部（参加者 60人） 8/8 東部（参加者 56人） 8/30 西部（参加者 67人）	〃	
(6) 啓発活動の実施 随時ポスター・パンフレット等の無料配布	〃	
(7) 運営適正化委員会事業研究協議会（7/18）	〃	

苦情件数（平成31年3月末現在）

（単位：件）

区分	平成30年度	平成29年度	前年度対比
苦情	72	71	101.4%
その他相談	19	25	76.0%
計	91	96	94.8%

（一覧は93頁に記載）

2 福祉サービス第三者評価事業

福祉サービス提供事業者のサービスの質を公正・中立な第三者評価機関（平成17年1月17日静岡県から認証）として、専門的かつ客観的な立場から評価し、その結果をホームページで公表した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 福祉サービス第三者評価の実施 契約件数：9件（一覧は95頁に記載）	継続	契約事業所が事業経営における具体的な問題点を把握して「サービスの質の向上」に繋がられるよう支援した。
(2) 事前説明の実施 契約事業所に対し、事業の内容、評価の実施方法等の説明を行った。	〃	
(3) 評価委員会の開催	〃	

3 社会的養護関係施設第三者評価事業

社会的養護施設の施設運営の質を公正・中立な第三者評価機関(平成 25 年 1 月 4 日全国社会福祉協議会から認証)として、専門的かつ客観的な立場から評価し、その結果をホームページで公表する。

平成 30 年度事業実績なし。

4 障がい者等の自立支援の推進

地域活動支援センターの利用者の就職やアパート等への入居に際して、身元保証人や連帯保証人になっている施設長等に対し、補償義務が発生した場合の損失補填を行う事業を実施するとともに、県肢体不自由児協会の事務局を受託し、肢体不自由児の福祉増進を図った。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 施設利用精神障害者自立促進事業の実施 ※1 件が損失補てんの支援継続中	継続	保証人の経済的負担軽減に寄与した。
(2) 県肢体不自由児協会の事務受託 ① あり方検討委員会の開催 (4/26) ② 理事会の開催 (5/31、11/9、3/28) ③ 肢体不自由児療育指導者講習会の開催 第 1 回 7/6～7/7 第 2 回 7/27～7/28 第 3 回 8/24～8/25 第 4 回 9/28～9/29 (受講者延べ 222 人) ④ 第 13 回意見交換会の開催 (10/20) ⑤ 手足の自由な子どもを育てる運動の実施 (11/10～2/15) ⑥ 第 35 回静岡県手足の不自由な子どもの 絵画展の開催 (1/22～2/15) 表彰式 (1/23)	〃	肢体不自由児に対する理解促進に寄与した。

5 児童等の自立支援の促進

施設に入所している児童及びDV被害者等とその同伴家族の就職、進学又はアパート等への入居に際して、身元保証人となっている施設長等に対し、補償義務が発生した場合の損失補填を行う事業を実施するとともに、県里親連合会の事務局を受託し、社会的養護が必要な児童の自立を支援した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 施設入所児童等自立促進事業の推進 (30年度加入継続件数：6件) 賠償額交付申請が1件あり、助成を決定した。	継続	保証人の経済的負担軽減に寄与するとともに、施設入所児童等の自立促進を図った。
(2) 県里親連合会の事務受託 ①総会・研修会の開催 (6/10、参加者67人) ②理事会の開催(5/26、3/15) ③正副会長会議の開催(11/14、2/20) ④里親月間記念講演会(10/14) ⑤里親賠償責任保険への加入 ⑥里親里子夏のふれあい交流事業 (共同募金会助成事業) 県内5か所で開催 ⑦自動車運転免許取得助成事業 (共同募金会助成事業) 平成30年度に就職を希望する高校3年生の里子を対象に取得費用の一部を助成 平成30年度対象者なし ⑧ショート・ルフラン里親事業 (県委託事業) ⑨里子の専門相談サポート事業 ⑩里子の祝い金 中学・高校卒業のお祝い金として里子9名に贈呈	〃	里親制度の普及発展、里親登録及び里親への委託率の増加を図った。
(3) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業 ①生活支援費 月額5万円以内 1人、600千円 ②家賃支援費 1ヶ月あたりの家賃相当額 3人、1,567千円 ③資格取得に要する費用の実費 25万円を上限 2人、500千円	〃	大学等への進学や就職のために、児童養護施設などを退所した後の安定した生活基盤を作るために必要な資金を貸し付け、自立の促進を図った。

6 障がい者の就労支援

地域共生社会の実現を目指し“我が事・丸ごと”の地域づくりを進めるため、創設されたふじのくに「地域共生」大賞に『神谷基金賞』を設け、福祉以外の分野と協働して、障がい者の地域生活移行や就労・社会参加の促進に向けた活動の充実を図った。

事業の実績	区分	効果・評価
ふじのくに「地域共生」大賞の実施【再掲】 <「神谷基金賞」受賞団体> ①社会福祉法人復泉会 ②社会福祉法人春風会 沼津市立高尾園積み木プロジェクト ③みらいねっと浜松 ④ホットファーム株式会社 ⑤はまかぜ ciao's	新規	取り組み効果が優秀な事業所を表彰し奨励金を贈ることにより、さらなる活動の充実と障がい者の就労・社会参加の促進を図った。

7 ひとり親家庭の自立支援の促進

高等職業訓練促進給付金を活用し、看護師等の就職に有利な資格を取得するため養成機関に入学し卒業後その資格を利用し就労自立を目指す一人親について、入学準備金・就職準備金を貸し付けることにより、ひとり親家庭の自立を促進した。

事業の実績	区分	効果・評価
ひとり親家庭訓練促進資金貸付事業 ・入学準備金（50万円以内、1回限り） 27人、13,500千円 ・就職準備金（20万円以内、1回限り） 14人、2,800千円	継続	・ひとり親家庭の経済的自立 ・看護師等の人材確保


基本目標3 地域福祉を支える基盤づくり

実施目標1 市町社協を支援します

推進事項1 市町社協相互の連絡調整、調査研究・政策提言

市町社協の体制強化、基盤整備を図るとともに、地域福祉を協働して進めるための基礎調査及び訪問支援等を行った。

また、各市町の地域福祉推進における現状や課題、今後の取組について、近隣の市町の関係機関による意見交換の場を設定し、連携強化を図った。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 市町社協連絡協議会の開催</p> <p>ア 事務局長会議の開催(5/16)</p> <p>イ 市町社協連絡協議会幹事会 (6/19)</p> <p>ウ 市町社協経営基盤強化検討委員会の開催 (9/3、12/19)</p> <p>エ 市町社協会長会議 (9/14) 講演：地域共生社会の実現に向けた社協の立ち位置について 講師：社会福祉法人中央共同募金会 常務理事 渋谷 篤男 氏 意見交換</p> <p>オ 相談事業部会の開催(11/12, 1/17, 3/14) 県内の市町社協が行う相談・支援事業の実情を把握し、課題を明確にすることで、「地域共生社会」の実現に向けた「総合的な支援体制の整備」のあり方等を提言するための相談事業部会を設置</p> <p>カ 介護保険部会の開催 (ア) 幹事会 7/6 (イ) 社協介護保険事業経営改善セミナー 1/30 実践報告①「大淀町社会福祉協議会における訪問介護事業～自立支援・重度化防止を主眼とした身体介護の取組～」 報告者：大淀町社会福祉協議会事務局長 宮本 賢太郎 氏 実践報告②「富士見町社会福祉協議会における通所介護事業～通所介護事業における自立支援のポイント」 報告者：富士見町社会福祉協議会 介護保険事業所長 小林 功 氏 (ウ) 介護保険部会全体会 3/5 ①基調講演：「生活支援コーディネーター業務における地域部門と介護部門の連携のあり方」</p>	<p>継続</p> <p>新規</p>	<p>市町社協の効果的、効率的な経営と会計の透明性の確保に寄与した。</p> <p>県及び市町行政、社協が協働した地域福祉実践、各市町の先駆的取組の情報交換、先進的な事例収集及び行政と社協との連携強化に寄与した。</p>
		 <p>介護保険部会全体会 (平成31年3月5日)</p>

<p>講師 東北福祉大学総合マネジメント学部 教授 高橋 誠一 氏</p> <p>②グループ協議</p> <p>「社協らしい介護サービス事業等の展開について」</p> <p>(2) 市町社協活動実態調査の実施 (4/1 時点)</p> <p>(3) 市町社協役職員便覧の作成 (200 部、4 月)</p> <p>(4) 市町社会福祉協議会連絡協議会等支援事業</p> <p>(5) 地域福祉推進ブロック会議の開催</p> <p>中部西部地区 7/17、東部地区 7/20、賀茂地区 7/26</p> <p>テーマ：地域共生社会の実現に向けた地域福祉計画の策定や進行管理</p> <p>(6) 市町社協研修会等への講師派遣</p> <p>市町社協研修会等への講師派遣</p> <p>ア 浜松市三方原地区社協定期総会(研修会) (4/23)</p> <p>浜松市細江地区社協定期総会 (研修会) (5/17)</p> <p>イ 焼津市社協職員研修会 (7/19、8/2)</p> <p>ウ 湖西市岡崎地区福社会研修会 (7/31)</p> <p>エ 地域における公益的な取組と社会福祉法人の連携協働に関する意見交換会 (8/30)</p> <p>オ 伊豆市社協役員研修会 (9/15)</p> <p>(7) 社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業の実施</p> <p>ア 事業説明会 (菊川市 4/24、三島市 5/2)</p> <p>イ 市町社協担当者会議 (11/6)</p>	<p>継続</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>	
---	---	--

推進事項 2 役職員のスキルアップ支援

地域福祉の担い手となる市町社協役職員の資質向上を目的とした体系的な研修を実施した。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 新任職員研修の開催</p> <p>(1) 新任職員研修の開催 5/23～24、参加者 69 人</p> <p>講義Ⅰ 『社会福祉協議会の基本理解』</p> <p>実践事例 『社会福祉協議会の事業の進め方』</p> <p>演習Ⅰ 『自分にとっての“価値ある夢”と“強み”を再考』</p> <p>鼎談 『社会福祉協議会の組織力を活かした課題解決をすすめよう』</p> <p>講義Ⅱ 『社会福祉協議会の事業』</p> <p>演習Ⅱ 『即戦力を意識した“仕事のルール”を身につける』</p>	<p>継続</p>	<p>社協の果たすべき役割等を共有・確認するとともに、社協における業務、職種を超えて、社協職員として求められる意識や視点、知識、技術の習得により、社協活動の活性化に寄与した。</p>

<p>講師：小山町社協常務理事 原 秀人 氏 他</p> <p>(2) 新任事務局長研修の開催(4/20)</p> <p>(3) 市町社会福祉協議会トップセミナーの開催 2/12 参加者：91人 講演「地域共生社会の実現に向けた取組が求められる背景」 講師 駒澤大学文学部社会学科 准教授 川上 富雄 氏 実践報告①「ニーズ把握に基づく過疎地域の集落支援活動について」 講 師 池田 水穂子 氏（静岡市清沢地区担当集落支援員・里山くらしLABO 代表） 実践報告②「生活困窮者支援と地域における顔の見える関係づくり」 講 師 堀込 岳満 氏（北海道江別市社会福祉協議会</p>	<p>〃</p> <p>〃</p>	
<p>(4) 監事研修会の開催 4/16、参加者：40人 講義：会計基準における監事の会計監査 講師：杉山 明喜雄 氏（公認会計士）</p>	<p>〃</p>	
<p>(5) 市町社協会計実務研修会の開催 7/17、参加者：46人 講義：社会福祉協議会における会計実務 講師：杉山 明喜雄 氏（公認会計士）</p>	<p>〃</p>	
<p>(6) 市町社協総務担当者会議の開催 8/10、参加者：29人 協議題報告・情報交換 アドバイザー参加： 川原経営総合センター 統括補佐 森田 敏史 氏 シニアマネージャー 成田 勝 氏 アドバイザーからの情報提供の後、13 の協議題について各市町社協から報告・意見交換等を実施</p>	<p>〃</p>	
<p>(7) 市町社協決算実務研修会の開催 2/13 参加者：49人 講義：社会福祉協議会の決算実務 講師：杉山 明喜雄 氏（公認会計士）</p>	<p>〃</p>	
<p>(8) コミュニティソーシャルワーカー養成研修受講者 継続研修 1/14、参加者：20人 ①講義 「コミュニティソーシャルワークの視点による地域生活支援と事例検討方法」 講師：日本地域福祉研究所理事（日本社会事業大学</p>	<p>〃</p>	

<p>准教授) 菱沼 幹男 氏</p> <p>②事例報告 報告者：社会福祉法人天心会 特別養護老人ホーム 竜爪園 地域福祉主任 コミュニティワーカー 福貴 稔 氏</p> <p>③事例検討 事例を基にグループで支援方法等を検討</p> <p>④情報交換・質疑応答</p> <p>(9) コミュニティワーク研修会の開催 (再掲) 社会福祉法改正を踏まえた市町地域福祉 (活動) 計画の策定方法編 (7/17, 7/20, 7/26) 地域福祉 (活動) 計画策定編 (7/17、7/20、7/26) 地域アセスメント編 in 吉川団地 (9/28)</p>	継続	
---	----	--

実施目標2 社会福祉事業者を支援します

推進事項1 社会福祉事業者の地域福祉推進に係る環境づくりを促進します

1 社会福祉関係機関・団体との連携・協働

社会福祉施設種別協議会及び民間社会福祉団体のより一層の基盤強化を図るための支援や、全体を統括した福祉に関する提言・要望活動を実施した。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 民間社会福祉施設運営費助成基金助成事業の実施 (一覧は 94 頁に記載)</p> <p>(2) 社会福祉団体等連絡協議会の開催 (10/5) 県健康福祉部長等幹部職員と福祉団体との意見 情報交換の実施</p>  <p>社会福祉団体等連絡協議会 (平成 30 年 10 月 5 日)</p>	継続	<p>民間社会福祉団体の 運営基盤の強化と地域 福祉の促進につながっ た。</p> <p>県内の福祉関係者が 一堂に集い、情報と課 題認識を共有できた。</p>
<p>(3) 民間社会福祉団体運営費助成事業の実施 第 1 回助成 (6/29)、第 2 回助成 (1/31) (一覧は 96 頁に記載)</p>	〃	
<p>(4) 民間社会福祉活動促進事業費助成事業の実施 第 1 回助成 (8/31)、第 2 回助成 (11/30)、 第 3 回助成 (5/31 予定) (一覧は 97～101 頁に記載)</p>	〃	

推進事項2 社会福祉事業者等の経営を支援します

1 福祉施設等への経営指導の実施

社会福祉法人及び社会福祉施設に対し、福祉施設経営指導員等の専門相談員による助言、指導及び支援を行った。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 経営相談の実施 (798 件) (2) 福祉施設経営指導連絡協議会の開催(年1回以上、1/25) (3) 県社会福祉法人経営者協議会の事務受託 <ul style="list-style-type: none"> ・経営セミナー(前期)の開催(7/12) ・経営セミナー(後期)の開催(1/21) ・南関東甲静ブロックセミナーの開催(1/10) ・県内社会福祉法人による地域における公益的な取組の理解促進用映像の製作とリンク用バナーの作成 	継続 〃 〃	会計、法律問題など、法人運営に関する多岐に渡る疑問・質問事項について専門家による相談支援を行い、施設の経営全般にわたる質の向上に寄与した。 社会福祉法施行後の法人経営についてセミナーを開催し、法人支援に寄与した。 動画作成により、法人の公益的な取組推進と法人の情報発信に貢献した。



2 社会福祉法人等に対する支援事業

経営基盤の強化や施設サービスの質の向上など、社会福祉事業所の様々な課題に対し、研修会やセミナーの開催により支援した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 社会福祉法人監事監査研修会の開催 (4/19・20、801人)	継続	社会福祉法人・施設の経営基盤強化と質の高いサービス提供の推進に寄与した。 社会福祉法の改正に伴い、法人経営の公益性やガバナンスの強化が求められており、運営管理講座でテーマに取り上げるなど支援の強化を図った。
(2) 社会福祉法人簿記入門講座の開催 (6/13、180人)	〃	
(3) 社会福祉法人・施設事務職員経理基礎講座の開催 (6/19・22、174人)	〃	
(4) 社会福祉法人・施設事務職員経理応用講座の開催 (7/20・23・24、325人)	〃	
(5) 社会福祉施設人事・労務管理研修会の開催 (7/5 91人)	〃	
(6) 社会福祉法人予算管理基礎講座の開催(9/14、240人)	〃	
(7) 社会福祉法人・施設事務職員会計実務専門講座 (新規、10/15、229人)	〃	
(8) 社会福祉法人運営管理研修会の開催(12/3、140人)	〃	
(9) 社会福祉法人・施設職員税務実務講座(所得税等)の開催(11/15、146人)	継続	
(10) 社会福祉法人財務管理講座の開催(12/10、241人)	〃	
(11) 社会福祉法人消費税増税対応講座(1/31、157人)	〃	
(12) 社会福祉法人決算実務講座の開催(2/19・20、384人)	〃	

3 社会福祉施設の整備促進事業

民間社会福祉事業の振興を図るため、社会福祉施設の整備に必要な資金(福祉医療機構から借入れた元金・利子)の一部補助や施設の運営・設備等に必要な資金を融資した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 施設借入金元金・利子助成事業の実施 (2) 社会福祉振興資金貸付事業の実施 ア 施設運営・設備資金 イ 特別整備貸付資金 ウ 施設整備資金	継続 "	平成 30 年度から新たに 4 施設に元金助成を行い、社会福祉施設の整備促進に寄与した。

実施目標3 県社会福祉協議会の基盤強化を図ります

推進事項1 会員参画の場の充実を図ります

県社協への多様な意見集約と県社協のネットワーク機能を高めるため、会費利用内容を明確にし、よりわかりやすい会員体系を検討した。

本会事業を積極的に情報発信し、未開拓の県内企業へ新規賛助会員加入への働きかけを積極的に行った。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 会員・会費制度の見直しに向けた検討会を実施した。 (2) 県社協事業への協力体制の強化 県域の地域福祉推進における協議体機能を発揮するため、会員規程等の一部改正を行い、会員の範囲を明確にした。 (3) 未開拓企業への賛助会員加入促進 会費請求時や新規会員加入時等にチラシを配付して、県社協事業への協力体制の強化を図った。 また、特に賛助会員の獲得について、「社会福祉しずおか」9月号に掲載し、強化を図った。 ・ 会員数(3月末現在) 普通会員 8,747 (1,842 団体、6,905 人) 賛助会員 170 (126 団体、44 人) 計 8,917 (1,968 団体、6,949 人) 前年度同時期比: 33 会員の増 詳細は、巻末資料を参照 ・ 平成 30 年度会費請求 会費収入額 35,112,138 円(3月末現在)	継続 継続 継続	「地域福祉の推進」への理解促進及び、県社協の基盤強化につながっている。

推進事項2 現場主義に立って多彩な情報の収集と福祉に関する情報の発信拠点を 目指します

1 地域福祉情報発信事業

地域福祉に関する情報提供媒体として、現場主義に立って多彩な情報を収集するとともに、機関紙等を活用して福祉に関する情報を発信した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 機関紙「社会福祉しずおか」の発行 10月を除く毎月、11,300部発行	継続	住民の地域福祉活動への参加促進、地域の実情に応じた地域福祉活動の活性化及び社会福祉協議会の認知度の向上に寄与した。
(2) 県民向け広報紙の発行 県民福祉の日に関する広報啓発事業の一環として「社会福祉しずおか」10月号は特別号とし120,000部を発行し、広く県民へ配布	〃	
(3) 県社協パンフレットの発行（1,000部、4月）	〃	
(4) メールマガジンの配信 毎月2回発行 配信先：県内の社会福祉法人・施設、機関・団体等約410カ所	〃	
(5) 各福祉週間等啓発事業【再掲】 ア 児童福祉週間（5月） イ 老人週間（9月） ウ 児童虐待防止月間（11月） エ 障害者週間（12月）	〃	
(6) 社会福祉施設・事業所・団体要覧の発行 (3,500部発行)	〃	

2 電子オフィスシステム整備事業

ホームページの運営等による情報の収集及び発信のほか、インターネット環境の安全性・適正化の強化及びウイルス対策、情報の漏洩事故の防止等の対策を行っている。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) ホームページの充実及び積極的な活用促進	継続	ホームページを活用し、様々な情報の収集・提供を行い、地域活動の活性化を図っている。
(2) インターネット環境の安全性・適正化の強化	〃	
(3) ウイルス対策、情報の漏洩事故の防止等の対策	〃	
(4) 情報システム強化実行部隊の設置及び会議の開催 (参加者9名（各課1名） 県社協相談室) 第1回（5/21）、第2回（6/22）、第3回（8/6） 第4回（9/12）、第5回（10/22）、第6回（11/26） 第7回（12/18） IT機器の設置状況の共有、機能強化の検討、HPを活用した情報発信強化の検討 等	〃	
(5) グループウェア「J-MOTTO」の導入	新規	

推進事項3 組織体制の強化を図ります

1 理事会・評議員会機能の強化

予算、決算、事業計画等の定例的な議題提案にとどまらず、各種事業の進捗状況や、地域が抱える課題等を積極的に報告し、理事・評議員の意見を県社協の事業運営に反映した。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 理事会の開催 (書面決議) 平成30年4月23日(月)</p> <p>① 評議員会の招集について</p> <p>第1回 理事会 平成30年6月7日(木)</p> <p>① 評議員選定委員会委員選任案について</p> <p>② 平成29年度事業報告(案)</p> <p>③ 平成29年度一般会計及び生活福祉資金会計収支決算(案)</p> <p>④ 平成30年度一般会計資金収支補正予算(案)</p> <p>⑤ 第170回評議員会の招集について</p> <p>報告事項 「外部監査の実施結果について」 「平成29年度決算に基づく社会福祉充実残額の算定結果について」 「社会福祉法人静岡県社会福祉協議会会員規程の見直しについて」 「平成29年度会長及び常務理事の職務執行状況について」 「静岡県商工会青年部連合会との災害支援協定について」 「静岡県社会福祉協議会に対する寄附金等について」 「平成30年度理事会・評議員会等の日程について」</p> <p>(書面決議) 平成30年8月14日(水)</p> <p>① 静岡県社会福祉協議会評議員候補者選任案について</p> <p>② 評議員会の招集について</p> <p>第2回理事会 平成30年10月30日(火)</p> <p>① 平成30年度11月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算(案)</p> <p>② 静岡県社会福祉協議会会員規程等の一部改正(案)</p> <p>③ 第171回評議員会の招集について</p> <p>報告事項 「静岡県社会福祉協議会 評議員選任結果について」 「平成30年度上半期主要事業執行状況報告」 「平成29年度決算の検証について」 「平成30年度会長及び常務理事の職務執行状況について」</p>	<p>継続</p>	<p>県社協及び地域が抱える課題や重要事項等を審議することにより、県社協事業の円滑な遂行と的確な地域福祉施策の推進につながった。</p>

<p>「平成 30 年度静岡県健康福祉大会について」 「平成 30 年 7 月豪雨災害への対応について」 (書面決議) 平成 31 年 1 月 15 日(火)</p> <p>① 静岡県社会福祉協議会評議員選定委員会運営細則の一部改正(案)</p> <p>② 社会福祉法人静岡県社会福祉協議会役員等報酬規程の改正(案)</p> <p>③ 静岡県社会福祉協議会第 172 回評議員会の招集について 評議員会の招集について</p> <p>第 3 回理事会 平成 31 年 3 月 13 日(水)</p> <p>① 静岡県社会福祉協議会評議員候補者選任案について</p> <p>② 平成 31 年度事業計画(案)</p> <p>③ 平成 31 年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支予算(案)</p> <p>④ 平成 30 年度 3 月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算(案)</p> <p>⑤ 第 172 回評議員会の招集について 報告事項</p> <p>「社会福祉法人静岡県社会福祉協議会諸規程の制定及び一部改正について」 「静岡県社会福祉協議会役員等選任要領の制定について」 「静岡県総合社会福祉会館の指定管理について」 「平成 30 年度の静岡県社会福祉協議会に対する寄附金等について」</p> <p>(2) 評議員会等の開催</p> <p>(書面決議) 平成 30 年 5 月 14 日(月)</p> <p>① 静岡県社会福祉協議会理事の選任について</p> <p>第 1 回評議員会 平成 30 年 6 月 26 日(火)</p> <p>① 平成 29 年度事業報告(案)</p> <p>② 平成 29 年度一般会計及び生活福祉資金会計収支決算(案)</p> <p>③ 平成 30 年度一般会計資金収支補正予算(案)</p> <p>報告事項</p> <p>「外部監査の実施結果について」 「平成 29 年度決算に基づく社会福祉充実残額の算定結果について」 「評議員選定委員会委員の選任について」 「社会福祉法人静岡県社会福祉協議会会員規程の見直しについて」 「平成 29 年度会長及び常務理事の職務執行状況について」</p>	<p>継続</p>	
---	-----------	--

<p>「静岡県商工会青年部連合会との災害支援協定について」</p> <p>「静岡県社会福祉協議会に対する寄附金等について」</p> <p>「平成 30 年度理事会・評議員会等の日程について」</p> <p>(書面決議) 平成 30 年 8 月 31 日(金)</p> <p>① 静岡県社会福祉協議会理事の選任について</p> <p>第 2 回評議員会 平成 30 年 11 月 9 日 (金)</p> <p>① 平成 30 年度 11 月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算 (案)</p> <p>② 静岡県社会福祉協議会会員規程等の一部改正 (案)</p> <p>報告事項</p> <p>「平成 30 年度上半期主要事業執行状況報告」</p> <p>「平成 29 年度決算の検証について」</p> <p>「平成 30 年度静岡県健康福祉大会について」</p> <p>「平成 30 年 7 月豪雨災害への対応について」</p> <p>(書面決議) 平成 31 年 2 月 7 日(木)</p> <p>① 社会福祉法人静岡県社会福祉協議会役員等報酬規程の改正(案)</p> <p>第 3 回評議員会 平成 31 年 3 月 26 日 (火)</p> <p>① 平成 31 年度事業計画(案)</p> <p>② 平成 31 年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支予算(案)</p> <p>③ 平成 30 年度 3 月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算(案)</p> <p>報告事項</p> <p>「社会福祉法人静岡県社会福祉協議会諸規程の制定及び一部改正について」</p> <p>「静岡県社会福祉協議会役員等選任要領の制定について」</p> <p>「静岡県総合社会福祉会館の指定管理について」</p> <p>「平成 30 年度の静岡県社会福祉協議会に対する寄附金等について」</p>		
<p>(3) 監事による監査 (1 回)</p> <p>平成 30 年 5 月 18 日(金) 指摘事項なし</p>		<p>継続</p>
<p>(4) 正副会長会議の開催 (3 回)</p> <p>理事会及び評議員会への上程議案を協議</p> <p>第 1 回 平成 30 年 5 月 23 日 (水)</p> <p>第 2 回 平成 30 年 10 月 10 日 (水)</p> <p>第 3 回 平成 31 年 2 月 28 日 (木)</p>		<p>継続</p>
<p>(5) 評議員選定委員会の開催</p>		<p>継続</p>


第1回 平成30年9月19日(水) 静岡県社会福祉協議会評議員の選任について 書面決議 平成31年3月27日(水) 静岡県社会福祉協議会評議員の選任について		
---	--	--

2 職員研修体系の確立

役員等による福祉現場視察を実施し、福祉現場の実態・課題の把握により、事業運営の参考としている。

また、職員に対する研修について、職務遂行に必要な基本的事項を習得する基本研修と専門的な知識・能力等を習得する専門研修の二つに分け、適宜、受講させている。

なお、市町・各種団体・教育機関等外部からの講師等派遣依頼を積極的に受け入れている。


事業の実績	区分	効果・評価
(1) 役員の福祉現場視察の実施 第1回(12/7) 会長、常務理事 視察現場：京丸園株式会社、ホットファーム株式会社 第2回(2/1) 会長、常務理事 視察現場：静岡恵明学園(児童部、乳児院)	継続	福祉現場の現状や課題について役員の認識を深め、本会の事業運営の参考としている。
(2) 職員に対する階層別(基礎)研修 ・新規採用職員研修(4/4 9人) ・キャリアパス対応生涯研修課程(中堅)(5/28、6/11~12 1人) ・都道府県・指定都市社協中堅職員研修(2/10~12 1名)		
		
		福祉現場視察(静岡恵明学園)
(3) 職員に対する専門(業務別)研修 ・社会福祉法人制度改革事務担当者セミナー(4/20 1人) ・災害時の連携を考える全国フォーラム(5/12~13 1人) ・生活困窮者自立支援制度における担当者研修(5/29 1人) ・成年後見制度利用促進専門家会議(7/2 2人) ・「社協・生活支援活動強化方針」普及促進セミナー(7/9 1人) ・全国福祉教育推進セミナー(7/30 1人) ・マッチング機能強化研修(8/1~2 2人) ・主任相談支援員養成研修(8/22~24 1人) ・社会福祉協議会会計実務講座(入門コース)	継続	社協職員として必要な知識や技能について経験年数や役職に応じた階層別研修と、事業担当ごとに必要な研修を受講させ、職員の資質の向上を図り、本会事業が円滑に遂行している。

<p>(8/25～27 1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護人材確保地域戦略会議 (9/6 1人) ・福祉の業界企業研究セミナー (10/10 1人) ・地域共生社会推進全国サミット (10/18～19 1人) ・保育士・保育所支援センター連絡会議 (11/16 2人) ・岡山DWA T養成研修 (12/4 1人) ・日本地域福祉研究所冬の公開研究セミナー (12/22 1人) ・愛知県子どもの学習支援ボランティア養成講座 (2/4 2人) ・生活支援コーディネーター実践交流フォーラム (2/9 1人) ・全国宅老所・グループホーム研究交流 フォーラム in 栃木(2/23～24 2人) ・地域での計画的な包括支援体制づくりに 関する調査研究事業セミナー (3/22 2人) 		
<p>(4) 職員に対する資格取得奨励研修 (希望選考制) 社会福祉士、社会福祉主事任用資格取得奨励貸付 制度の検討を行った。</p>	<p>継続</p>	
<p>(5) 外部からの依頼による講師の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本地域福祉学会第32回大会 ふじのくに発セッション (6/10) ・磐田市市民後見人養成講座事前説明会 (7/23) ・全社協マッチング機能強化研修 (8/1～2) ・磐田市市民後見人養成講座 (8/30、9/20、12/13) ・御前崎市福祉避難所設置訓練 (12/2) ・関東弁護士連絡会講演 (12/6) ・経営協東海北陸ブロック研修会講演 (2/12) ・神奈川県社会福祉士会講演 (2/23) ・長野県社協講演 (2/25) 	<p>継続</p>	<p>職員が講師を経験する貴重な機会となった。</p>
<p>(6) 情報共有会議 (毎月1回開催) 会議議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課の事業の進捗状況の共有 ・県社協の財務分析結果 <p>※プロパー職員が県社協の課題について主体的 に取り組むため、2月から企画戦略会議へと 移行し、4つの委員会 (広報戦略、組織強化、</p>	<p>〃</p>	<p>職員の資質向上と部署間連携、情報共有を図った。</p>

経営強化、人材育成)を設置した。		
------------------	--	--

3 地域福祉調査研究事業

第四次活動推進計画の進捗状況や数値目標について評価・分析するとともに、県社協のあるべき姿の実現に向けた取組を進めた。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 企画調査委員会の開催 (3/7) 第四次活動推進計画の後期計画の取組状況について	継続	県社協が取り組むべき課題の明確化とともに、第四次活動推進計画の適正な進行管理を進めた。
(2) 社会福祉に関する県等への提言 県知事に対する「地域福祉の推進に向けて」の提出 (10/10) ① 福祉・介護人材の安定的な確保 ② 「地域共生社会」に向けた取組の推進 災害にも強い福祉のまちづくりの推進	〃	

4 県総合社会福祉会館（シズウエル）の管理・運営

平成 26 年 3 月に平成 26 年度から 5 年間の県総合社会福祉会館の管理・運営に係る指定管理者の指定を受けた。平成 26 年 4 月に指定管理者として静岡県と締結した協定書を遵守し、引き続き、入居団体や利用者の安心と満足を確保する管理と運営に努めた。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 県総合社会福祉会館の指定管理運営 指定期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 ア 指定管理業務 ① 会議室等の使用承認等 ② 利用料金の設定及び収受 ③ 会館の維持管理 ④ 会館入居団体、利用者の調整 ⑤ 来館者への食事提供に関する業務 イ 利用実績 (31 年 3 月末現在) ・ 有料会議室 (10 室 うち 1 室は、展示ギャラリー兼用) 2,411 件利用、利用料金収入 11,729,000 円 ・ その他の施設 (7 施設、30 入居団体)	継続	3 回目の指定管理者の指定を受け、前回までと同様に、会館の管理運営業務を着実に遂行し、入居団体や利用者が安心し、満足が得られる運営に努めた。

<ul style="list-style-type: none"> ・累計 7,366 件、232,179 人利用 <p>ウ マナー研修 (6/5, 6 18 人) 接遇の心構え、立ち振る舞いの基本、感じの良い話し方・聞き方、どんなひとの心にも届く！ +αの接遇力等</p> <p>エ 普通救命講習Ⅰの開催 (6/20, 21 15 人) 心肺蘇生法、自動体外式除細動器 (AED) の取扱等</p> <p>オ フェスタシズウエル 2018 (8/18 開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行事内容 授産製品販売、参加団体活動展示、ステージイベント、昔の遊び、盲導犬体験歩行、似顔絵の実演、ボランティア体験、脳トレーニング、点字体験、高齢者疑似体験、パトカー展示等 <p>来館者総数 1,002 人 参加団体 15</p>	<p>会館入居団体職員等を対象としたマナー研修や普通救命講習に多くの職員等が参加し、会館職員及び関係者の資質向上を図ることができた。</p> <p>フェスタシズウエルには、多くの来館者があり、会館及び入居団体の活動を広くPRすることができた。</p>
---	---



静岡県総合社会福祉会館
(愛称：シズウエル)



フェスタシズウエル
(平成 30 年 8 月 18 日)

5 防災訓練の実施

総合社会福祉会館の総合的な防災訓練等を実施し、入居団体職員の防災意識の高揚と、防災設備の操作を熟知することにより、非常事態の際の人命の安全と火災等の被害防止に備えた。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 情報伝達訓練の実施 (6/4 会館入居団体職員)	継続	情報伝達が円滑に行われるか検証できた。
(2) 総合社会福祉会館防災訓練の実施 第1回：8/30、参加人員 144 人 避難誘導訓練、救助袋操作訓練、放水訓練、水消火器操作訓練、携帯発電機操作訓練、ビデオ研修、消火器等消防設備配置場所確認、イーバックチェア訓練	〃	入居団体職員の防災意識の高揚と防災設備操作の熟知に努めた。また、事前に階段避難器具 (EVAC+CHAIR) の操作訓練を避難誘導班職員を中心に実施し、操作法の習得に努め

<p>第2回：2/23、参加人員 128 人 避難誘導訓練、救助袋操作訓練、放水訓練、水消火器操作訓練、トランシーバー操作訓練、消火器等消防設備配置場所確認</p> <p>(3) 階段避難器具 (EVAC+CHAIR) の操作訓練の実施 (8/28 参加人員 16 名)</p>	<p>継続</p>	<p>た。</p>
---	-----------	-----------



総合社会福祉会館防災訓練
 (いこいの広場に避難)
 (平成 30 年 8 月 30 日)

推進事項 4 財政基盤の確保を図ります

1 安定的な財政基盤による事業執行

適正かつ安定的な法人経営を今後も継続するため、直近の決算結果を用いて財政状況の分析を行い、中長期的な法人経営の見通しを検証した。

また、支出削減の取り組みを組織全体で推進するため、個人が行う優れた取り組みを表彰する「エコジョブ運動」を実施した。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 県社協財政状況の検証 平成 29 年度決算結果にもとづいた財務分析を行い、財政状況の現状と今後の中長期的な法人経営の見通しを検証した。</p>	継続	限られた財源を有効活用することにより財政基盤の強化に努めた。
<p>(2) 支出削減への積極的取組の推進 「エコジョブ」運動を推進し、事務の効率化やコスト削減の事例を共有化することにより、県社協業務の生産性の向上を図った。</p>	〃	仕事をする上で常に事務を効率的に、事業をより効果的にしようという意識が生まれた。

2 任意監査による組織運営の透明性の確保

公認会計士による任意の監査を実施し、会計経理の適正な手続きと事業運営の透明性を確保した。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 決算書類に関する任意監査の実(5/6、9) 指摘事項なし</p>	継続	社会福祉会計基準に基づく会計経理の指導を受け、適正

(2) 出納業務に関する任意監査(11/20、21)	〃	な手続きと事業運営の透明性を確保した。
(3) 会計業務及び予算執行に関する任意監査(2/25、26)	〃	

平成 30 年度社会福祉事業活動収入予算（自主財源）の概要

<単位：千円>

会計区分	30 収入予算	30 自主財源	自主財源の内容
会費収入	35,112	35,112	会費
寄附金収入	6,934	6,934	一般寄附、ABC寄附金
経常経費補助金収入	1,041,891	—	
受託金収入	171,697	12,215	団体事務受託金等
貸付事業収入	6,954	—	
事業収入	72,077	72,077	資料図書頒布、広告料、手数料、参加費収入等
負担金収入	4,873	—	
受取利息配当金等収入	33,042	33,042	基金等利息
その他の収入	5,669	5,669	印刷機使用料等
事業活動収入計	1,378,249	165,049	自主財源比率 11.9%

重点プロジェクト事業

1 「ストップ!子どもの貧困」ネットワークプロジェクト

貧困の連鎖によって、子どもたちの将来が閉ざされることのないよう、多様な機関・団体等がつながり、子どもの貧困対策に向けた仕組みづくりに取り組んだ。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 子どもの貧困問題等に係る現状の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県社協内プロジェクト会議の開催（県身元保証制度の見直し） <p>(2) 子どもの居場所（こども食堂含む）の立上支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居場所立上助成事業（ふれあい基金） ・「子どもの居場所づくり」の活動を広げるためのセミナー開催（県委託事業） <p>子どもの居場所づくりセミナー 東部：平成30年7月30日（月）参加者57人 中部：平成30年7月12日（木）参加者55人 西部：平成30年7月11日（水）参加者57人</p>	<p>子どもの居場所づくりに取り組むきっかけを提供し、居場所立上の促進に寄与した。</p>



子どもの居場所づくりセミナー
 （平成30年7月11.12.30日）
 県内3か所で実施

権利擁護を軸とした地域のつながりプロジェクト

地域で生きづらさを抱える人が安心して生活するために、権利擁護の充実を目指して、市町（地域）に向けた働きかけを行うとともに、あらゆる機関がつながりを持ち、支え合う仕組みづくりに取り組んだ。

事業の実績	効果・評価
<p>成年後見等に係る権利擁護体制の整備に向けた取組の推進</p> <p>【再掲】</p> <p>ア 静岡県成年後見制度利用促進協議会の開催 (出席者) 市町行政、市町社会福祉協議会、静岡家庭裁判所、静岡県弁護士会、公益財団法人成年後見センター・リーガルサポート静岡支部、一般社団法人静岡県社会福祉士会弁護士会、静岡県社会福祉協議会、静岡県</p> <p>(内 容) ①基調説明：地域における成年後見制度利用促進に向けた体制整備について ②静岡家庭裁判所からの報告 ③職能団体からの報告 ④協議：成年後見制度利用促進の取組</p> <p>賀茂地区：9/7 1市5町 参加者 27人 東部地区①：9/3 4市 参加者 25人 東部地区②：9/11 6市4町 参加者 38人 中部地区：9/14 6市2町 参加者 29人 西部地区：9/5 7市1町 参加者 30人</p> <p style="text-align: right;">計 149人</p> <p>イ 成年後見実施機関広域設置研修（6月～1月） 広域設置にむけた関係市町による協議場を設置 ・沼津市・御殿場市・裾野市・清水町・長泉町・小山町（8/29） ・沼津市・裾野市・清水町・長泉町（10/10、1/23） ・牧之原市・吉田町（6/22、11/15、1/30）</p>	<p>成年後見制度利用促進に係る現状や課題を各市町行政・社協・専門職団体・家庭裁判所とで共有するとともに、成年後見実施機関を活用した利用促進体制整備に向けた関係機関の連携を図ることができた。</p> <p>平成31年度からは、沼津市・裾野市・清水町・長泉町が2市2町で、御殿場市・小山町は1市1町で広域連携による市民後見人養成講座を開始する予定。 牧之原市・吉田町は令和2年度からの実施をめざし、協議を継続する。</p>

役員・評議員・事務局職員・受託団体の状況

平成31年4月1日現在

1 役員、評議員 (単位：人)

理 事	会 長	1
	副 会 長	3
	常務理事	1
	その他理事	11
	計	16
監 事		3
評議員		24

2 職員 (単位：人)

区 分	前年度(H29年度)		本年度(H30年度)				
	平成29年度 末現在	平成29年度 末退任等	採用	中途 退職	職種 轉換	平成30年度 末現在	平成30年度 末退任等
職 員 (内育休)	24 (0)	3 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (1)	2 (0)
再 雇 用 (内育休)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
専任職員 (内育休)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	9 (0)	1 (0)
嘱 託 員 (内育休)	18 (1)	5 (1)	1 (0)	0 (0)	△2 (0)	12 (0)	2 (0)
嘱託事務員 (内育休)	7 (0)	3 (0)	14 (0)	6 (0)	0 (0)	12 (0)	3 (0)
臨時事務員 (内育休)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (0)
計 (内育休)	59 (1)	11 (1)	18 (0)	6 (0)	0 (0)	60 (1)	9 (0)

※1 専任職員及び嘱託事務員は平成29年度に新設した。

※2 平成30年度に嘱託員から専任職員に轉換した職員は2名

事務受託団体一覧

団体名	担当課
静岡県社会福祉法人経営者協議会	経営支援課
福利厚生センター静岡事務局	経営支援課
静岡県里親連合会	経営支援課
静岡県肢体不自由児協会	経営支援課
静岡県ホームヘルパー連絡協議会	経営支援課
静岡県児童養護施設協議会(一部事務)	経営支援課
静岡県民生委員児童委員協議会	地域福祉課

会員状況一覧（平成31年3月末現在）

分類	種別	会員数	分類	種別	会員数
生活保護施設	救護施設	7	障害者福祉施設	障害福祉サービス事業所	194
	宿所提供施設	1		障害者支援施設	16
	医療保護施設	1		身体障害者更生援護施設	14
	計	9		知的障害者援護施設	43
児童福祉施設	乳児院	4	婦人保護施設	地域活動支援センター	6
	母子生活支援施設	3		福祉ホーム	2
	児童養護施設	12		身体障害者福祉センター	2
	児童心理治療施設	1		計	277
	児童自立支援施設	1	社会福祉一般施設	婦人保護施設	1
	保育所	354		計	1
	児童館	1	社会福祉協議会・団体	無料宿泊所	2
	一時保護所	2		無料低額診療施設	2
	小規模保育所	4		計	4
	へき地保育所	2		市町社会福祉協議会	35
	認定こども園	117	社会福祉協議会・団体	保護司会	24
	福祉型障害児入所支援	10		地域の福祉団体	46
	医療型障害児入所支援	4		その他の団体	26
	福祉型児童発達支援センター	11		計	131
	児童発達支援事業所	8	介護保険関係事業所	介護保険・障害福祉サービス	118
	放課後等デイサービス	15		計	118
	計	549	老健・療養病床	介護老人保健施設	60
				介護療養型医療施設	12
老人福祉施設	養護老人ホーム	25	個人会員	計	72
	特別養護老人ホーム	226		民生委員・児童委員	6,905
	軽費老人ホーム（A型）	2	計	6,905	
	軽費老人ホーム（ケアハウス）	36	賛助会員	首長・議長	45
	有料老人ホーム	41		団体	8
	老人福祉センター	16		企業	73
	老人憩の家	1		個人	44
	老人デイサービスセンター	228		計	170
	認知症高齢者グループホーム	69		合計	8,917
	老人短期入所施設（単独）	7			
	在宅介護支援センター	5			
	地域包括支援センター	7			
	小規模多機能型居宅介護事業所	18			
	計	681			

平成 30 年度静岡県社会福祉協議会ふれあい基金

地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業

<NPO・ボランティアグループ等活動奨励事業>

(単位:円)

NO.	市町名	グループ名	贈呈額
1	富士宮市	^{ウツノ} 内野銭太鼓愛好会	100,000
2	静岡市	NPO法人 バディプロジェクト	100,000
3	御殿場市	旅カラオケ歌謡教室	100,000
4	焼津市	特定非営利活動法人 オリーブ	100,000
5	伊豆市	人形劇団ぼんぽこ座	100,000
6	三島市	^{ニンチショウ} 人知笑ねっとワーキング	100,000
7	富士市	Happy はぐ Heart (シェアする子育て・地域支援 HHH)	100,000
8	富士宮市	ボランティア ^{ジュウゴ} 15	100,000
計			800,000

<地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業>

(単位:円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業内容
1	裾野市	特定非営利活動法人 メープル	179,000	ママによる情報紙発行事業
2	藤枝市	子育て応援プログラム スマイル・カフェ	107,000	子育て応援プログラム
3	島田市	しろやま読み聞かせクラブ	230,000	しろやまふれあいサロン事業 -三世代をつなぐ読み聞かせふれあい事業
4	静岡市 清水区	特定非営利活動法人 AYUドリーム	230,000	あゆむルーム運営事業
5	沼津市	特定非営利活動法人 静岡こころのサポートセンター	252,997	地域を支えるカウンセリング マインド普及事業
6	伊豆の国市	民芸衆団奏鳴曲	213,000	障害者機能支援時音響機器 の部品購入
7	藤枝市	特定非営利活動法人 藤枝光文庫	257,000	視覚障害(児)者に対する点字 図書製作事業
8	静岡市 清水区	特定非営利活動法人 清水ネット	300,000	アフタヌーンカフェ(認知症カ フェ)と三世代交流
9	磐田市	特定非営利活動法人 キャリ ア教育研究所ドリームゲート	114,000	夏休み自分よのなか塾
10	三島市	みんなのえがお おたまちゃん食堂	110,000	みんなのえがお おたまちゃん食堂
11	御前崎市	御前崎子育てサークル tao	293,000	子育てママ応援
12	沼津市	特定非営利活動法人 日本沼 津災害救援ボランティアの会	170,000	狩野川台風 60 年に学ぶ、地域 安全安心講座
13	伊豆の国市	特定非営利活動法人 伊豆学研究会	263,000	地域の縁側づくり事業
14	焼津市	H y g g e (ヒュゲ)	300,000	「デンマークキャンプ in 焼津」 上映会&トークセッション@ 焼津、「リース遠征隊」上映会 &トークセッション@三島
15	三島市	遊水匠の会	300,000	たまりば・一休 居場所づくり 独居・老々生活者食事支援

16	静岡市	特定非営利活動法人 静岡団塊創業塾	240,000	新生「団塊サミット」開催
17	磐田市	子育てサークル きらきら星	78,000	ホッとな親子時間を楽しもう！！
18	浜松市 中区	認定NPO 法人 魅惑的倶楽部	300,000	浜北区高校生人材育成講座
19	浜松市 西区	特定非営利活動法人 ころころねっと浜松	108,000	多胎児家庭のためのシッター 派遣事業
20	浜松市 中区	特定非営利活動法人 浜松 NPO ネットワークセンター	273,383	新居高校定時制「よりみちカフェ」 支援事業
21	浜松市 中区	子どもの育つまち研究会	300,000	たべるあそぶつながる
22	静岡市 清水区	ひだまりはうす	300,000	ひだまりはうす
23	浜松市 中区	特定非営利活動法人 ARACE	300,000	アラッセ希望放課後の教室
24	湖西市	特定非営利活動法人 DIGtag	300,000	三十ヶ谷家族会
25	袋井市	ハーモニー	300,000	生演奏による音楽劇ボランティア コンサート
26	静岡市 清水区	銀さら勉強会	300,000	多職種協働による総合相談（医療・ 福祉・司法なんでもかんでも相談会）
27	清水町	R a i n b o w D o o R しずおか	300,000	セクシャリティ児童の居場所 づくり事業
28	浜松市 浜北区	ふじのくにニッポンの縁側フ ォーラム	300,000	第4回ふじのくにニッポンの縁 側フォーラム
計			6,718,380	

<【先駆的（モデル的）】地域福祉・ボランティア活動等活動推進助成事業>

(単位:円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	静岡市 葵区	特定非営利活動法人 まちなびや	980,000	知的・発達障がい者向けネットガイ ドの開発
2	静岡市 清水区	子どもと家族の相談室 寺子屋お〜ぷん・どあ	740,000	「子ども・若者のための居場所」 事業
3	島田市	抜里「麦の会」 サヨばあちゃんの休憩所	776,217	抜里駅訪問客と地域住民の情報 交歓事業
計			2,496,217	

<セルフヘルプ活動支援事業>

(単位:円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	島田市	静岡県中部難病ケア市民ネッ トワーク[SCID-NET]	288,000	「こころのバリアフリー」を広げ る活動
2	静岡市 清水区	静岡県サルコ友の会	100,000	静岡県サルコ友の会の医療講演 会・交流会
3	島田市	【かいごラボ】	300,000	ドキュメンタリー映画「リース遠 征隊」上映会&トークセッション
4	静岡市 葵区	竹の子の会 静岡支部	131,760	プラダー・ウィリー症候群(PWS) 児を持つ親のペアレントトレー ニング
計			819,760	

<東日本大震災に係る避難者交流活動助成事業>

(単位:円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	静岡市 葵区	特定非営利活動法人 地域づくりサポートネット	219,274	ふじのくに避難者交流ツアー
計			219,274	

<しずおかの居場所立上助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	御殿場市	ウエルカフェ「茶話やか」	41,000	ウエルカフェ「茶話やか」
2	御殿場市	ふれあいの居場所 ふらり中山	145,000	ふれあいの居場所 ふらり中山
3	藤枝市	葉梨地区ときめきプロジェクト会議	150,000	誰でも・気軽に・歩いて行ける居場所を地域でつくる！
4	湖西市	みんなの上ノ原クラブ	150,000	町内みんなが家族！家族の集まる居間に！！
5	湖西市	地域の茶の間 日和	143,000	地域の茶の間 日和
6	静岡市 清水区	なかよし子育てランド 宮方こども園	150,000	いつでも、みんなが元気で笑顔になれる場所
7	御殿場市	ピンポンサロン	114,000	ピンポンサロン
8	伊豆市	あそびま専科 ののはな	150,000	あそびま専科 居場所 ののはな
9	静岡市 清水区	NPO 法人泉の会 こどもっ家	127,000	子どもっ家
10	藤枝市	ふれあいサロン「むらら」	150,000	ふれあいサロン「むらら」
11	沼津市	NPO 法人 臨床心理オフィス Be サポート	126,000	伊豆圏域の不登校、ひきこもりサポート「とっこ」
計			1,446,000	

<広域的な防災活動推進助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	菊川市	社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会	200,000	近隣市連携による大規模災害被災時対応訓練
計			200,000	

<ふじのくに「地域共生」大賞>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	贈呈額
1	浜松市、静岡県	NPO法人 サステナブルネット	100,000
2	静岡県内全域	NPO法人 静岡司法福祉ネット明日の空	100,000
3	三島市	みんなのえがお おたまちゃん食堂	100,000
4	静岡市清水区	銀さら勉強会	100,000
5	裾野市東地区	裾野市東地区おやじの会	100,000
計			500,000

平成30年度教員免許取得のための介護等体験事業(学校別決定者数一覧)

(単位:人)

No.	大学・学部名	人数
1	愛知産業大学短期大学	1
2	大阪芸術大学 通信教育部	1
3	大谷大学	3
4	鎌倉女子大学・鎌倉女子大学短期大学部	13
5	京都女子大学	1
6	京都造形芸術大学	2
7	京都外国語大学	3
8	京都教育大学	8
9	京都ノートルダム女子大学	1
10	國學院大學	1
11	嵯峨美術大学	1
12	相模女子大学	2
13	静岡英和学院大学	13
14	静岡大学 教育学部	329
15	静岡産業大学 経営学部	29
16	静岡大学人文社会科学部	11
17	静岡文化芸術大学	17
18	静岡大学 理学部	34
19	上越教育大学	1
20	聖徳大学 通信教育部	1

No.	大学・学部名	人数
21	創価大学 通信教育部	3
22	玉川大学 通信教育部	4
23	津田塾大学	7
24	東海大学 海洋学部	19
25	東海大学短期大学部	93
26	東京未来大学	4
27	同志社大学	2
28	常葉大学短期大学部	4
29	常葉大学	208
30	常葉大学 浜松キャンパス	30
31	日本大学 国際関係学部	41
32	日本大学 通信教育部	5
33	日本大学 理工学部	2
34	浜松学院大学	36
35	法政大学 通信教育学部	2
36	武蔵野大学	1
37	武蔵野音楽大学	4
38	明星大学 通信教育部	10
39	立正大学	4
合計		951

平成 30 年度みんなで支える地域福祉促進事業一覧

事業区分	名称	事業名	事業費 (決算額)	県費補助額
県社協 事業			円	円
	県社協	小地域福祉活動等の担い手養成研修事業	2,400,714	1,200,000
		地域福祉促進事業	104,320	50,000
小計(県社協分) 2件			2,505,034	1,250,000
市町社協 実施事業	伊東市	地域包括ケア担い手養成事業	813,554	400,000
	菊川市	地域福祉推進における生活困窮者自立支援事業	1,465,297	675,000
	三島市	住民参加型在宅福祉サービス立ち上げ関連事業	482,000	240,000
	三島市	県営住宅空き住居を利用した居場所事業	593,000	230,000
	焼津市	生活支援ボランティア養成講座	196,619	93,000
	藤枝市	地域でつなぐ福祉の「わ」住民が主体の元気なまちづくり事業	1,444,432	675,000
	長泉町	地域包括ケアに繋がる小地域福祉活動連携事業	1,350,000	675,000
	磐田市	地区社協主体の住民参加型生活支援事業	1,450,000	675,000
	裾野市	裾野市子どもの居場所事業	504,554	250,000
	小山町	福祉でまちおこし推進事業	400,000	200,000
	南伊豆町	地域住民活動活性化事業	1,350,000	675,000
	小計(市町社協分) 11件			10,049,456
合 計 13件			12,554,490	6,038,000

平成 30 年度運営適正化委員会苦情受付合計、解決結果

(単位:件)

サービス種別	区分	苦情受付件数	苦情解決結果										
			① 相談 助言	② 紹介 伝達	③ あつ せん	④ 通 知	⑤その他				⑥ 継 続 中	⑦ 意 見 ・ 要 望	
							I 改 善 申 入 れ	II 申 出 人 取 下 げ	III 事 情 調 査 不 可	IV I ・ II 以 外			
高齢者福祉	①職員の待遇	7	6								1		
	②サービスの質や量												
	③説明・情報提供												
	④利用料	5	4	1									
	⑤被害・損害	1	1										
	⑥権利侵害												
	⑦その他	1	1										
	小計	14	12	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
障害者福祉	①職員の待遇	32	24	1							7		
	②サービスの質や量	2	2										
	③説明・情報提供	1		1									
	④利用料												
	⑤被害・損害	3	2								1		
	⑥権利侵害	1	1										
	⑦その他	3	3										
	小計	42	32	2	0	0	0	0	0	0	8	0	0
児童福祉	①職員の待遇	1									1		
	②サービスの質や量												
	③説明・情報提供	1									1		
	④利用料												
	⑤被害・損害												
	⑥権利侵害												
	⑦その他	2	2										
	小計	4	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
その他	①職員の待遇	9	5	1							3		
	②サービスの質や量	1		1									
	③説明・情報提供												
	④利用料												
	⑤被害・損害												
	⑥権利侵害												
	⑦その他	2	2										
	小計	12	7	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0
合計	①職員の待遇	49	35	2	0	0	0	0	0	0	12	0	0
	②サービスの質や量	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③説明・情報提供	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	④利用料	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤被害・損害	4	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	⑥権利侵害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑦その他	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	72	53	5	0	0	0	0	0	0	14	0	0

平成 30 年度静岡県民間社会福祉施設運営費助成基金助成事業

区分	助成事業名	概 要		件数	助成額
1	社会福祉事業振興のための助成 *助成対象原則として、株式会社、有限会社等の営利法人を除く	(区分 1) 第三者評価受審によるサービスの質の向上に向けた取組	良質かつ安心・安全なサービス提供実現のために推進する事業に対して助成	19	(千円) 3,120
2-1		(区分 2-1) 地域との連携・協働推進事業	住民の福祉の理解の向上に向けた取組や、地域に視点をあてた事業展開に関する公益的な取組	19	1,866
3-1		(区分 3-1) 研修受講による資質向上に向けた取組	職場外研修を受講させることにより、職員の定着及び資質向上を図る取組に対して助成	9	213
3-2		(区分 3-2) ジョブコーチ養成促進事業	厚生労働大臣指定研修機関による第 1 号職場適応援助者養成研修を受講させることにより、職員の定着と利用者の就労支援を図る取組に対して助成	3	75
3-3		(区分 3-3) 法人間連携による福祉人材の確保及び資質向上に向けた取組	複数の事業所が合同研修を行い、事業所間連携による人材の育成・定着を図る事業に対して助成	9	1,438
4		(区分 4) 運営組織の強化に向けた取組	社会福祉法人の評議員を対象とし、運営組織の強化及び地域公益性の向上を目的とした研修会を実施し、評議員会の機能を高める取組に助成	0	0
5		(区分 5) 法人経営の適正化に向けた取組	外部の専門家の指導による法人経営の適正化に向けた取組に対して助成	3	343
6	(区分 6) 実践的な研究及び取組	社会福祉法人等において、施設運営や業務改善、地域福祉の向上等を目的とした先駆的な取組や研究に対して助成	12	3,831	
7	(区分 7) 福祉避難所設置促進事業	福祉避難所に指定された事業所において、自治会等との協定や訓練に対して助成	5	607	
8-1	市町社会福祉協議会への助成	(区分 8) 地域福祉の向上に向けた取組	当事者の支援のため、レスパイトケアや当事者同士の集まりを企画・実施する取組に対して助成	0	0
8-2		助成条件 地域の社会福祉事業者と連携・協働して事業を実施すること	地域の保健・医療・福祉に関するネットワーク構築を図り、それぞれが抱える課題の共通理解を深め、協働で地域の課題に対応する取組に対して助成	1	63
特	社会福祉事業振興のための助成	(特別助成) 継続的な実践研究事業	社会福祉法人等において、先駆的・研究事業であり、プレゼンテーションによってその成果・効果が他の模範となるようなすぐれた事業であると認められるものに助成	1	745
小 計				81	12,301
経	経営協への助成	各種別協への運営費、研修費助成			2,260
合 計					14,561

平成 30 年度福祉サービス第三者評価事業実施一覧

	経営主体	施設名	種別
1	(福) 福祉を共に考える会	つどいの家	生活介護
2	(福) 仁岳会	梅の実保育園	保育所
3	(福) 島田福祉の杜	あすか	特別養護老人ホーム
4	(福) 三宝会	ルンビニ第二保育園	保育所
5	(福) 輝望会	ビーンズ	生活介護
6	(福) 静岡福祉事業協会	千代田保育園	保育所
7	牧之原市	牧之原市菊川市学校組合立牧之原保育園	保育所
8	(福) 五和会	大津保育園	保育所
9	(福) 恵心会	小坂の郷	特別養護老人ホーム

平成30年度民間社会福祉団体運営費助成事業

(単位:円)

No.	団 体 名	団体決算額	補助決算額	補助事業の内容
		円	円	
1	(福)静岡県社会福祉協議会	1,475,992	810,000	運営に要する経費
2	(福)静岡県身体障害者福祉会	3,840,000	3,735,000	〃
3	静岡県民生委員児童委員協議会	1,494,608	560,000	〃
4	静岡県社会福祉法人経営者協議会	4,323,078	3,160,000	〃
5	静岡県保育連合会	1,424,449	610,000	〃
6	静岡県里親連合会	2,273,335	2,070,000	〃
7	静岡県知的障害者福祉協会	669,610	410,000	〃
8	静岡県保育士会	2,126,759	290,000	〃
9	静岡県肢体不自由児協会	269,174	130,000	〃
10	(一社)静岡県肢体不自由児者父母の会連合会	2,686,809	500,000	〃
11	(公社)静岡県母子寡婦福祉連合会	2,555,372	390,000	〃
12	静岡県筋ジストロフィー協会	454,834	360,000	〃
13	静岡県手をつなぐ育成会	11,407,884	7,400,000	〃
14	静岡県自閉症協会	384,830	250,000	〃
15	(一社)静岡県子ども会連合会	6,268,103	3,340,000	〃
16	静岡県聴覚障害者親の会	125,173	110,000	〃
17	(一財)静岡県老人クラブ連合会	12,844,956	4,380,000	〃
18	静岡県ホームヘルパー連絡協議会	1,059,260	540,000	〃
19	(N)静岡県作業所連合会・わ	817,532	410,000	〃
	計	56,501,758	29,455,000	

平成30年度民間社会福祉活動促進事業費助成事業(民間団体育成強化事業)

(単位:円)

団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額(円)
社会福祉法人 静岡県社会福 祉協議会	1	継	広報事業	7,298,365	847,000
	2	継	市町社会福祉協議会職員研修事業	791,946	428,000
	3	継	県社協団体助成(県遺族会研修会)	315,000	315,000
			計	8,405,311	1,590,000
社会福祉法人 静岡県身体障 害者 福祉会	1	継	身体障害者福祉事業推進費	1,600,000	1,600,000
	2	継	身体障害者相談活動事業費	1,250,000	1,000,000
	3	継	青壮年部女性部研修事業	1,000,000	600,000
	4	継	身体障害者機能回復促進事業	2,500,000	2,000,000
	5	継	身体障害者文化作品展開催事業	400,000	180,000
	6	継	視覚障害者地区別相談事業	188,000	150,000
	7	継	身体障害者自動車安全教室開催事業	313,000	250,000
	8	継	心臓障害者相談指導事業	180,000	100,000
	9	継	静岡県身体障害者福祉大会開催事業	500,000	200,000
				7,931,000	6,080,000
(静岡県視覚障 害者協会)	1	継	町づくり情報提供事業	620,000	620,000
	2	継	視覚障害者社会参加促進事業	1,080,000	1,080,000
	3	継	視覚障害者リーダー養成事業	250,000	150,000
	4	単	日盲連東海ブロック主幹開催事業グランドソ フトボール大会	750,000	300,000
				2,700,000	2,150,000
(静岡県聴覚障 害者協会)	1	継	聴覚障害者研修事業	400,000	228,000
	2	継	聴覚障害者スポーツ大会開催事業	1,053,000	828,000
	3	継	聴覚障害者健康増進事業	580,000	400,000
	4	継	聴力・言語障害者生活相談事業	400,000	320,000
				2,433,000	1,776,000
(静岡県車椅子 友の会)	1	継	車椅子常用者研修会	600,000	360,000
	2	継	障害者アート技術教室	800,000	640,000
				1,400,000	1,000,000
(4団体合計)			総合計	14,464,000	11,006,000
静岡県民生委 員児童委員協 議会	1	継	単位民児協会長研修事業	1,806,370	1,440,000
	2	継	主任児童委員研修事業	509,778	400,000
	3	継	相談技法に関する研修事業	628,381	500,000
			計	2,944,529	2,340,000
静岡県社会福 祉法人経営者 協議会	1	継	児童福祉施設球技大会開催事業	863,611	390,000
	2	継	施設利用者作品奨励事業	326,000	150,000
			計	1,189,611	540,000

静岡県保育連 合会	1	継	静岡県保育研究大会	1,473,274	300,000
	2	継	新規採用職員研修会	606,742	100,000
	3	継	新規採用予定職員研修会	3,573,807	1,175,000
	4	単	全国私立保育園連盟 関東ブロック保育園 研究大会	2,608,752	300,000
			計	8,262,575	1,875,000
静岡県里親連 合会	1	継	里親促進事業	865,881	670,000
	2	継	里親月間事業	525,649	500,000
	3	継	里親賠償責任保険事業	422,870	390,000
	4	継	里親研修事業	273,720	200,000
			計	2,088,120	1,760,000
静岡県知的障 害者福祉協会	1	継	職員研究集会等開催事業	2,113,942	800,000
	2	継	職員研修所開設事業	1,300,150	610,000
	3	継	口腔衛生指導等委託事業	375,000	300,000
			計	3,789,092	1,710,000
静岡県保育士 会	1	継	保育実務研修事業	320,036	100,000
	2	継	委託研究事業	2,536,258	355,000
	3	継	実践研修事業	711,758	500,000
	4	継	地域保育啓発事業	500,000	180,000
			計	4,068,052	1,135,000
静岡県肢体不 自由児協会	1	継	療育図書等刊行事業	541,660	250,000
	2	継	肢体不自由児療育相談事業	381,000	290,000
	3	継	肢体不自由児療育指導者講習会	853,103	300,000
			計	1,775,763	840,000
一般社団法人 静岡県肢体不 自由児者 父母の会連合 会	1	継	脳性マヒ児集団療育事業	2,229,289	1,210,000
	2	継	地域ケア育成指導事業	1,284,828	656,000
	3	継	肢体不自由児者集団療育事業	1,632,150	1,260,000
	4	継	ことばと心を育む集団療育事業	833,611	420,000
			計	5,979,878	3,546,000
社団法人静岡 県母子寡婦福 祉連合会	1	継	若年母子家庭研修会	655,736	390,000
	2	継	母子指導者研修会	612,532	478,000
	3	継	母子家庭支援研修会	224,324	132,000
	4	継	家庭生活支援員講習会	450,668	360,000
	5	継	母子父子家庭啓発事業	200,996	100,000
			計	2,144,256	1,460,000
静岡県筋ジスト ロフィー協会	1	継	集団検診・療育相談	404,766	320,000
	2	継	親子集団療育指導	1,385,172	1,100,000
			計	1,789,938	1,420,000

静岡県手をつなぐ育成会	1	継	知的障害者相談員等研修会事業	1,943,520	1,300,000
	2	継	心身障害児者地域活動促進事業	1,200,000	720,000
	3	継	重症心身障害児者療育指導事業	200,000	160,000
			計	3,343,520	2,180,000
静岡県自閉症協会	1	継	保護者・指導者研修会	390,092	300,000
	2	継	自閉症児者療育訓練	1,665,457	1,140,000
			計	2,055,549	1,440,000
静岡県子ども会連合会	1	継	育成研修事業	2,576,149	1,246,000
	2	継	モデル子ども会開催事業	450,007	225,000
	3	継	子ども会活動振興研究事業	602,572	270,000
	4	継	子ども会活動作文募集及び表彰事業	682,311	682,000
	5	継	児童館構成員研修事業	554,332	277,000
			計	4,865,371	2,700,000
静岡県聴覚障害者親の会	1	継	生活相談事業	414,412	331,000
	2	継	役員研修事業	375,709	300,000
	3	継	聴覚障害理解啓発事業	451,771	361,000
	4	継	盲ろう者社会参加理解啓発事業	300,000	240,000
			計	1,541,892	1,232,000
財団法人静岡県老人クラブ連合会	1	継	地域福祉人材養成事業	2,278,801	1,309,000
	2	継	活動推進相談員育成指導事業	1,799,718	1,071,000
	3	継	地域クラブ活性化推進事業	3,295,399	1,942,000
			計	7,373,918	4,322,000
静岡県ホームヘルパー連絡協議会	1	継	ホームヘルパー研修事業	1,107,283	880,000
	2	継	サービス提供責任者研修事業	1,071,410	855,000
			計	2,178,693	1,735,000
特定非営利活動法人静岡県作業所連合会・わ	1	継	事業所職員研修事業	1,661,792	840,000
			計	1,661,792	840,000
			総合計	79,921,860	43,671,000

平成30年度民間社会福祉活動促進事業費助成事業(地域福祉促進事業)

(単位:円)

団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額 (円)
社会福祉法人 静岡県社会福祉 協議会	1	継	市町村協地域福祉等支援事業	3,072,044	1,745,000
	2	継	地域包括ケア推進に関わる啓発事業	682,000	545,000
			計	3,754,044	2,290,000
社会福祉法人静岡 県身体障害者 福祉会	1	継	身体障害者スポーツ活動等健康増進事業	1,500,000	1,200,000
	2	継	身体障害者地域ふれあい奉仕活動事業	1,000,000	800,000
	3	継	身体障害者地域防災対策連携強化事業	1,250,000	1,000,000
	4	継	障害者自立支援福祉機器普及促進事業	1,800,000	1,800,000
			計	5,550,000	4,800,000
(静岡県視覚障害 者協会)	1	継	視覚障害者地域ふれあい促進事業	1,000,000	800,000
			計	1,000,000	800,000
(静岡県聴覚障害 者協会)	1	継	みみの日大会開催事業	1,100,000	600,000
	2	継	手話活動研究事業	840,000	640,000
	3	継	手話通訳者健康障害予防事業	1,450,000	1,450,000
			計	3,390,000	2,690,000
(4団体合計)			総合計	9,940,000	3,490,000
静岡県里親連合 会	1	継	里親専用サポート事業	764,702	600,000
	2	継	里親地区研修事業	519,129	400,000
			計	1,283,831	1,000,000
静岡県知的障害 者福祉協会	1	継	障害者体力増進事業	1,001,581	800,000
	2	継	障害者創作作品展示事業	1,670,050	1,060,000
			計	2,671,631	1,860,000
一般社団法人静岡 県肢体不自由 児者 父母の会連合会	1	継	肢体不自由児者ふれあい体験研修事業	1,688,454	1,200,000
	2	継	親と子の自立支援宿泊訓練事業	5,678,853	3,200,000
			計	7,367,307	4,400,000
社団法人静岡県 母子寡婦福祉 連合会	1	継	親と子の心身健全育成推進事業	1,500,618	1,500,000
	2	継	地域ふれあい事業	1,000,540	800,000
			計	2,501,158	2,300,000
静岡県筋ジストロ フィー協会	1	継	筋ジストロフィー介護者研修事業	2,106,819	1,680,000
	2	継	筋ジストロフィー相談窓口事業	1,005,882	800,000
	3	継	筋ジストロフィーアビリティ探索事業	404,071	320,000

			計	3,516,772	2,800,000
静岡県手をつなぐ 育成会	1	継	知的障害者職業自立啓発事業	950,566	700,000
	2	継	地域交流・自立促進事業	3,187,500	2,550,000
			計	4,138,066	3,250,000
静岡県自閉症協 会	1	継	自閉症児者野外ワークショップ	1,399,997	1,100,000
	2	継	支援者育成事業	3,142,292	2,500,000
			計	4,542,289	3,600,000
静岡県子ども会連 合会	1	継	チャレンジ冒険遊び事業	3,150,415	2,520,000
			計	3,150,415	2,520,000
財団法人静岡県 老人クラブ連合会	1	継	シニアスポーツ普及推進事業	1,628,932	1,050,000
	2	継	クラブ解散・休会等再興支援事業	1,496,229	1,050,000
			計	3,125,161	2,100,000
特定非営利活動 法人 静岡県作業所連 合会・わ	1	継	地域交流ふれあいスポーツ・レクリエーション	2,011,236	1,540,000
	2	継	障害者福祉普及強化事業	1,823,805	1,440,000
			計	3,835,041	2,980,000
総 合 計				49,825,715	37,390,000

平成 30 年度研修評価表

分野	番号	研修名	定員	申込者	受講者	実施日	日数	会場	対象	内容
組織力を高める	1	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース (中部1)	54	41	41	8/29 9/12,13	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	初任者(概ね入職後 1~2年程度の職員)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供者、チームの一員としての基本的習得 ・初任者が自らのキャリアデザインを描く
		" (中部2)	54	33	32	10/31 11/15,16	3	"		
		" (中部3)	54	25	22	1/23 2/12,13	3	"		
		" (東部)	54	20	20	11/29 12/17,18	3	三島商工会議所		
		" (西部)	54	29	29	1/9 1/30,31	3	浜松市福祉交流センター		
	2	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース(中部1)	54	43	42	5/28 6/11,12	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	中堅職員(概ね入職後 3~5年程度の職員)	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅職員としての役割を遂行するための基本的習得 ・中堅職員が自らのキャリアデザインを描く
		" (中部2)	54	37	32	1/29 2/19,20	3	"		
		" (東部)	54	20	17	10/29 11/12,13	3	三島商工会議所		
		" (西部)	54	30	28	9/27 10/10,11	3	浜松市福祉交流センター		
	3	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース (中部)	54	42	42	6/19 7/5,6	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル) 静岡県産業経済会館	チームリーダー (主任、係長等)	<ul style="list-style-type: none"> ・チームリーダーの役割を遂行するための基本的習得 ・チームリーダーが自らのキャリアデザインを描く
		" (東部)	54	28	28	8/27 9/10,11	3	三島商工会議所		
		" (西部)	54	32	32	5/9 5/24,25	3	浜松市福祉交流センター		
4	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース	54	28	28	9/5,6	2	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	管理者、施設長等	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職としての役割を遂行するための基本的習得 ・管理者等が自らのキャリアデザインを描く 	
5	介護・看護リーダーのための指導力向上講座	50	32	32	8/23 9/27 10/25 11/12	4	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	介護保険施設・事業所に勤務する、リーダークラスの方	介護保険施設等のリーダーに必要な指導力の習得	
6	相談員のための支援力アップ講座 (中級編)	70	63	61	8/8	1	静岡県男女共同参画センター あざれあ	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する相談員	生活相談員の役割と業務について正しい理解と更なる支援力アップのための知識、技術の習得	
7	福祉職場のチーム力向上講座	70	80	75	11/5	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	中堅職員に求められる組織人としての役割行動や、モチベーション向上のための知識、技能の習得	
8	職場研修のつくり方講座 ～人が育つ、組織が育つ研修を行う事業所になるために～	60	50	48	8/6	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	キャリアパスを用いた福祉職員の育成・指導の方法を、実例を基に考える	
9	研修活用コーディネーター養成プログラム	24	13	13	5/17,29 10/9 11/13 2/5	5	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	事業所内での初任者育成において、効果的・計画的に研修を活用、人材育成に取り組むコーディネーター(・スーパーバイザー)を養成する。①集合研修5日間+②別途選択した研修受講	
10	福祉施設の災害対策講座	60	56	54	3/13	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	自施設の災害過程を知り、その影響に備えるために必要な対策・施設内の研修内容を整理する	
11	コーチング研修	60	90	81	7/3	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	コーチングに対する意識を深め、部下の自発的意欲を引き出すための指導法を習得する	
12	会議を良くするファシリテーション講座 ～話し合いの進め方を学び、「自分事」の会議をしよう！～	60	62	60	10/15	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に従事する、主に中堅クラス以上の方	会議をより効果的かつ実りあるものにするための手法を、ファシリテーションの考え方を中心に学ぶ	

講師	(会員)受講料	満足度(%)				満足度(件数)					担当課
		満足	やや満足	やや不満足	不満	満足	やや満足	やや不満足	不満	無回答	
(福) 炉暖会 居宅介護支援事業所 炉暖の郷 主任介護支援専門員 土屋 博昭 氏 聖隷クリストファー大学 助教 落合 克能 氏 (福) 十字の園 御殿場十字の園 施設長 宮島 克利 氏		75.6%	24.4%	0.0%	0.0%	31	10	0	0	0	研 修 課
(福) 牧之原やまばと学園 障がい者支援施設 垂穂奈 施設長 大畑 彰弘 氏 (福) 天竜厚生会 総務課 森川 正志 氏 (福) 十字の園 御殿場十字の園 施設長 宮島 克利 氏		90.6%	6.3%	3.1%	0.0%	29	2	1	0	0	
(福) 天竜厚生会 総務課 森川 正志 氏 (福) 桂カリタス21 管理者・主任介護支援専門員 飯塚 哲男 氏 (福) 炉暖会 居宅介護支援事業所 炉暖の郷 主任介護支援専門員 土屋 博昭 氏	テキスト 代等	63.6%	22.7%	0.0%	0.0%	14	5	0	0	3	
(福) 炉暖会 居宅介護支援事業所 炉暖の郷 主任介護支援専門員 土屋 博昭 氏 (福) 誠信会 富士市吉原中部地域包括支援センター センター長 小林 拓 氏 (福) 十字の園 御殿場十字の園 施設長 宮島 克利 氏		90.0%	5.0%	0.0%	0.0%	18	1	0	0	1	
(特非) 静岡県障害者ケアマネジメント従事者ネットワーク 理事 増井 潤 氏 (福) 誠信会 富士市吉原中部地域包括支援センター センター長 小林 拓 氏 聖隷クリストファー大学 助教 落合 克能 氏		82.8%	10.3%	0.0%	0.0%	24	3	0	0	2	
(福) 天竜厚生会 総務課 森川 正志 氏 (特非) 静岡県障害者ケアマネジメント従事者ネットワーク 理事 増井 潤 氏 (福) 炉暖会 居宅介護支援事業所 炉暖の郷 主任介護支援専門員 土屋 博昭 氏		76.2%	14.3%	2.4%	0.0%	32	6	1	0	3	
(一社) 静岡県社会福祉士会 安藤 千晶 氏 (特非) 静岡県障害者ケアマネジメント従事者ネットワーク 理事 増井 潤 氏 磐田市介護相談員 民生委員児童委員 栗原 寛美 氏	テキスト 代等	69.0%	20.7%	6.9%	0.0%	20	6	2	0	1	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏 (特非) 静岡県障害者ケアマネジメント従事者ネットワーク 理事 増井 潤 氏 (福) 桂カリタス21 管理者・主任介護支援専門員 飯塚 哲男 氏		76.5%	17.6%	0.0%	0.0%	13	3	0	0	1	
(福) 桂カリタス21 管理者・主任介護支援専門員 飯塚 哲男 氏 (特非) 静岡県障害者ケアマネジメント従事者ネットワーク 理事 増井 潤 氏 磐田市介護相談員 民生委員児童委員 栗原 寛美 氏		92.9%	3.6%	0.0%	0.0%	26	1	0	0	1	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏 (福) 桂カリタス21 管理者・主任介護支援専門員 飯塚 哲男 氏 磐田市介護相談員 民生委員児童委員 栗原 寛美 氏		81.4%	11.6%	0.0%	0.0%	35	5	0	0	3	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏 (福) 桂カリタス21 管理者・主任介護支援専門員 飯塚 哲男 氏 磐田市介護相談員 民生委員児童委員 栗原 寛美 氏	テキスト 代等	75.0%	17.9%	0.0%	0.0%	21	5	0	0	2	
(特非) 静岡県障害者ケアマネジメント従事者ネットワーク 理事 増井 潤 氏 (福) 桂カリタス21 管理者・主任介護支援専門員 飯塚 哲男 氏 磐田市介護相談員 民生委員児童委員 栗原 寛美 氏		87.5%	6.3%	0.0%	0.0%	28	2	0	0	2	
(福) 和松会 和松園 園長 板倉 幸夫 氏 五味社会福祉士個人事務所 五味 保教 氏	テキスト 代等	76.9%	15.4%	0.0%	0.0%	20	4	0	0	2	
介護老人保健施設 星のしずく 看護部長 高口 光子 氏	34,000 (22,000) テキスト 代別途	65.6%	34.4%	0.0%	0.0%	21	11	0	0	0	
福祉と介護研究会35 代表 梅沢 佳裕 氏	6,000 (4,000)	55.0%	41.7%	3.3%	0.0%	33	25	2	0	0	
日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授 久田 則夫 氏	6,000 (4,000)	89.0%	11.0%	0.0%	0.0%	65	8	0	0	0	
日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授 久田 則夫 氏	6,000 (4,000)	89.1%	10.9%	0.0%	0.0%	41	5	0	0	0	
静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 准教授 鈴木 俊文 氏 ほか	28,000 (18,000) ※左記 ②は別 途	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	5	2	0	0	0	
静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 准教授 鈴木 俊文 氏 ほか	6,000 (4,000)	77.4%	18.9%	3.8%	0.0%	41	10	2	0	0	
コーチングアカデミー静岡校 校長 酒井 美保 氏	6,000 (4,000)	79.5%	16.7%	0.0%	0.0%	62	13	0	0	3	
特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 フェロー 鈴木 まり子 氏	6,000 (4,000)	88.3%	10.0%	1.7%	0.0%	53	6	1	0	0	

分野	番号	研修名	定員	申込者	受講者	実施日	日数	会場	対象	内容
組織力強化	13	市町社協 新任職員研修	60	69	69	5/23・24	2	レイアップ御幸町ビル	(市町社協) 当該年度採用職員及び未受講の方	社協職員として求められる意識や視点を学び、他市町の社協職員とのつながりを築く
	14	市町社協 トップセミナー	100	91	91	2/12	1	クーボール会館	(市町社協) 会長・役員・事務局長等	社協に求められている使命の共有と、今後の方向性を確認する。
運営・労務・人事	15	社会福祉法人経営セミナー【前期】 (県社会福祉法人経営者協議会)	150	140	137	7/12	1	静岡市商工会議所5階ホール	社会福祉法人の役職員	社会福祉法人制度改革の趣旨をあらためて再認識し、より実効性のあるものにしていくようフォローアップを行い、これからの法人経営に資することを目的とする
		社会福祉法人経営セミナー【後期】 (県社会福祉法人経営者協議会)	120	108	103	1/21	1	グランシップ	社会福祉法人の役職員	今後の社会福祉法人の経営に関する考え方や法人が具体的に取り組むべき方策について理解を深め、最新の福祉制度の動向について情報提供を行う
	16	社会福祉法人 経営セミナー (県社会福祉法人経営者協議会)	150	93	81	6/21	1	静岡音楽館AOI	社会福祉法人経営者協議会 会員法人	「理念を力に ～社会福祉法人経営者に必要なこと～」
	17	社会福祉法人 監事監査研修会	700	859	801	4/19 4/20	2	グランシップ	社会福祉法人の監事・役職員等	監事の役割や業務、会計監査のポイントを学ぶ
	18	社会福祉法人 運営管理研修会	150	155	140	12/3	1	もくせい会館富士ホール	社会福祉法人の役職員等	「社会福祉法人制度改革による、経営の透明性の確保とガバナンスの強化」「社会福祉法人の会計処理・決算における留意事項」
	20	社会福祉施設 人事・労務管理研修会	100	95	91	7/5	1	静岡音楽館AOI 7階講堂	社会福祉施設の役職員	福祉施設における人事労務管理に関する関連法の基礎知識と現場における労働トラブルやその対処法を学ぶ
	21	福祉・介護人材確保実践セミナー	150	77	66	12/10	1	グランシップ	福祉・介護事業所経営者等	・戦略的な採用と定着促進事例等の説明 ・事業所経営の改善の説明 等
	22	採用担当者研修会 (東部)	30	28	27	9/5	1	プラサ ヴェルデ	福祉・介護事業所の採用担当者	人材確保・育成の好循環の実現に向け、積極的な採用活動の展開について事例をとおして学ぶ
		” (中部)	30	40	26	9/4	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)		
		” (西部)	30	37	28	9/3	1	アクトシティ浜松 研修交流センター		
財務・経理	23	社会福祉法人 簿記入門講座	100	186	180	6/13	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	新人会計実務担当者	複式簿記の基本的な仕組や社会福祉法人の初歩的な仕訳例の理解
	24	社会福祉法人・施設事務職員 経理基礎講座	150	210	174	6/19、20	2	静岡労政会館	会計実務担当者 (簿記入門修了程度)	帳簿組織と財務諸表、仕訳の勘定科目、伝票起票に関する基本的知識の習得
	25	社会福祉法人・施設事務職員 経理応用講座	250	334	325	7/20 7/23 7/24	3	グランシップ	中堅会計実務担当者 (経理基礎修了程度)	各種仕訳や、各種会計上の決まり等、社会福祉法人会計の実践的知識の習得
	26	社会福祉法人 予算管理基礎講座	200	243	240	9/14	1	静岡労政会館	新任予算管理担当者等	予算管理制度の基礎知識、予算積算方法、流用、補正等について学ぶ。新会計基準の適用に伴い27年度、28年度に実施した講座内容はそのままに、対象を新任担当者中心に絞り、継続
	27	社会福祉法人・施設事務職員 会計実務専門講座	150	229	229	10/15	1	静岡労政会館	会計実務担当者	毎年、特定テーマをタイムリーにとりあげる。今年度は、リース会計をテーマとする。
	28	社会福祉法人・施設職員 税務実務講座 (消費税)	150	148	146	11/5	1	グランシップ	会計実務担当者	経理実務に必要な、消費税を除く、所得税等各種税に関する知識の習得
	29	社会福祉法人 財務管理講座 (経営分析)	250	265	241	12/10	1	グランシップ	社会福祉法人の役職員	法人経営に必要な、財務管理の基礎的知識の習得。今年度は、中長期的な観点から適正な資金収支差額を確保するための予算管理を取り上げる。

講師	(会員) 受講料	満足度(%)				満足度(件数)					担当課
		満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
(福)静岡県社会福祉協議会地域福祉課職員 小山町社会福祉協議会 事務局長 原 秀人 氏 ほか	無料	76.8%	13.0%	1.4%	0.0%	53	9	1	0	6	地域福祉課
講師 駒澤大学文学部社会学科 准教授 川上 富雄 氏 実践報告①池田 水穂子 氏(静岡市清水地区担当集落支援員・里山くらしLLABO 代表) 実践報告②堀込 岳満 氏(北海道江別市社会福祉協議会くらしサポートセンター えべつ 主任相談支援員)	無料	36.3%	35.2%	2.2%	0.0%	33	32	2	0	24	
全国社会福祉法人経営者協議会地域共生社会推進委員会委員長 浦野正男 氏 全国社会福祉協議会法人振興部 部長 金谷内 徹 氏 社会福祉法人天竜厚生会地域福祉事業部主任ソーシャルワーカー 大杉友祐 氏 静岡県社会福祉協議会生活支援部長代理 松田智 静岡県災害福祉広域支援ネットワーク事務局(松浦)	無料	22.5%	76.1%	1.4%	0.0%	16	54	1	0	0	
全国経営協制度・政策委員会専門委員 梅野 高明 氏 全国経営協総務委員会災害支援特命チーム 島田 幸治 氏 全国社会福祉協議会法人振興部部長 金繁 健太 氏	無料	10.4%	83.3%	6.3%	0.0%	5	40	3	0	0	経営支援課
田村 潤 氏 100年プランニング代表/元キリンビール株式会社代表取締役副社長	無料	73.5%	26.5%	0.0%	0.0%	25	9	0	0	0	
公認会計士・税理士 杉山 明喜雄 氏 静岡県福祉指導課職員	5,000 (3,000)	52.8%	42.7%	3.3%	0.4%	130	105	8	1	2	
あおぞら経営税理士法人 代表社員 中村 厚 氏	5,000 (3,000)	58.4%	41.6%	0.0%	0.0%	59	42	0	0	0	
ふくしえん社労士事務所 代表 後藤 功太 氏	6,000 (4,000)	51.4%	39.2%	5.4%	1.4%	38	29	4	1	2	
・講演会:(福)藤花会 大城 憲一郎 氏 (法人業務執行理事兼特別養護老人ホームせとうち施設長) ・対談:(福)藤花会 大城 憲一郎 氏(同) らしさ研究所 門野 友彦 氏(代表) ・総括講演:らしさ研究所 門野 友彦 氏(同)	無料	43.9%	28.8%	0.0%	0.0%	29	19	0	0	18	人材課
(福)藤花会 大城 憲一郎 氏 (法人業務執行理事兼特別養護老人ホームせとうち施設長)	無料	63.0%	29.6%	0.0%	0.0%	17	8	0	0	2	
	無料	80.8%	15.4%	3.8%	0.0%	21	4	1	0	0	
公認会計士・税理士 杉山 明喜雄 氏	5,000 (3,000)	71.5%	25.3%	2.5%	0.6%	113	40	4	1	0	経営支援課
公認会計士・税理士 杉山 明喜雄 氏	10,000 (6,000)	55.6%	37.1%	6.6%	0.0%	84	56	10	0	1	
公認会計士・税理士 杉山 明喜雄 氏	10,000 (6,000)	57.5%	38.1%	1.5%	0.0%	77	51	2	0	4	
公認会計士・税理士 杉山 明喜雄 氏	5,000 (3,000)	65.3%	32.6%	2.1%	0.0%	94	47	3	0	0	
公認会計士・税理士 杉山 明喜雄 氏	5,000 (3,000)	67.7%	29.3%	2.0%	0.0%	67	29	2	0	1	
公認会計士・税理士 杉山 明喜雄 氏	5,000 (3,000)	52.4%	44.4%	1.6%	0.0%	33	28	1	0	1	
公認会計士・税理士 杉山 明喜雄 氏	5,000 (3,000)	49.0%	42.0%	8.4%	0.7%	70	60	12	1	0	

分野	番号	研修名	定員	申込者	受講者	実施日	日数	会場	対象	内容	
組織力を高める	財務・経理	118	社会福祉法人 消費増税対応講座	200	173	157	1/31	1	商工会議所	社会福祉法人の理事長、施設長、事務長等	消費増税への対応について
		30	社会福祉法人 決算実務講座	300	407	384	2/19 2/20	2	グランシップ	社会福祉法人の会計実務担当者等	各種決算整理事項や財務諸表の作成等に必要知識の習得
		31	市町社協 会計実務研修会	50	46	46	7/17	1	静岡県男女共同参画センターあざれあ	会計実務担当者	社協における会計実務処理等
		32	市町社協 決算実務研修会	50	51	51	2/13	1	静岡市産学交流センター	総務・会計担当者	会計実務処理等
組織力を高める 小計			4,776	4,938	4,650						
専門技術力を身に付ける	利用者の日常支援	33	介護技術講座(基礎編)	48	48	45	6/7,8	2	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	体の仕組みと動きを理解し、ボディメカニクスを活用した基本的介護技術を習得
		34	介護技術講座(実践編)	48	48	47	7/11,12	2	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	生活場面に即した実践的介護技術の習得
		35	口腔のケア ～利用者のQOL維持と向上のために～	60	61	59	11/19	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	高齢者や障害のある方への口腔のケアに必要な知識・技術の習得
		36	介護職が知っておきたい高齢者の褥瘡・皮膚ケア講座	70	100	100	7/20	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	高齢者の皮膚障害の早期発見と褥瘡予防のために、皮膚の観察・ケアについて基礎的方法を学ぶ
		37	お年寄りの安眠の法則 ～不眠予防と対処法～	80	50	49	7/19	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	高齢者の睡眠について理解し、睡眠障害等に対する正しい対応について学ぶ
		38	おむつを外すための排泄ケア講座 ～排泄自立の理論と実践から科学的介護を考える～	70	47	45	9/7	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	介護職に必要な排泄ケアの基礎知識の習得
		39	快適なおむつの使い方講座	60	35	34	11/30(午後)	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	介護現場における紙おむつ装着に関する知識や技術の習得
		40	車いすメンテナンスセミナー	60	47	44	11/30(午前)	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	車いすを利用する方が快適に過ごせるよう車いすの調整とメンテナンスを学ぶ
		41	フットケア講座	60	53	48	10/3	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	高齢者への支援方法としてフットケアの知識・技術の習得
		42	感染症講座(初級編)	100	94	92	5/23	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	社会福祉施設や介護保険事業所において、主に高齢者や障害のある方を支援する職員に必要な、感染症の基礎知識と予防方法の習得
		43	感染症講座(中級編)	100	82	77	10/30	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	「初級編」を受講した方、または感染症の「標準予防策」について基礎知識がある方	社会福祉施設や介護保険事業所において、主に高齢者や障害のある方を支援する職員に必要な、感染症の実践的知識と予防方法の習得
		44	感染症講座(児童編)	60	49	48	8/10	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	保育所等、児童福祉施設に勤務する方	児童に特有な感染症を中心として、基礎知識と予防方法、及び家庭や医療機関との連携等について学ぶ。
		45	介護職のための薬の基礎知識	100	89	85	9/20	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	介護職に必要な薬の基礎知識の習得
		46	急変を見逃さないための救急講座	70	112	108	6/20	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	利用者の容体の変化を見逃さずに対応するために必要な知識の習得
47	ターミナルケア入門講座	100	80	78	9/3	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	ターミナルケアの実際を理解し、終末期の対応や、家族へのケア方法を学ぶ		

講 師	(会員) 受講料	満足度(%)				満足度(件数)					担当 課	
		満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答		
公認会計士・税理士 杉山 明喜雄 氏	5,000 (3,001)	66.3%	30.2%	2.3%	0.0%	57	26	2	0	1	経営 支援課	
公認会計士・税理士 杉山 明喜雄 氏	10,000 (6,000)	55.2%	42.1%	2.1%	0.7%	80	61	3	1	0		
(株)ビジネスパートナー 代表取締役 杉山 明喜雄 氏 (本会 経営指導員)	無料	34.8%	54.3%	2.2%	0.0%	16	25	1	0	4		地域 福祉課
(株)ビジネスパートナー 代表取締役 杉山 明喜雄 氏 (本会 経営指導員)	無料	52.9%	23.5%	0.0%	0.0%	27	12	0	0	12		
		62.0%	31.9%	2.4%	0.2%	1,796	926	70	5	102		
静岡県介護福祉士会 飯田 泰子 氏 小長谷 伊津子 氏、山梨 幸子 氏、斉藤 升美 氏	18,000 (12,000)	83.7%	14.0%	2.3%	0.0%	36	6	1	0	0	研 修 課	
静岡県介護福祉士会 飯田 泰子 氏 小長谷 伊津子 氏、山梨 幸子 氏、斉藤 升美 氏	18,000 (12,000)	73.3%	17.8%	4.4%	0.0%	33	8	2	0	2		
デンタルサポート監 代表 認定歯科衛生士(老年) 小宮山 ひろみ 氏 さくらばし歯科医院 認定歯科衛生士・在宅療養指導(口腔機能管理) 佐藤 美紀 氏	6,000 (4,000)	70.7%	25.9%	1.7%	0.0%	41	15	1	0	1		
静岡済生会総合病院 皮膚排泄ケア認定看護師 河合 幸 氏	6,000 (4,000)	49.0%	38.0%	3.0%	0.0%	49	38	3	0	10		
ユークローニア株式会社 代表 菅原 洋平 氏 (作業療法士)	6,000 (4,000)	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	45	3	0	0	0		
順天堂大学 保健看護学部 准教授 藤尾 祐子 氏	6,000 (4,000)	77.8%	17.8%	4.4%	0.0%	35	8	2	0	0		
花王プロフェッショナル・サービス株式会社 中部支社 メディカルサポートグループ マネジャー 西村 恵 氏	5,000 (3,000)	82.4%	17.6%	0.0%	0.0%	28	6	0	0	0		
井出商会 代表 井出 容敬 氏	5,000 (3,000)	61.4%	34.1%	2.3%	0.0%	27	15	1	0	1		
(合)SANUA 湯河原接骨院グループ 代表 青柳 博 氏	6,000 (4,000)	91.5%	8.5%	0.0%	0.0%	43	4	0	0	0		
静岡済生会総合病院 感染対策室 看護師長 感染症管理認定看護師 杉村 きよ美 氏	5,000 (3,000)	66.3%	26.1%	2.2%	0.0%	61	24	2	0	5		
静岡済生会総合病院 看護部 ICU副主任 感染症管理認定看護師 鈴木 のぞみ 氏	5,000 (3,000)	56.8%	32.4%	2.7%	0.0%	42	24	2	0	6		
静岡済生会総合病院 感染対策室 看護師長 感染症管理認定看護師 杉村 きよ美 氏	5,000 (3,000)	86.7%	11.1%	2.2%	0.0%	39	5	1	0	0		
薬局 ルンルンファーマシー 代表取締役 藤澤 節子 氏	5,000 (3,000) テキスト 代別途	67.6%	24.3%	1.4%	0.0%	50	18	1	0	5		
日本赤十字社静岡赤十字病院 救急看護認定看護師 池田 朋美 氏	6,000 (4,000)	49.5%	39.6%	5.9%	1.0%	50	40	6	1	4		
NPO法人メイアイヘルプユー理事 保健師 鳥海 房枝 氏	5,000 (3,000)	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	70	7	0	0	0		

分野	番号	研修名	定員	申込者	受講者	実施日	日数	会場	対象	内容
利用者の日常支援	48	精神疾患の理解 ～基礎知識を学ぶ～	90	92	82	10/2	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	精神疾患、うつ、統合失調症などの知識を習得するとともに、症状に応じた支援方法の基礎を学ぶ
	49	楽しく笑顔になれるレクリエーション	70	80	68	10/16	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	高齢者のためのレクリエーションの知識と技術の習得
	50	心とからだに安らぎを与える“手当て” セラピューティック・ケア	70	43	42	10/26	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	「触れること」の効果を再確認し、介護等における活用方法を学ぶ
	51	快適なシーティング講座	60	60	58	11/6	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	生活場面における正しい座り方の技術や拘縮予防の方法などを学ぶ
	52	生活場面から見る 利用者の身体観察のポイント講座	100	104	96	10/19	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	高齢者の健康を守るため、体調の変化、疾患の悪化などの「観察力」を高める
	53	認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー	120	108	104	6/5	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	・認知症高齢者に対する介護の見方、考え方 ・認知症高齢者への対応
	54	認知症の人のためのレクリエーション	60	81	79	5/31	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	認知症の方のためのレクリエーションの知識と技術の習得
	55	認知症のBPSDを考えるセミナー	120	119	105	9/25	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	認知症の方の行動や心理症状を理解し、利用者へのより良い関わり方について考える
	57	【新規】 現役OT安藤祐介の 認知症の方に心地よい介護技術講座	50	116	55	9/26	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	お金や時間や人手を掛けずに取り組める認知症の方への心地よい「関わり方」「動きの手伝い方」の工夫を学ぶ
		” (追加開催)	50	71	62	3/8	1	”		
専門技術力を身に付ける 認知症ケア	58	認知症介護基礎研修 (西部)	80	65	64	2/22	1	浜松市福祉交流センター	認知症介護に携わる方	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政)
		” (中部)	80	80	78	2/28	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)		
		” (東部)	80	80	76	3/4	1	三島商工会議所		
	59	認知症介護実践者研修 (浜松)	80	78	77	6/13,14 6/28,29 7/9 8/22	6	浜松市福祉交流センター	介護保険施設、事業所等の経験年数が2年以上の方	認知症の原因疾患や容態に応じ、本人やその家族のQOL向上を図る対応や技術を修得(全6日+実習)
		” (三島)	80		72	6/6,7 6/20,21 7/4 8/23	6	三島商工会議所		
		” (静岡)	80		73	7/5,6 7/23,24 8/7 9/19	6	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)		
		” (富士)	80		78	7/12,13 8/2,3 8/16 9/25	6	ふじさんめっせ		
		” (掛川)	80		77	7/20,21 7/31 8/1,17 9/28	6	掛川市生涯学習センター		
	60	認知症介護実践研修 (実践リーダー研修)	40	41	37	10/24 11/6,7 11/19,20 12/6,7 12/19,20 1/25	10	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	高齢者介護実務経験5年以上で、認知症介護実践研修修了者	ケアチームにおける指導的立場としてチーム員の知識・技術・態度を指導する能力及びチームリーダーとしてのチームマネジメント能力を修得(全10日+実習)

講師	(会員) 受講料	満足度(%)				満足度(件数)					担当課
		満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
公益財団法人復康会 沼津中央病院 医療相談課長 澤野 文彦 氏 (静岡県精神保健福祉士協会 会長)	6,000 (4,000)	78.0%	19.5%	0.0%	0.0%	64	16	0	0	2	研 修 課
"レクリエーションの良さを活かした"居場所づくり研究所 代表 田井中 正志 氏	6,000 (4,000)	76.1%	22.4%	1.5%	0.0%	51	15	1	0	0	
認定NPO法人 日本セラピューティック・ケア協会 講師 柴田 郁代 氏	6,000 (4,000)	83.3%	14.3%	2.4%	0.0%	35	6	1	0	0	
(有)でく工房 取締役会長 光野 有次 氏	6,000 (4,000)	59.3%	29.6%	3.7%	0.0%	32	16	2	0	4	
(有)ファイアローズ 取締役 岩下 由加里 氏 (看護師、介護福祉士、介護支援専門員)	6,000 (4,000) テキスト 代別途	65.3%	28.4%	0.0%	1.1%	62	27	0	1	5	
介護老人保健施設 星のしずく 看護部長 高口 光子 氏	5,000 (3,000)	95.1%	3.9%	0.0%	0.0%	97	4	0	0	1	
医療法人中村会 老健あさひな 認知症介護レクリエーション実践研究会 尾渡 順子 氏	6,000 (4,000)	76.6%	19.5%	0.0%	0.0%	59	15	0	0	3	
生活とリハビリ研究所 代表 三好 春樹 氏	5,000 (3,000)	85.4%	9.7%	2.9%	0.0%	88	10	3	0	2	
介護老人保健施設ケアセンターゆうゆう 認知症フロア専属 作業療法士 安藤 祐介 氏	6,000 (4,000)	87.3%	12.7%	0.0%	0.0%	48	7	0	0	0	
		90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	54	6	0	0	0	
静岡県認知症介護指導者の会 ほか	テキスト 代等	89.1%	9.4%	0.0%	0.0%	57	6	0	0	1	
		88.3%	7.8%	0.0%	0.0%	68	6	0	0	3	
		94.7%	3.9%	0.0%	0.0%	72	3	0	0	1	
静岡県認知症介護指導者の会 ほか	43,000	80.3%	18.3%	1.4%	0.0%	57	13	1	0	0	
		88.6%	10.0%	1.4%	0.0%	62	7	1	0	0	
		75.4%	14.5%	1.4%	0.0%	52	10	1	0	6	
		81.6%	13.2%	0.0%	0.0%	62	10	0	0	4	
		72.4%	21.1%	2.6%	0.0%	55	16	2	0	3	
静岡県認知症介護指導者の会 ほか	80,000	54.0%	46.0%	0.0%	0.0%	27	23	0	0	0	

分野	番号	研修名	定員	申込者	受講者	実施日	日数	会場	対象	内容	
認知症ケア	61	認知症対応型サービス事業 管理者研修 (西部)	70	72	72	12/25 12/26	2	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	認知症対応型通所介護事業 所・小規模多機能型居宅介護 事業所・看護小規模多機能型 居宅介護事業所・認知症高齢 者共同生活介護事業所の管 理者であって認知症介護実践 者研修修了者	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政)	
		" (中部)	70	42	42	1/10 1/11	2	浜松市福祉交流センター			
		" (東部)	70	44	44	1/17 1/18	2	三島商工会議所			
	62	小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修 (中部)	35	38	38	2/5 2/6	2	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	小規模多機能型居宅介護事 業所・看護小規模多機能型居 宅介護事業所の計画作成担 当者であって認知症介護実践 者研修修了者	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政)	
		" (西部)	35	18	18	2/14 2/15	2	浜松市福祉交流センター			
	63	認知症対応型サービス事業開設者研修	50	26	26	10/17	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	小規模多機能型居宅介護事 業所・看護小規模多機能型居 宅介護事業所・認知症高齢者 共同生活介護事業所の代表 者	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政)	
	リスク防止	64	【新規】 介護記録の書き方・活かし方講座	60	61	56	9/5	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	施設・事業所(特養・老健等)における介護職 に必要な介護記録の書き方の基礎的知識の 習得
		65	高齢者施設の リスクマネジメント講座	100	119	113	5/10	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	高齢者施設・事業所の危機管理・安全管理に 必要な基礎的知識・技術の習得
		66	子どもがいる現場のリスクマネジメント講座	60	43	40	3/1	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	保育所・児童福祉施設等に勤 務する方	子どもがいる現場での危機管理・安全管理に 必要な知識・技術の習得
		67	福祉職員のための ヒヤリハット・アクシデントセミナー	60	94	68	11/22	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	福祉サービスの特性をふまえたリスクマネジ メントの基本的な視点と、ヒヤリハット・アクシ デントの学習による利用者の事故発生防止の防 止を学ぶ
		68	高齢者の転倒予防講座	70	66	63	1/22	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	高齢者の転倒予防について、必要な知識・技 能の習得
		69	介護現場における 高齢者虐待の予防と対応	60	86	82	12/4	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	老人福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	高齢者への虐待や不適切なケアを防ぐため の考え方や手法の習得
		70	福祉サービス苦情解決研修会 (西部・中部・東部×各1回)	180	196	190	8/7 8/8 8/30	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル) ブラサヴェルデ アクティビティ浜松	第三者委員会・苦情解決責任 者・苦情受付担当者等	苦情解決に求められる姿勢と苦情解決のあり 方についての講義とグループ演習
	職業別	71	安心しておいしく “口から食べる”ための食支援 ～食べる喜びを支えるアプローチ～	70	55	54	2/26	1	静岡県総合研修所 もくせい 会館	社会福祉施設・介護保険事業 所に勤務する方(栄養士、調理 員優先)	社会福祉施設等における「食」についての必 要な知識・理論の習得
72		看護職員研修	70	42	42	3/5	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設等に勤務する看 護職員	社会福祉施設等に勤務する看護職員に必要 な知識・技術の習得	
73		ホームヘルパー全体研修会 (県ホームヘルパー連絡協議会)	100	41	41	6/15	1	静岡県男女共同参画センター あざれあ	ヘルパー協会員	・行政説明「地域包括ケアシステム」 ・介護人材確保のための取組と組織づくりを 学ぶ	
74		ホームヘルパー一般研修 ① (県ホームヘルパー連絡協議会)	50	52	50	9/12	1	静岡労働会館	現場のヘルパー等	訪問介護における緊急時の対応を学ぶ	
	ホームヘルパー一般研修 ② (県ホームヘルパー連絡協議会)	50	27	34	11/22	1	静岡労働会館	現場のヘルパー等	訪問介護における高齢者特有の疾患と看 取りについて学ぶ		
	ホームヘルパー一般研修 ③ (県ホームヘルパー連絡協議会)	50	25	25	12/11	1	静岡県男女共同参画センター あざれあ	現場のヘルパー等	リハビリケアについて学び、リハビリ職と連携 した支援方法を習得する		
	ホームヘルパー一般研修 ④ (県ホームヘルパー連絡協議会)	50	28	24	2/12	1	静岡県男女共同参画センター あざれあ	現場のヘルパー等	精神疾患について学び、障害特性の基礎知 識と対応方法を習得する		

講師	(会員) 受講料	満足度(%)				満足度(件数)					担当課
		満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
静岡県認知症介護指導者の会 ほか	4,500	74.6%	19.7%	1.4%	0.0%	53	14	1	0	3	研修課
		76.3%	21.1%	0.0%	0.0%	29	8	0	0	1	
		87.0%	13.0%	0.0%	0.0%	40	6	0	0	0	
小規模多機能型居宅介護事業所 まほろば 施設長 秋山 幸枝 氏 静岡県認知症介護指導者の会 杉森 幸恵 氏、小野 祐 氏 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 事務局長 山越 孝浩 氏	6,000	76.3%	21.1%	0.0%	0.0%	29	8	0	0	1	
		61.1%	33.3%	0.0%	0.0%	11	6	0	0	1	
静岡県認知症介護指導者の会 ほか	5,000	76.0%	12.0%	0.0%	4.0%	19	3	0	1	2	
福祉と介護研究会35 代表 梅沢 佳裕 氏	6,000 (4,000)	61.0%	29.3%	4.9%	2.4%	25	12	2	1	1	
株式会社安全な介護 代表取締役 山田 滋 氏	6,000 (4,000)	78.8%	19.2%	0.0%	0.0%	82	20	0	0	2	
東京成徳短期大学 幼児教育科 准教授 田中 浩二 氏	6,000 (4,000)	72.5%	25.0%	2.5%	0.0%	29	10	1	0	0	
聖隷クリストファー大学 教授 川村 佐和子 氏 東京都医学総合研究所 難病ケア看護プロジェクト 主席研究員 原口 道子 氏	6,000 (4,000)	42.4%	53.0%	3.0%	1.5%	28	35	2	1	0	
静岡リハビリテーション病院 考査役 作業療法士 熊谷 範夫 氏	6,000 (4,000)	63.5%	33.3%	1.6%	0.0%	40	21	1	0	1	
川村社会福祉士事務所 川村 孝俊 氏	6,000 (4,000)	60.8%	31.6%	2.5%	0.0%	48	25	2	0	4	
淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授 山下 興一郎 氏	5,000 (3,000)	51.4%	45.7%	0.0%	0.0%	90	80	0	0	5	運営 委員会 正化
地域栄養ケアPEACH厚木 代表 摂食・嚥下アドバイザー 江頭 文江 氏	6,000 (4,000)	88.7%	11.3%	0.0%	0.0%	47	6	0	0	0	研修課
ナーシングホーム気の里 施設長 田中 靖代 氏	6,000 (4,000)	75.0%	22.5%	0.0%	0.0%	30	9	0	0	1	研修課
・静岡県健康福祉部長寿政策課 ・絆ねこの手 代表取締役 伊藤 亜記 氏	無料	91.4%	8.6%	0.0%	0.0%	32	3	0	0	0	経営 支援課
静岡県看護協会 訪問看護ステーション掛川 訪問看護 認定看護師 村松 幸代 氏	5,000 (2,000)	61.2%	36.7%	0.0%	0.0%	30	18	0	0	1	
静岡県看護協会 訪問看護ステーション掛川 所長 赤堀 奈緒子 氏	5,000 (2,000)	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	27	3	0	0	0	
(株)デイベンロイ ケアル訪問看護リハビリステーション事業部長/ 作業療法士 ビリ 睦 氏	5,000 (2,000)	48.0%	40.0%	12.0%	0.0%	12	10	3	0	0	
沼津中央病院 医療相談課長 精神保健福祉士 澤野 文彦 氏	5,000 (2,000)	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%	19	2	0	0	0	

分野	番号	研修名	定員	申込者	受講者	実施日	日数	会場	対象	内容
職業別 専門技術力を身につける	75	ホームヘルパー地区別研修 (県ホームヘルパー連絡協議会)	100	46	40	7/2、7/24	2	アクトシティ浜松 研修交流センター プラサ ヴェルデ	現場のヘルパー等	困難事例への対応方法やケアマネジャーとの連携の仕方を学ぶ
	76	サービス提供責任者研修① (県ホームヘルパー連絡協議会)	50	46	46	8/20	1	静岡県男女共同参画センターあざれあ	ヘルパー協会等 (サービス提供責任者、中堅ヘルパー等)	自立(自律)支援のための訪問介護計画書の作成方法とサービス提供責任者の心構えを学ぶ
		サービス提供責任者研修② (県ホームヘルパー連絡協議会)	50	41	40	10/5	1	静岡県男女共同参画センターあざれあ	ヘルパー協会等 (サービス提供責任者、中堅ヘルパー等)	事業所のエリアで考えられる発災に備え、災害時のマニュアルの整え方を学ぶ
		サービス提供責任者研修③ (県ホームヘルパー連絡協議会)	50	67	63	11/14	1	静岡県男女共同参画センターあざれあ	ヘルパー協会等 (サービス提供責任者、中堅ヘルパー等)	訪問介護のグレーゾーン対応について学び、専門職としての訪問介護の在り方を考える
		サービス提供責任者研修④ (県ホームヘルパー連絡協議会)	50	37	33	1/9	1	静岡県男女共同参画センターあざれあ	ヘルパー協会等 (サービス提供責任者、中堅ヘルパー等)	認知症に対する理解を深め、対応のポイントを学ぶ
	77	肢体不自由児療育指導者講習①-1 (県肢体不自由児協会)	30	27	23	7/6	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	肢体不自由児の総論(入門講座)
		" ①-2	30	25	22	7/7	1	静岡医療福祉センター		訓練の基本(実技を含む)
	78	肢体不自由児療育指導者講習②-1 (県肢体不自由児協会)	30	30	28	7/27	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	脳性麻痺の概論
		" ②-2	30	27	26	7/28	1	静岡医療福祉センター		脳性麻痺の訓練入門(実技を含む)
	79	肢体不自由児療育指導者講習③-1 (県肢体不自由児協会)	30	29	28	8/24	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	脳性麻痺の日常生活活動
		" ③-2	30	29	27	8/25	1	静岡医療福祉センター		脳性麻痺の訓練入門(実技を含む)
	80	肢体不自由児療育指導者講習④-1 (県肢体不自由児協会)	40	35	35	9/28	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	成人脳性麻痺の問題
		" ④-2	40	35	33	9/29	1	静岡医療福祉センター		脳性麻痺の訓練入門(実技を含む)
	81	CW研修 【地域アセスメント編 in 吉川団地】	20	18	18	9/28	1	吉川団地自治会	市町社協職員、生活支援コーディネーター等	「地域アセスメント」の知識、手法を学び、今後の社協活動に活かしていきます
	82	ボランティアコーディネーター養成研修	50	37	37	10/3	1	静岡県産学交流センター	市町社協職員、各施設ボランティア受け入れ担当者、NPO及びボランティア団体関係者、ボランティアコーディネーター等	ボランティアコーディネーターとして必要な知識と技術の習得を図る
	83	生活支援コーディネーター養成研修	100	61	60	第1回 8月8、9日 第2回 9月18、19日	4	第1回 レイアップ御幸町ビル 第2回 プラサヴェルデ	生活支援コーディネーターとその候補者	①改正介護保険制度の概要 ②生活支援コーディネーターと協議体に期待される機能と役割 ③高齢者に係る地域アセスメントの手法 ④助け合い活動ゲーム/目指す地域像 ⑤生活支援コーディネーターの取組と地域における生活支援サービスの事例紹介 ⑥足りない助け合い活動の把握 ⑦生活支援コーディネーターに必要なファシリテーションスキル
84	市町社協 監事研修	50	40	48	4/16	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	市町社協監事	監事の業務・責務、監事監査について	
85	市町社協 新任事務局長研修	5	6	6	4/20	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	市町社協新任事務局長	社協組織の特性、基本理念、法的な位置付け(設立経過)等	
86	市町社協災害対応研修会	50	34	31	3/1	1	静岡県男女共同参画センターあざれあ	市町社協職員	社協の災害対応力向上に向けた講義等	

講師	(会員) 受講料	満足度(%)				満足度(件数)					担当課
		満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
神奈川県介護支援専門員協会 副理事長 主任介護支援専門員 松川 竜也 氏	4,000 (2,000)	72.5%	27.5%	0.0%	0.0%	29	11	0	0	0	経営支援課
全国ホームヘルパー協議会副会長、 金沢春日ケアセンターヘルパーステーション管理者 鍋谷 晴子 氏	5,000 (2,000)	72.1%	20.9%	7.0%	0.0%	31	9	3	0	0	
(一財)鳥野財団 代表理事/びわこ学院大学 教授 鳥野 猛 氏	5,000 (2,000)	94.6%	5.4%	0.0%	0.0%	35	2	0	0	0	
NPO法人茨城県ケアマネジャー協会 副会長 株式会社ケアファクトリー代表取締役 能本 守康氏	5,000 (2,000)	66.1%	27.1%	6.8%	0.0%	39	16	4	0	0	
順天堂大学 保健看護学部 在宅看護 准教授 藤尾 祐子 氏	5,000 (2,000)	84.8%	15.2%	0.0%	0.0%	28	5	0	0	0	
県立こども病院 滝川 一晴 氏 県立中央特別支援学校 渡邊 浩喜 氏 静岡大学 香野 毅 氏	4,000	69.6%	21.7%	0.0%	0.0%	16	5	0	0	2	
静岡医療福祉センター 森山 明夫 氏、望月 祐介 氏 山内 一之 氏、橋本 尚幸 氏	4,000	59.1%	27.3%	4.5%	0.0%	13	6	1	0	2	
静岡医療福祉センター 望月 達夫 氏 つばさ静岡 山倉 慎二 氏 静岡てんかん神経医療センター 重松 秀夫 氏 井出商会 井出 容敬 氏	4,000	64.3%	17.9%	3.6%	0.0%	18	5	1	0	4	
静岡医療福祉センター 山内 一之 氏	4,000	88.5%	7.7%	0.0%	0.0%	23	2	0	0	1	
こども病院 加藤 光号 氏、鴨下 健一 氏 つばさ静岡 浅野 一恵 氏 静岡医療福祉センター 夏目 孝子 氏	4,000	64.3%	21.4%	0.0%	0.0%	18	6	0	0	4	
静岡医療福祉センター 山内 一之 氏	4,000	85.2%	11.1%	0.0%	0.0%	23	3	0	0	1	
静岡医療センター 望月 達夫 氏、森山 明夫 氏、橋本 尚幸 氏 静岡てんかん神経医療センター 山崎 悦子 氏	4,000	45.7%	40.0%	0.0%	0.0%	16	14	0	0	5	
静岡医療福祉センター 山内 一之 氏	4,000	87.9%	6.1%	0.0%	0.0%	29	2	0	0	2	
駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻 准教授 川上 富雄 氏	無料	65.0%	10.0%	0.0%	0.0%	13	2	0	0	5	地域福祉課
認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事・運営委員 九州大学大 学院 統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行 氏	無料	75.7%	21.6%	2.7%	0.0%	28	8	1	0	0	
県長寿政策課 県社会福祉協議会地域福祉課 さわやか静岡 市町の生活支援コーディネーター 全国コミュニティライフサポートセンター理事長 池田昌弘氏 日本ファンリテーション協会 鈴木まり子 氏	無料	65.2%	31.0%	3.9%	0.0%	101	48	6	0	0	
(株)ビジネスパートナー 代表取締役 杉山 明喜雄 氏 (本会 経営指導員)	無料	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%	26	10	0	0	0	
市町社協新任事務局長	無料	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	4	2	0	0	0	地域福祉課
全国社会福祉協議会 地域福祉部 副部長 小川 耕平 氏 呉市社会福祉協議会 地域福祉課 主査 近藤 吉輝 氏	無料	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	27	3	0	0	0	地域福祉課

分野	番号	研修名	定員	申込者	受講者	実施日	日数	会場	対象	内容	
専門技術力を身につける	職業別	87	地域福祉コーディネーター<CSW>養成研修	40	39	38	7/12 7/13 2/15 2/16	4	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	市町社協職員、地域包括支援センター職員、障害者総合支援法に係る相談支援事業所職員、生活困窮者自立相談支援機関関係職員、社会福祉法人・NPO法人職員	地域住民や各関係者と共同し、円滑に課題解決につなげられるようコミュニティソーシャルワークの技術の習得を目的とする
		88	日常生活自立支援事業専門員研修会(基礎)	30	23	23	6/13	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	市町社協専門員	新たに本事業の担当となった職員を対象とし、本事業に関する知識や専門員としての技術を習得する
		89	日常生活自立支援事業専門員研修会(応用)	20	9	9	2/28	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	市町社協専門員	各専門員が専門員として自らの援助内容を振り返り、今後の援助に活かせるよう、新たな学びや気づきの場とする
		90	日常生活自立支援事業新任生活支援員研修会	60	14	14	7/19 2/20	2	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	市町社協新任生活支援員	日常生活自立支援事業について、事業の目的、生活支援員の役割と職務、利用者の理解と支援技法を習得する
		91	日常生活自立支援事業現任生活支援員研修会	250	116	116	2/5 2/6	2	ブラサヴェルデ掛川グランドホテル	市町社協現任生活支援員	日頃の支援を振り返り生活支援員としての役割を再確認するとともに、日常生活自立支援事業における相談援助技法等について学ぶ
		92	生活福祉資金新任担当者研修会	50	37	36	5/17	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	市町社協職員	制度説明・事務取扱い
		93	生活福祉資金現任担当者研修会	50	34	32	3/11	1	レイアップ御幸町ビル	市町社協職員	・生活福祉資金貸付事業をめぐる動向と市町社協への期待 ・静岡県内における生活福祉資金貸付事業の概要
専門技術力を身につける 小計			5,251	4,635	4,376						
人間力を高める	倫理	94	コンプライアンス講座	60	49	47	5/15	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	福祉サービス事業従事者が最低限備えておくべき、コンプライアンスと職業倫理の基礎的知識の習得
		95	権利擁護・成年後見セミナー(基礎編)	80	90	82	6/25	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	認知症高齢者や知的障がい者等を支援する職員として必要な権利擁護・成年後見の基礎的知識の習得
		96	権利擁護・成年後見セミナー(実務編)	60	78	65	7/18	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	認知症高齢者や知的障がい者等を支援する職員として必要な権利擁護・成年後見の実践的知識の習得
	対人関係	97	接遇・マナー・コミュニケーション講座(中部)	60	69	66	5/8	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	接遇の心理学、ビジネスマナー、利用者・家族・スタッフ同士の連携を取るコミュニケーション、自分自身のこころのケアについて学ぶ
		97	”(東部)	60	52	52	5/29	1	三島商工会議所		
		97	”(西部)	60	42	41	5/11	1	浜松市福祉交流センター		
		98	指導者のための接遇マナーと部下指導のポイント講座	70	106	77	6/1	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	接遇マナーの再確認、指導者能力と部下指導のポイントを学ぶ
		99	アンガーマネジメントを学ぶ講座	60	71	69	5/19	1	静岡県産業経済会館	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	介護の現場等で怒りの感情を上手にコントロールしながら相手と接するためのスキルを学ぶ
		100	スーパービジョン講座	60	49	49	10/9	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	福祉専門職を育成するスーパービジョンを学ぶ
		101	入居者家族とのより良い関係づくり講座	60	45	43	12/10	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	入居者家族が抱える想いを理解し、より良い関係づくりのためのポイントやアプローチ方法を学ぶ
102	共感を得る「ことば」講座	60	126	58	9/21	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	DJボリスも学んだスピーチロックとは！？「相手を制限する言葉」から「相手を受け入れる言葉」を旨とし、「言葉選び」の重要性を考える		
”	【追加開催】	60	62	59	12/18	1	”				

講 師	(会員) 受講料	満足度(%)				満足度(件数)					担当 課
		満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
(特非)日本地域福祉研究所 日本社会事業大学 准教授 菱沼 幹男 氏 日本地域福祉研究所 主任研究員 青山 登志夫 氏 浦和大学 講師 大島 隆代 氏	15,000	68.4%	26.3%	0.0%	0.0%	26	10	0	0	2	権利擁護課
(福)静岡県社会福祉協議会生活支援部生活支援課	無料	53.0%	47.0%	0.0%	0.0%	12	10	0	0	0	
五味社会福祉士個人事務所 社会福祉士 五味 保教 氏 ふるい後見事務所 社会福祉士 古井 慶治 氏 あさか社会福祉士事務所 社会福祉士 浅賀 勢津子 氏	無料	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9	0	0	0	0	
社会福祉法人掛川市社会福祉協議会 専門員 栗田ますみ氏 生活支援委員 橋本 弘子氏 社会福祉法人富士宮市社会福祉協議会 専門員 旭 克貴氏 生活支援委員 広岡 博美氏	無料	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	11	3	0	0	0	
山口 雅弘 氏(静岡県精神保健福祉士協会 事務局長)	無料	61.0%	33.9%	1.7%	0.0%	72	40	2	0	4	
(福)静岡県社会福祉協議会生活支援部生活支援課	無料	64.7%	29.4%	5.9%	0.0%	22	10	2	0	2	生活支援課
全国社会福祉協議会民生部副部長 伊藤浩司氏 (福)静岡県社会福祉協議会生活支援部生活支援課	無料	51.6%	32.3%	12.8%	3.3%	17	10	4	1	0	
		72.8%	22.6%	1.6%	0.1%	3,157	978	70	6	126	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏	6,000 (4,000)	87.2%	12.8%	0.0%	0.0%	41	6	0	0	0	研修課
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏	5,000 (3,000)	83.5%	16.5%	0.0%	0.0%	66	13	0	0	0	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏	5,000 (3,000)	80.6%	19.4%	0.0%	0.0%	50	12	0	0	0	
コミュニケーションハウス 代表 坂倉 裕子 氏	6,000 (4,000)	81.3%	15.6%	0.0%	0.0%	52	10	0	0	2	
	6,000 (4,000)	82.0%	16.0%	2.0%	0.0%	41	8	1	0	0	
	6,000 (4,000)	80.5%	19.5%	0.0%	0.0%	33	8	0	0	0	
(株)はあもにい 代表取締役 大野 晴己 氏	6,000 (4,000)	56.0%	30.7%	8.0%	0.0%	42	23	6	0	4	
横浜国立大学 医学部看護学科 講師 田辺 有理子 氏	6,000 (4,000)	71.6%	26.9%	1.5%	0.0%	48	18	1	0	0	
静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 准教授 鈴木 俊文 氏	6,000 (4,000)	61.2%	38.8%	0.0%	0.0%	30	19	0	0	0	
大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 准教授 井上 修一 氏	6,000 (4,000)	73.8%	23.8%	2.4%	0.0%	31	10	1	0	0	
(株)はあもにい 代表取締役 大野 晴己 氏	6,000 (4,000)	56.9%	34.5%	5.2%	0.0%	33	20	3	0	2	
	6,000 (4,000)	57.6%	32.2%	3.4%	0.0%	34	19	2	0	4	

分野	番号	研修名	定員	申込者	受講者	実施日	日数	会場	対象	内容
人間力を高める リフレッシュ	103	福祉職場のストレスマネジメント講座	60	68	66	10/23	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	介護職・福祉職が抱えがちなストレスについて認識し、ストレスを上手にコントロールする方法を学び、心身共に安定した状態になることで、サービスの質の向上を図る
	104	福祉職のためのリフレッシュ講座 心と体を癒す音楽療法とお茶のお話	60	36	31	1/15	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	福祉職のストレスケアのための知識・技術の習得
人間力を高める 小計			870	943	805					
地域福祉を支える力を身につける	105	法定地区民児協会長研修会 (県民生委員児童委員協議会)	167	155	155	9/5~6	2	ホテルニューアカオ	法定地区民児協会長	単位民児協会長としての基本的資質の研修 及び民児協リーダーとしての自覚を図る
	106	主任児童委員研修会 (県民生委員児童委員協議会)	120	108	94	1/8 1/9	2	三島商工会議所 掛川グランドホテル	県民児協会員(主任児童委員)	伝承の制度を受け継いでいこう
	107	相談技法研修会 (県民生委員児童委員協議会)	180	204	200	7/27 7/26 7/20	3	三島商工会議所 グランシップ クリエート浜松ホール	県民児協会員	傾聴トレーニング
	108	静岡県地域福祉教育推進ワークショップ	100	100	110	7/31 8/2	2	ブラサヴェルデ 静岡男女共同参画センター あざれあ	学校教諭、教育委員会職員、 地区社協役員・関係者、社会 福祉施設職員、民生委員・児 童委員、社協職員、福祉教育 に携わっている方 など	福祉教育への理解を深め、より充実した活動 の一助となるよう模擬授業を含むワークショッ プ
地域福祉を支える力を身につける	110	福祉の職場体験	—	1,018	962	4月 ~3月		県内各地	福祉職に関心のある方、福祉 職場に就労を希望する方	福祉の施設体験
	111	福祉の就職支援セミナー	100	72	67	10/19	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	福祉職場に就労を希望する方	「安心して暮らせる社会を目指して ~NHKアナウンサーから福祉の職場へ」
	112	介護のシゴト復職応援セミナー	—	555	555	6月 ~3月		静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル) など30か所	介護施設等の離職者で介護職 に復帰を希望する方	・介護に関する基本的知識や技術の再確 認並びに最新の知識及び技術の習得 ・介護現場の現状 など
	113	潜在保育士職場復帰支援研修【中部1】	120	48	48	9/9	1	グランシップ	保育士資格をお持ちの方、こ れから資格取得を目指す方	「やっぱり保育の仕事がしたい！保育のやり がいとすぐに活かせる手遊び・歌遊び」
		潜在保育士職場復帰支援研修【中部2】	50	27	27	1/12	1	グランシップ	保育士資格をお持ちの方、こ れから資格取得を目指す方	笑顔で働ける職場を見つけよう！ ~先生も子どももみんな笑顔で~
		潜在保育士職場復帰支援研修【東部】	50	14	14	1/19	1	ブラサヴェルデ	保育士資格をお持ちの方、こ れから資格取得を目指す方	子どもの育ちを支える保育コミュニケーション ~気づける、働ける保育士をめざして~
		潜在保育士職場復帰支援研修【西部】	50	22	22	1/26	1	浜松こども館ここいーら	保育士資格をお持ちの方、こ れから資格取得を目指す方	子どもを真ん中に保育しよう！ ~先輩とのいい関係づくり~
	114	第1回静岡DCAT登録員養成研修	50	127	47	8/16 8/17	2	あざれあ 静岡県立短期大学	静岡DCAT登録員協力申出書 を提出した者	静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DCAT)と して活動するための基礎知識を学ぶ
		第2回静岡DCAT登録員養成研修	50		49	9/6 9/7	2	あざれあ 静岡県立短期大学	静岡DCAT登録員協力申出書 を提出した者	静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DCAT)と して活動するための基礎知識を学ぶ
	115	学んでなっとく! はじめての介護講座(静岡会場)	50	33	30	10/2,18	2	静岡市産学交流センター	これから分野での就職を考え ている方、介護に関心をお持ち の方	「介護のやりがい」と「基礎知識」を 分りやすく解説 ※満足度(件数)は1日目と2日目 のアンケート回答の合計数である。
		”(浜松会場)	50	21	16	10/9,22	2	ホテルクワンハルス浜松 アクティティ浜松		
”(三島会場)		50	32	23	10/26 11/8	2	三島商工会議所			
”(富士会場)		50	14	13	11/4,21	2	富士ロゼシアター 富士総合庁舎			

講 師	(会員) 受講料	満足度(%)				満足度(件数)					担当課
		満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
産業カウンセラー キャリアカウンセラー 心理相談員 横山 美弥子 氏	6,000 (4,000)	87.7%	10.8%	0.0%	0.0%	57	7	0	0	1	研修課
国際音楽療法専門学院 学部長 吉村 奈保子 氏 (一社)日本教育支援ネットワーク 統括責任者 渡邊 えりか 氏 静岡県立大学 食品栄養環境科学研究所 特任教授 中村 順行 氏	6,000 (4,000)	62.5%	34.4%	0.0%	0.0%	20	11	0	0	1	
		73.2%	23.3%	1.8%	0.0%	578	184	14	0	14	
株式会社福祉保険サービス、損害保険ジャパン日本興亜株式会社 野村総合研究所 上級研究員 尾川宏豪 氏 NHKアナウンサー 島山智之 氏	無料	51.8%	36.4%	9.5%	1.1%	62	43	11	1	1	地域福祉課
合同会社泉恵造研修企画工房 代表社員 泉恵造 氏	無料	66.7%	26.7%	5.6%	1.1%	60	24	5	1	0	
昭和大学 保健医療学部 講師 大谷 佳子 氏	無料	74.2%	21.2%	2.0%	1.5%	147	42	4	3	2	
愛知教育大学 名誉教授 増田 樹郎 氏 静岡県立沼津特別支援学校 遠藤 麻衣子 教諭 静岡県立浜名特別支援学校 與五沢 恭子 教諭 下田アイフレンズ 代表 土屋 まさ代 氏 特定非営利活動法人 地域支援ネットゆう理事 杉本 和美 氏	無料	61.5%	18.8%	1.0%	0.0%	59	18	1	0	18	
—	無料	38.2%	35.9%	22.9%	1.0%	152	143	91	4	8	
国立成育医療研究センターもみじの家 ハウスマネージャー 内多 勝康 氏	無料	79.6%	16.7%	0.0%	0.0%	43	9	0	0	2	
医療法人中村会 老健あさひな 認知症介護レクリエーション実践研究会 尾渡 順子 氏 ほか	無料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
学校法人袋山学園 しらこばと幼稚園 理事長 菊池 政隆 氏	無料	77.1%	12.5%	6.3%	2.1%	37	6	3	1	1	人材課
Umehana Relations 代表 松原 美里 氏	無料	81.5%	18.5%	0.0%	0.0%	22	5	0	0	0	
Umehana Relations 代表 松原 美里 氏	無料	78.6%	14.3%	0.0%	0.0%	11	2	0	0	1	
スマイリーアイ 代表 上野 里江 氏	無料	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%	15	7	0	0	0	
静岡県立大学短期大学部准教授 鈴木俊文氏、今福恵子氏 三島市危機管理課・静岡県災害福祉広域支援ネットワーク職能団体所属委員他	無料	76.0%	17.0%	0.0%	0.0%	35	8	0	0	3	経営支援課
静岡県立大学短期大学部准教授 鈴木俊文氏、今福恵子氏 三島市危機管理課・静岡県災害福祉広域支援ネットワーク職能団体所属委員他	無料	69.0%	20.0%	0.0%	0.0%	32	9	0	0	5	
介護老人保健施設 星のしずく 看介護部長 高口 光子 氏 静岡県介護福祉士会 飯田 泰子 氏 ほか	無料	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	36	8	0	0	0	研修課
	無料	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	19	3	0	0	0	
	無料	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%	30	4	0	0	0	
	無料	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	16	1	0	0	0	

分野	番号	研修名	定員	申込者	受講者	実施日	日数	会場	対象	内容
地域福祉を支える力を身につける	116	学んでなっとく! はじめての介護講座②(静岡会場)	50	39	31	2/1,8	2	静岡市産学交流センター	これから分野での就職を考えている方、介護に関心をお持ちの方	"介護のやりがい"と"基礎知識"を 分りやすく解説 ※満足度(件数)は1日目と2日目の アンケート回答の合計数である。
		" ②(浜松会場)	50	30	27	2/7,18	2	浜松市福祉交流センター		
		" ②(三島会場)	50	19	16	1/11,21	2	三島商工会議所		
		" ②(富士会場)	50	15	12	1/15 2/4	2	ふじさんめッセ		
	117	【新規】 人生の最終段階を迎える方のサポートを考えるセミナー	60	47	44	6/6	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉施設・介護保険事業 所等に勤務する方	死を前にした人に何ができるか、在宅医療に 従事する医師とともに、そのサポートについて 考える
地域福祉を支える力を身につける 小計			1,497	2,011	1,929					
合計			12,394	12,527	11,760					

講師	(会員) 受講料	満足度(%)				満足度(件数)					担当 課
		満足	やや満足	やや不満	不満	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
生活とリハビリ研究所 代表 三好 春樹 氏 医療法人中村会 老健あさひな 認知症介護レクリエーション実践研究会 尾波 順子 氏	無料	92.0%	8.0%	0.0%	0.0%	46	4	0	0	0	研修 課
	無料	97.0%	3.0%	0.0%	0.0%	32	1	0	0	0	
	無料	89.5%	10.5%	0.0%	0.0%	17	2	0	0	0	
	無料	89.5%	10.5%	0.0%	0.0%	17	2	0	0	0	
平野医院 医師 平野 周太 氏	5,000 (3,000)	27.3%	61.4%	6.8%	0.0%	12	27	3	0	2	
		62.5%	25.6%	8.2%	0.7%	900	368	118	10	43	
		67.9%	25.9%	2.9%	0.2%	6,431	2,456	272	21	285	

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670

静岡市葵区駿府町 1-70

TEL 054-254-5248 FAX 054-251-7508

令和元年 6 月